

平成 28～令和元年度／令和 3 年度～5 年度 文部科学省研究開発学校指定

20 令和 5 年度 研究開発実施報告書 (別冊資料)

信州大学教育学部附属松本中学校

〒390-0871 長野県松本市桐 1-3-1 TEL 0263-37-2212

信州大学教育学部附属松本小学校

〒390-0871 長野県松本市桐 1-3-1 TEL 0263-37-2216

信州大学教育学部附属幼稚園

〒390-0871 長野県松本市桐 1-3-1 TEL 0263-37-2214

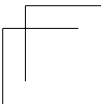
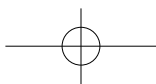
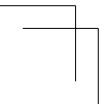
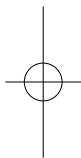
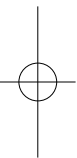
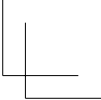
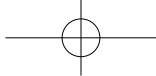
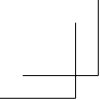
「たくましく心豊かな地球市民」を育むための、
資質・能力を有機的・総合的に育成する幼小中一貫教育の教育課程の
効果的な実践の要件抽出と評価の開発

令和 6 年 3 月

令和6年度 研究開発学校実施報告書（別冊資料）

目 次

1 本学校園の子どもに内在する『3つのよさ』	1
（1）「自己表現している姿」	
（2）「課題探究している姿」	
（3）「社会参画している姿」	
2 新設領域と既存教科との関連〔7～9歳期（小学校低学年）【遊びの領域化】新設「学びの領域」〕	4
（1）【遊びの領域化】で育みたい『3つの力』	
（2）ことば領域と既存教科との関連	
（3）くらし領域と既存教科との関連	
（4）かがく領域と既存教科との関連	
（5）ひょうげん領域と既存教科との関連	
3 年間計画	6
（1）4～6歳期（3～5歳児：幼稚園）年間保育計画案	
①3歳児	
②4歳児	
③5歳児	
（2）7～9歳期（小学校低学年）【遊びの領域化】新設「学びの領域」	
①ことば領域	
②かがく領域	
③くらし領域	
④ひょうげん領域	
（3）10～12歳期（小学校高学年）【領域の教科化】新教科「英語」「技術」	
①英語科	
②技術科（小学校高学年・中学校）	
（4）13～15歳期（中学校）総合的な学習の時間「令和5年度 総合カレンダー」（各学級の指導計画）	
4 評価	40
（1）調査アンケート内容	
（2）調査アンケート結果	
（3）外部調査アンケート結果	
5 研究開発の経過（諸会合一覧）	87



(1) 本学校園の子どもに内在する『よさ』 「自己表現している姿」

2023/10/1 現在

たくましく 心豊かな 地球市民

自己表現力： 観て、聴いて、感じたことを自分らしく表現する力 ○観たり、聴いたりすることができ。 ○あふれる思いを素直に表現することができる。 ○相手や場に応じて自分らしい表現をすることができる。										
国語	英語	算数・数学	理科	技術	家庭	社会	体育・保健体育	音楽	図工・美術	道徳
様々な事象に触れたり、体験したりすることで「思いや願い、問い」を抱き、それを解決していくための見通し、過程、結果を、相手や自分の意識しながら言葉で表現できる。	英語で読んだり聞いたりしたことをもとに、自分なりに伝えたい考えや思いをもち、聞き手や読み手に伝えることができる。	事象を数理的にとらえ、数学的根拠に基づいて、簡潔・明瞭・的確に説明したり、自分や他者の考えを批判的に見つめ、よりよいものに改善したりすることができ。	自然の事物・現象について、「思いや願い、問い」をもち、それらの解決への見通しや、自分自身の考えを、論理的かつ合理的に表現することができる。	思いや意図をもつて製作図、作品、レポート等に表現し、製作の過程や結果を論理的に説明することができる。	思いや願いをもつて実習、調査、交流、活動等に取り組み、その過程や成果から思考し判断したことを、相対的に論理的に表現することができる。	自分との関わりやつながりを意識しながら、身の回りにあるものやことを観たり、様々な立場や考え方、価値観にふれたいしくいくことで、「思いや願い」をもつと、社会的現象の中に、意味や意義、自分の考えを、根拠をもって表現することができる。	各種の運動が有する特性や能力に応じた知識や技能をもとに、自己や集団の課題に向けて思考し判断しながら言葉や動作等に意識したり、他者に伝えたりすることができ。	歌詞からのイメージや表現の幅広い活用を通して「思いや願い、問い」をもち、それを表現するための必要な技術を活用しながら、相手の考えを意識し表現していくことができる。	感性を働かせ、自分の中に表したいイメージを確かにもち、幅広い表現方法で表現することができる。	自分の経験や価値観から、自分の考えを話したり、書いたりして表現することができる。
創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を養い、日常生活における人との関わりの中で、国語で正確に理解し適切に表現することを通して自分の思いや考えを深めようとしている。	英語を通して関わり合いの中で、日本食のことを伝えたり自分の思いや考えを表現したりしている。	数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしたり、よりよく情報を送り手として、情報の受け手として問題解決しようとしている。	自然の事物・現象について、自分なりの根拠に基づき、説明している。	構想図や設計図、レポートに自らの考えを表現し、相手に伝える。	他者の思いや考えを聞いたり、自分の考えを分かちあうことで、伝えたい思いや考えを交流している。	身の回りのことに対して関心をもち、社会的現象としてみている。	各種の運動が有する特性や能力に応じた知識や技能をもとに、自己の課題に向けて思考し判断したことを、言葉や動作等に表したり、他者に伝えたりしている。	音楽に対する感性を十分に働かせ、感じたことや考えたことを音楽や言葉で自分らしく表現している。	遊びや身の回りの事象の感動等から、自分なりの思いをもち、進んで造形活動への意欲を高めている。	遊んだり、歌ったり、絵を描いたり、書いたりして表現することができる。
自分が行ったことや気付いたこと、感じたことを自分なりの方法で自分らしく表現している。										
ことば領域			かがく領域		くらし領域		ひょうげん領域			
考えたことや気付いたこと、感じたことを事柄の順序を考えながら話しことばや書きことばを用いて相手に伝えている。			自らの探究の過程や結果を、自分らしく適切に合理的に表現している。		身近な人々、社会及び自然を体全体で受け入れ、感じたことや気付いたことについて、言葉や絵、動作、劇化などの方法により自分らしく表現している。		感性やからだを十分に働かせ、対象の魅力や特徴について感じたことや考えたことを身体や言葉を用いて表現したり他者に伝えたりしている。			
小学校低学年			小学校高学年		中学校		幼稚園			
【遊びの領域化】			【領域の教科化】		【教科等の総合化】					
『 学 び の 総 合 化 』										

(2) 本校校園の子どもに内在する『よさ』 「課題探究している姿」

2023/10/1 現在

たくましく 心豊かな 地球市民

課題探究力：「思いや願い、問い」をもち、物事の本質を貼り強く見極めていく力 ○自分なりにこたわりのある問いや願いをもつことができる。 ○貼り強く動きかけ続けることができる。 ○自ら得た情報を適切に活用することができる。													
	国語	英語	算数・数学	理科	技術	家庭	社会	体育・保健体育	音楽	図工・美術	道徳	総合的な学習の時間	
中学校	自らが抱いた「思いや願い、問い」に対して、言葉による見方・考え方を動かしたり、今まで学んできた様々な資質・能力を活用・発揮したりし、獲得した情報を整理・分析し、再構成しながら自分の考えをもつことができる。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて、自分なりの「思いや願い、問い」をもち、情報を整理・吟味しながら考えを形成し、既習表現や新出表現を用いて、英語で表現したり、伝え合ったりすることができる。	課題を設定し、構想に基づいて、数学的に推論し、評価・改善・発展することができる。	自分なりの「思いや願い、問い」に対して、理科の見方・考え方や様々な教科の資質・能力を発揮して、実験結果を整理・比較・関連などさせながら、分析・考察することができる。	生活や社会の中の技術に関わる「ものやこと」から、問題を思いだし、課題を設定し、設計や試作に基づいて製作・制御し、分析・改善することができる。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活に関わる知識・技能を活用しながら実践を繰り返すことで自分なりのよりよい方法を見いだしたり工夫することができる。	自分なりの「思いや願い、問い」に対して、社会的な見方・考え方を働かせたり、様々な教科の資質・能力を活用・発揮させたりして、自ら得た情報を比較・関連などさせながら、社会的な意味や意義を見いだすことができる。	活動を通して自己や他者の動きや活動の良さ、課題に気づき、課題解決に向けて活動を行うしたり、活動の工夫を通して確かめたりすることができる。	自らが抱いた「思いや願い、問い」に対して、音楽的な見方・考え方や今までの活動で身に付けた資質・能力を発揮しながら、音から感じるイメージや音楽要素、多様な考えを取り入れ、自己の考えを更新し、追究していくことができる。	自分の表したいイメージに合う色や形を追求し、納得いくまで試行錯誤を重ねながらより良い表現を求めていることができる。	答えが一つではない問いに対して、多面的、多角的に考え続けることができる。	課題解決に向け、現実の事象を深く見つめながら幅広い視点で知識や情報を収集し、それらを組み合わせながら解決の方法を考え行動することができる。	
【教科等の総合化】	小学校高学年	国語で正確に理解し適切に表現しようとしている。 言葉のよさを味わい、読書に取り組み、言葉より良く使おうとしている。	基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、結果や方法の見通しをもち筋道を立てて考え、統合的に発展的に考察している。	自然事象から問題を見いだし、観察実験を通して、考察している。	目的や条件に応じた製作（制作）や情報処理の手順を論理的に考えている。	衣食住等に関する初歩的な知識と技能を身に付け、学んだことを積極的に日常生活に活用している。 身の回りにおける課題を問題として把握し、解決策を構想し、計画・評価している。	社会的事象に対して様々な立場から見たり考えたりしている。 身の回りの出来事の意味、他のことと比べてたりつなげたりしながら、考えている。	動きや活動のよさ、自己や集団の課題に気づき、それらを発揮させたり、課題を解決したりするための活動を思考している。	対象から感じたことや気づいたことをもとに、音楽表現への願いや思いをもち、表現を工夫している。	表現方法をあれこれ試しながら、造形表現のよさに気づき、つくりだす喜びをもっている。			
【領域の教科化】	小学校低学年	ことば領域	ことば領域	かがく領域	くらし領域		ひょうげん領域		対象への思いや願い、問いをもち、自分なりの方法で達成や実現、解決している。				
【遊びの領域化】	小学校低学年	自ら抱いた問いの解明に向けて必要な情報を集め、整理、分析などとして解決を目指している。	かがく領域	かがく領域	くらし領域		ひょうげん領域		対象のよさや課題などの気づきから、対象についての自分なりの見方や感じ方を深めている。 表現への思いや意図を見いだし、それらを表現するためのアイデアや構想を考えている。				
【遊び】	幼稚園	身の回りの素材や道具をまずは使ってみることから始まり、遊びの経験を積み重ねていくことで、素材や道具をどのように使うのかを考えたり、遊びのイメージや見通しをもったりしながら自分のやりたいことを探究していく姿											

たくましく 心豊かな 地球市民

社会参画力： 多様な価値観をもつ他者と、共通の目的のために協働する力 ○相手に関心を寄せることができる。 ○仲間と協働する喜びを感じることができる。 ○学びを社会に生かそうとすることができる。													
	国語	英語	算数・数学	理科	技術	家庭	社会	体育・保健体育	音楽	図工・美術	道徳	総合的な学習の時間	
【教科等の総合化】	他者と考えを伝え合ったり、深め合ったりする中で、言葉を紹介して多様な人々の見方・考え方や生き方を知り、新たな価値を創造していくことの良さを感ずることができる。	異なる文化や背景をもつひとと、こともの上と関わって得た情報をもとに、地球市民としての視点をもち、課題解決やより良い社会の実現に向けて共に考え、情報や表現を選別しながら英語で思いや意見を交わし合ったり、伝えたりしようとする事ができる。	数学の有用性を理解し、思慮深い地球市民として、根拠を明確にしながらい建設的に合意形成を図り、公平な判断と意思決定をすることができるとができる。	他者と考えを伝え合ったり、深め合ったりする中で、地球市民として身の回りにおける様々な自然現象や、自然環境の保全、科学技術の利用に心を寄せることができる。	地球市民としてよりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて他者と協働して新たな価値を創造し続けようとする事ができる。	家族・家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活現象を協力・協働、持続可能な社会の構築の視点で捉え、自分のできることを見つけ、実践することができるとができる。	より望ましい社会の実現に向けて、多様な価値観をもつ友や他者との合意を重ねる中で、社会のできごとや課題、他者の考えに関心を寄せて、新たな価値を創出することができるとができる。	他者と共に話し合ったり、試行錯誤しながら、課題を解決していくことができる。	自分の思いや考えを他者と伝え合い、全体で共有したり、歌い試したりしながら、多様な人々の見方・考え方や表現の仕方を体感すること、音楽の多様性や表現の面白さを味わうことができる。	他者の作品に関心をもち相手の表現意図を尊重したり、相手の表現を自身の中に取り入れたりすること、新たな価値の創造をしたりすることができる。	自分とは異なる友の考えを受け止めることができる。 日常生活での場面や、友との関わりの中で、道徳的な価値観を具体的な行為として表そうとしていくことができる。		
【領域の教科化】	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしようとしている。	外国の生活、習慣、行事などの様々な異文化に触れる中で、共通点や相違点に気づき、日本の文化を見つめ直し、自らを尊重して共に生きようとしたりしている。	数学的な表現を用いて現象や過程を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表現したりしている。	多面的な視点から自分の考えを改善したり、根拠に基づいて判断したりしている。	他者と共に考えたり、表現したりしながら、他者とながらうとしている。	家族の一員としての自覚をもち、家族や地域の人々と関わり、協力しようとしている。	社会に目を向け、自分なら何ができるかを考えたり、地域社会の中で実際に人と触れ合ったりすることで、自分の社会の一員であることに気付き、よりのために協働している。	他者と共に話し合ったり動きを試み合ったりしながら課題やよさを確かめ合うことで、共に運動することの楽しさや喜びを味わっている。	それぞれの感性の逞しさを止め合いつつ、音楽を通して、協働する喜びを感じている。 生活の中で自分から音楽に関わろうとしている。	友と作品を鑑賞し合うことで互いの造形表現のよさを感じとり、創り出した満足感を味わっている。			
【遊びの領域化】	ことば領域 子どもたちを取り巻く社会環境への主体的な参加を通して、多様な人々と共感的に関わっている。	ことば領域 使えるものを使って、仲間とよりよい生活や社会に向けて、合理的な判断と決定に基づいて協働している。	かがく領域	身近な他者と、目的に向かって共に活動している。				くらし領域	ひょうげん領域 他者と共に考えたり、表現したりしながら、他者とながらうとしている。				
【遊び】	自分の思い付いたことを他者に伝えるという経験を通して、他者と関わりながら一緒に遊んだり、やりたいことを友達と共有したりしながら同じ目的（目的感）に向かって関わっていく姿												

『 学 び の 総 合 化 』

2 新設領域と既存教科との関連

【7～9歳期（小学校低学年）【遊びの領域化】】新設「領域」

（1）【遊びの領域化】で育みたい『3つの力』

自己表現力	課題探究力	社会参画力
自分が行ったことや気付いたこと、感じたことを、自分なりの方法で自分らしく表現することができる。	対象への思いや願い、問いをもち、自分なりの方法で達成や実現、解決に向き合うことができる。	身近な他者と、目的に向かって共に活動することができる。

（2）ことば領域と既存教科との関連

身の回りにおけることばの意味・役割に関する見方・考え方を働かせて、事象に対する主観的な価値づけに関する言語活動を通して、言葉による自己表現力・課題探究力・社会参画力を育むことができるようにする。

ことば領域で育みたい『3つの力』		
自己表現力	課題探究力	社会参画力
考えたことや気付いたこと、感じたことを事柄の順序を考えながら話しことばや書きことばを用いて相手に伝えることができる。	本や資料を用いて調べたことや友との会話から考えたことについて、相手や目的に応じて筋道立てて話したり、書いたりすることができる。	日常生活で起こる問題や課題についてことばを用いたコミュニケーションにより、よりよく問題を解決することができる。

＜既存教科・領域との関連＞

ことば領域は主に、低学年「国語」「外国語活動」と対応する。

1～3学年国語科は、現行の学習内容を該当学年で扱う。1～3学年英語活動は、4学年から始まる英語科につながる外国語文化に関する絵本や外国語で書かれた絵本の読み聞かせや、簡単な外国語を使った遊び・活動を扱う。

＜ことば領域の特徴＞

幼稚園における遊びの中に見られる“ことば”を、「伝達媒体としてのことば」「遊び道具としてのことば」「言語文化としてのことば」として捉え直す。国語と連携した言語能力の向上を図る活動と、英語によるコミュニケーション能力の基礎作りを図る活動とを段階的に教育課程に位置づける。特に日本語・外国語に共通なコミュニケーション言語においては、状況的側面と公共的側面を見だし、その場に適したコミュニケーション能力を育むことができるようにする。

（3）くらし領域と既存教科との関連

身の回りにおける生活や身体の維持・向上に関する見方・考え方を働かせて、事象に対する客観的な理解・判断に関する活動を通して、くらしに係わる自己表現力・課題探究力・社会参画力を育むことができるようにする。

くらし領域で育みたい『3つの力』		
自己表現力	課題探究力	社会参画力
身近な人々、社会及び自然を体全体で受け入れ、感じたことや気付いたことについて、言葉や絵、動作、劇化等の方法により自分らしく表現することができる。	身近な人々、社会及び自然と関わる中で、自分自身やそれらの特徴やよさ、関わり等に関心するとともに、それらを関連付けながら、よりよい課題解決の方法を考えることができる。	集団の中での自分の役割や行動の仕方に気付き、生活をより豊かにしていくために、友と協働することができる。

＜既存教科・領域との関連＞

くらし領域は主に、低学年では「生活科」「社会科」「体育科（保健分野）」と、高学年では低学年の「社会科」「体育科（保健分野）」に対応する。1～2学年生活科は現行の生活科で行われる活動の中から社会科に関わるものを、3学年社会科および体育科（保健分野）は現行の学習内容を該当学年で扱う。

＜くらし領域の特徴＞

幼稚園における遊びの姿を、気付きの質の高まりの面から捉え直す。生活科の学習活動を中心に「自然とのかかわり（校内散策、植物飼育、動物飼育等）」や「地域とのかかわり（校外散策等）」を構想する。その中で、自分自身にかかわることや家庭・地域とのつながりに視点を当てて活動しながら、生活科・社会科・体育科（保健分野）で育てたい資質・能力と往還させることで、くらし領域における『3つの力』を育むことができるようにする。

(4) かがく領域と既存教科との関連

身の回りにおける自然科学に関する見方・考え方を働かせて、遊んだり作ったりする自然科学的な活動を通して、自然科学をたのしむ自己表現力・課題探究力・社会参画力を育むことができるようにする。

かがく領域で育みたい『3つの力』			
	自己表現力	課題探究力	社会参画力
かがく領域	自らの探究の過程や結果を、自分らしく適切に合理的に表現することができる。	かがく的探究の過程として、自ら問いを見だし、計画し、試行し、実行し、改善して、解決することができる。	使えるものを使って、仲間とよりよい生活や社会に向けて、合理的な判断と決定に基づいて協働することができる。
(自然科学)	A 算数的	数値的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的・発展的に考察する	数値的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとする
	B 理科的	自然現象の共通点や相違点に気づき、問題を見いだす	自然現象や日常生活等に適用する
	C 技術的	目的や条件に応じて、製作や情報処理の手順を論理的に考える	他者と共に考えたり、表現したりしながら、他者とつながる

<既存教科・領域との関連>

かがく領域は主に、低学年「算数科」「理科」「生活科」と対応する。1～3学年算数科、3学年理科は現行の学習内容を該当学年で扱う。1～2学年生活科は、現行の生活科で行われる活動の中から、技術科や、理科に関わるものを取り上げる。

<かがく領域の特徴>

幼稚園における遊びの姿を、自然科学の見方・考え方を働かせながら「かがく的探究」をたのしむ視点から捉え直す。自然科学的事象を繰り返し試行錯誤する活動を通して、算数的視点、理科的視点、技術的視点で事象を捉えたり、合理的に考えたり表現したりすることで、自然科学をたのしむ『3つの力』を育むことができるようにする。

(5) ひょうげん領域と既存教科との関連

身体で感じることの意味・役割に関する見方・考え方を働かせて、事象に対する主観的な価値づけに関する表現活動を通して、表現することによる自己表現力・課題探究力・社会参画力を育むことができるようにする。

ひょうげん領域で育みたい『3つの力』		
自己表現力	課題探究力	社会参画力
感性や身体を十分に働かせ、対象の魅力や特徴について、感じたことや考えたことを、身体や言葉を用いて表現したり、他者に伝えたりすることができる。	対象のよさや課題などの気付きから、対象についての自分なりの見方や感じ方を深めることができる。 表現への思いや意図を見だし、それらを表現するためのアイデアや構想を考えることができる。	他者と共に考えたり、表現したりしながら、他者とつながることの心地よさや喜びを味わうことができる。

<既存教科・領域との関連>

ひょうげん領域は主に、低学年では「音楽科」「図画工作科」「体育科（体育分野）」と対応する。1～3学年各教科の現行の学習内容を該当学年で扱う。

<ひょうげん領域の特徴>

幼稚園における遊びの姿を、感性や想像力の高まりの面から捉え直す。子どもの暮らしの中の身体を通して感じることに着目し、子どもが繰り返し活動することで、音や音楽に対する感覚や、対象の手触り、自身の身体感覚といった感性を育むことができるようにする。子どもの表現への思いを捉え、材や場を吟味しながら、思いを表現したり、他者に伝えたりすることを通して、新たな表現へとつなげていくことができるようにする。

3 年間計画

(1) 4～6歳期（3～5歳児：幼稚園）年間保育計画案

①3歳児年間保育計画

[illegible]

②4歳児 年間保育計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	【もの】	【もの】	【もの】	【もの】	【もの】	【もの】	【もの】	【もの】	【もの】	【もの】	【もの】	【もの】	
ねらい	○「こうしたい」という思いをもち、素材の使い方を遊び方を試しながらはたらきかけて遊ぶ 【ひと】 ○遊び方や素材の使い方を友だちや教師に伝えながら遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ	○「こうしたい」という思いをもち、素材の形や大きさ、重を考えたながら組み合わせ遊ぶ ○用意された環境の中から道具を選んで使う 【ひと】 ○自分のやりたいことを言葉にし、友だちを遊びに誘って一緒に遊ぶ
	行事	1学期始業式 劇園長講和 参観日 避難訓練① 眼科検診 音楽集会①	耳鼻科検診 春の遠足 避難訓練② 4・5月誕生会 松本短大・福祉大実習 音楽集会② 避難訓練① 避難訓練③	尿検査 内科検診 参観日 唐科検診 プールびらき 音楽集会③ おはなし会① 運動集会①	七夕会 幼稚園まつり 6・7月誕生会 1学期終業式	2学期始業式 劇園長講和 スライダ割り プール始め プール締め 音楽集会④⑤ 運動集会② おはなし会② 幼稚園運動会	教員1 幼稚園実習 避難訓練④ 8・9月誕生会 音楽集会④⑤ 運動集会② おはなし会② 幼稚園運動会	松小運動会参加 秋の遠足 運動集会③ 避難訓練② 土曜参観 松本短大・福祉大実習 避難訓練⑤ やさいもい会 10・11月誕生会 運動集会④	親子もちつき会 音楽集会⑥ 2学期終業式	松本小学校園公開研究会 土曜参観 松本短大・福祉大実習 避難訓練⑤ やさいもい会 10・11月誕生会 運動集会④	3学期始業式 劇園長講和 12・1月誕生会 音楽集会⑦ おはなし会③ 卒園式	せつぶんの会 参観日 音楽集会⑧ 運動集会⑤ お別れ会 3学期終業式 劇園長講和 卒園式	ひなまつり会 2・3月誕生会 あかりどうの会 お別れ会 3学期終業式 卒園式
学年行事	小学校へ散歩				園外保育(沢村ブール) 運動会に向けて	運動会に向けて 実習生とのお別れ会			ボブコーン会		あかりどうの会準備		
生活	食事生活	お弁当の準備・片付け 食事のマナー	こぼしたものの始末 (苗の水やり) (苗の成長の様子を見る)	落ち着いて食べる (苗の水やり)	(水やり)	食べる時の姿勢 (収束)	何でも食べる 箸の持ち方		よく噛んで食べる	落ち着いて食べる	落ち着いて食べる お弁当を食べることに感謝の気持ちをもつ		
清潔着脱片付け排泄健康	うがい、手洗い トイレの使い方 ロッカーの使い方 シール帳の使い方 上履きと下履きの区別 おたより袋の使い方	並ぶ方 園庭の道具の使い方・片付け (畑の準備) (種まき、苗植え)	ぬれた時の着替え 帽子の着用 水分補給 歯磨き	プールの身支度を自分でする プールの後の始末	プールの後の始末 プールの着脱 水分補給 歯磨き	自分での体温調節をする 使った物を元の場所に返す	上着の始末 プールの始末 風邪予防の手洗い、うがい、 年末に向けて保育室の掃除			礼、話の聞き方 ロッカーの掃除 げた箱の掃除			
遊び・素材	○大型滑り台、大型階段などを使った遊び ○段など、ハットボトールなどを使った色水作り遊び ○空き箱、乳酸菌飲料容器、ラップ芯、折り紙、お花紙などを使った遊び ○シャベル、スコップ、バケツ、砂、土、草花などをを使った遊び	○大型滑り台、大型階段などを使った遊び ○段など、ハットボトールなどを使った色水作り遊び ○空き箱、乳酸菌飲料容器、ラップ芯、折り紙、お花紙などを使った遊び ○シャベル、スコップ、バケツ、砂、土、草花などをを使った遊び	○大型滑り台、大型階段などを使った遊び ○段など、ハットボトールなどを使った色水作り遊び ○空き箱、乳酸菌飲料容器、ラップ芯、折り紙、お花紙などを使った遊び ○シャベル、スコップ、バケツ、砂、土、草花などをを使った遊び	○大型滑り台、大型階段などを使った遊び ○段など、ハットボトールなどを使った色水作り遊び ○空き箱、乳酸菌飲料容器、ラップ芯、折り紙、お花紙などを使った遊び ○シャベル、スコップ、バケツ、砂、土、草花などをを使った遊び	○大型滑り台、大型階段などを使った遊び ○段など、ハットボトールなどを使った色水作り遊び ○空き箱、乳酸菌飲料容器、ラップ芯、折り紙、お花紙などを使った遊び ○シャベル、スコップ、バケツ、砂、土、草花などをを使った遊び	○ボウル、液体調味料入れ、綿、スプーン、プラスチックコップなどを使った遊び ○雨樋、シャベル、スコップ、バケツ、レンガ、台車などを使った遊び ○ビールケース、積み木、カーテン、ライト、壁布団などを使った遊び	○ボウル、液体調味料入れ、綿、スプーン、プラスチックコップなどを使った遊び ○雨樋、シャベル、スコップ、バケツ、レンガ、台車などを使った遊び ○ビールケース、積み木、カーテン、ライト、壁布団などを使った遊び	○雨樋、液体調味料入れ、綿、スプーン、プラスチックコップなどを使った遊び ○雨樋、シャベル、スコップ、バケツ、レンガ、台車などを使った遊び ○ビールケース、積み木、カーテン、ライト、壁布団などを使った遊び	○滑り台、板積み木、ビールケースなどを使った遊び ○紙粘土、デザートカード、ナイフ、綿、スプーン、ナイフ、べらなどを使った遊び ○土、水、ボウル、ふるいなどを使った泥団子作り遊び	○滑り台、板積み木、ビールケースなどを使った遊び ○紙粘土、デザートカード、ナイフ、綿、スプーン、ナイフ、べらなどを使った遊び ○土、水、ボウル、ふるいなどを使った泥団子作り遊び	○ビールケース、板積み木、ビールケースなどを使った遊び ○紙粘土、デザートカード、ナイフ、綿、スプーン、ナイフ、べらなどを使った遊び ○土、水、ボウル、ふるいなどを使った泥団子作り遊び	○大型滑り台、ブラスト、ナックルボール、長座布団などを使った遊び ○木製積み木、板積み木、ビールケース、コップ、ナイフ、綿、スプーン、ナイフ、べらなどを使った遊び ○ボール、カラーコーン、ビブスなどを使ったサンカーク遊び	○大型滑り台、ブラスト、ナックルボール、長座布団などを使った遊び ○木製積み木、板積み木、ビールケース、コップ、ナイフ、綿、スプーン、ナイフ、べらなどを使った遊び ○ボール、カラーコーン、ビブスなどを使ったサンカーク遊び
制作			七夕飾り			運動会の旗(どんぼ)	リース作り	自然物を使った工作	クリスマス製作		あかりどうの会の飾り作り	あかりどうの会の飾り作り	
歌	園歌 春が来たんだ むすんでひらいて 春が来た	かえるのうた かたむし あめふりくまのこ たなばたさま	アイスクリームの歌 おぼけなないさ 梅 さらさらぼし	園歌 スライダの名産地 夏はどってもすきだ な	園歌 うんどうかいのうた むしのこえ はしらのだいき	どんぼのめがね どんぐりころころ むしのこえ おしよるのうた	はじめのいっぽ どっこき しよじよじよ こぎつね きのこ	たきび あわてんぼうのサンタクロース シングルベル おしよるのうた	北風小僧のかんたろう うさぎ まめまき ひなまつり	春をみつに 園歌 にじ(あかりどうの会に歌う歌)	春をみつに 園歌 にじ(あかりどうの会に歌う歌)	春をみつに 園歌 にじ(あかりどうの会に歌う歌)	
集団遊び	リズム遊び かけっこ遊び 引越しゲーム いすとりゲーム	水鬼 色鬼 宝鬼	水鬼 色鬼 宝鬼	リレー遊び	だるまさんが転んだ しっぽ取り リズム遊び	〇〇口鬼 しっぽどりゲーム	けいぞろ タッチ鬼	花いちもんめ かべれんぼ タッチ鬼	リレー遊び 長縄 大根抜き	フルーツバスケット じゃんけん列車	フルーツバスケット ハンカチ落とし	フルーツバスケット ハンカチ落とし	
その他	イエローローインの確認									お正月の遊び 伝統的な遊び			

③5歳児 年間保育計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	【もの】	【もの】	【もの】		【もの】					【もの】		
ねらい	イメージに合う形や組み合わせ方になるように考えて遊ぶ 【ひと】 なかで、必要な素材の種類や数量を考えたり、道具の使い方を工夫したりして遊ぶ 【ひと】 同じ遊びのイメージをもつ友達と遊ぶ中で、友達と一緒に遊ぶイメージを伝え合ったりしながら遊ぶ											
	1学期始業式 副園長講和 参観日 避難訓練② 4・5月誕生会 松本短大・福祉大実習 音楽集会① 音楽集会② おはなし会① 運動集会③	耳鼻科検診 春の遠足 避難訓練② 4・5月誕生会 松本短大・福祉大実習 音楽集会① 音楽集会② おはなし会① 運動集会③	保健室 内科検診 参観日 避難訓練② プールひらき 音楽集会① 音楽集会② おはなし会① 運動集会①	七夕会 幼稚園まつり 6・7月誕生会 1学期終業式	2学期始業式 副園長講和 メイカ祭り プール締め プール初め 運動集会② 運動集会③ 運動集会④	教生1幼稚園実習 避難訓練④ 8・9月誕生会 音楽集会④⑤ 音楽集会② おはなし会② 幼稚園運動会	松小運動会参加 秋の遠足 運動集会③ 運動集会② 運動集会④	松本学校園公開研究会 上郷参観 松本短大・福祉大実習 避難訓練⑤ やさいも会 10・11月誕生会 運動集会④	親子ももつき会 音楽集会⑥ 2学期終業式	3学期始業式 副園長講和 12・1月誕生会 音楽集会③ おはなし会③	せつさんの会 参観日 音楽集会⑥ 運動集会⑤	ひなまつり会 2・3月誕生会 ありがたうの会 お別れ会 3学期終業式 副園長講和 卒園式
行事 全園行事 全園活動												
学年行事				園外保育(沢村プール)	園外保育(沢村プール)	実習生とのお別れ会 交通安全教室 運動会に向けて			小学校音楽会参加 ポッポコーン会	附小1日入学	卒園式の練習	証書授与の練習
食事 生活	清潔 着脱 片付け 排泄 健康	楽しい雰囲気 こぼしたものの始末	三角食べ 水やり 成長の様子を見る	三角食べ 水やり 夏の野菜収穫	台ふき こぼしたものの始末 水やり 夏の野菜収穫 箸の使い方	食べることの喜び 交通安全教室 運動会に向けて	食べ物や栄養 箸やスプーンの使い方 箸と箸 箸の持ち方 箸の扱い方	食・物の栄養 箸やスプーンの使い方 箸と箸 箸の持ち方 箸の扱い方	着や冬用の置き物 (プールの仕舞い方) 手洗いの仕方 手洗いの仕方	食・たの後の過ごし方 お片付け	落ち着いて食べる 決まった時間で食べる	食べる時の姿勢 決まった時間で食べる
		トイレの使い方 手洗いの仕方 道具の片付け 園庭の遊具の片付け 園内危険箇所	ぬれた時の着替え 帽子の着用 水分補給	プールの着替えや衣類 の仕舞い方 水分補給 周りの人へのあいさつ	台ふき こぼしたものの始末 水やり 夏の野菜収穫 箸の使い方	食べることの喜び 交通安全教室 運動会に向けて	食べ物や栄養 箸やスプーンの使い方 箸と箸 箸の持ち方 箸の扱い方	食・物の栄養 箸やスプーンの使い方 箸と箸 箸の持ち方 箸の扱い方	着や冬用の置き物 (プールの仕舞い方) 手洗いの仕方 手洗いの仕方	食・たの後の過ごし方 お片付け	落ち着いて食べる 決まった時間で食べる	食べる時の姿勢 決まった時間で食べる
遊び・素材		大型滑り台、大型滑り台、折りたたみマット、布布団などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び
		積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び	積み木、コンパネ、木片、板などを使った遊び
制作	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)
歌	春が来た ちびうた 園歌	こいのぼり 園歌 つばねのうた	畑のポリカ・虹 だから今日は雨降りが たなばたさま にじのむこうに 雨降りのクマの子	町一番の八百屋さん 大きなのっぽの古時計	園歌 スイカの産地	園歌 うんどうのうた はしるのうた よーいどん	星のランラン あの青い空のうた 山の音楽家 世界に一つだけの花	まつかたの秋 世界の中の子どもたちが 音楽会の歌1 音楽会の歌2	こぎつね 世界中の子どもたちが 音楽会の歌1 音楽会の歌2	集 アフラヘン 絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)	絵(カレンダー用)
集団遊び	水鬼 じゃんけん列車 リレー遊び だるまさんが転んだ	水鬼 じゃんけん列車 リレー遊び だるまさんが転んだ	ドン・ジャンケン フルーツバスケット ねこねこ落とし 木とリス	ドン・ジャンケン フルーツバスケット ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス
		水鬼 じゃんけん列車 リレー遊び だるまさんが転んだ	ドン・ジャンケン フルーツバスケット ねこねこ落とし 木とリス	ドン・ジャンケン フルーツバスケット ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス	リズム遊び サーキット遊び ねこねこ落とし 木とリス
その他	当番活動をする バトロール 小学校への散歩(お花見、春探し)	年少、年中とのかわり 附属中への散歩	(附中梅探り)	水遊び(小学校のプール)	水遊び	(附中梅探り)	(附中梅探り)	(附中梅探り)	小学校体育館でステーション練習	お正月の遊び 伝統的な遊び		

(2) 7～9歳期（小学校低学年）【遊びの領域化】新設「学びの領域」

ことば領域		年間計画		・ は内容		【遊びの領域化】												【教科等の総合化】																	
幼稚園		小1		小2		絵本の読み聞かせ												【領域の教科化】																	
1学期		2学期		3学期		1学期		2学期		3学期		1学期		2学期		3学期		小3		小4		小5		小6		小中									
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
お話しの内容を予測しながら聞こう		表紙やタイトルから予測して聞こう		登場人物の気持ちや行動を考えながら聞こう		内容を伝えよう		お手紙		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪													
あさのおひさま		いちねんせいのおうた		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
はなのみち		ゆうやけ		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
おむすびころりん		くじらぐも		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
おおきななな		たぬきの糸車		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
くちばし		うみのかくれんぼ		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
一日のできごとを伝えよう		わけてばなそう		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
おもしろいことを見せよう		おもしろいことを見せよう		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
サークル型鬼ごっこ・サークルトーク		あいうえおであそぼう		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
あいうえおであそぼう		Hello, friends		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
好きなことを紹介しよう		好きなことを紹介しよう		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
好きなことを紹介しよう		好きなことを紹介しよう		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
How many?		How many?		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ		筆者の伝えたかったことを考えよう		俳句を楽しもう		わたしと小鳥とすずと		雪															
なぞなぞ遊び		なぞなぞ遊び		ふきのとう		おねえさん		わたしはおねえさん		スーホの白い馬		おにごっこ																							

【遊びの領域化】

[illegible]

③ くらし領域 年間計画 □・「」は主活動 ・は内容

【遊びの領域化】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
幼稚園				小1				小2				小3				小4				小5				小6				小7				小8				小9				小10				小11				小12				小13				小14				小15				小16				小17				小18				小19				小20				小21				小22				小23				小24				小25				小26				小27				小28				小29				小30				小31				小32				小33				小34				小35				小36				小37				小38				小39				小40				小41				小42				小43				小44				小45				小46				小47				小48				小49				小50				小51				小52				小53				小54				小55				小56				小57				小58				小59				小60				小61				小62				小63				小64				小65				小66				小67				小68				小69				小70				小71				小72				小73				小74				小75				小76				小77				小78				小79				小80				小81				小82				小83				小84				小85				小86				小87				小88				小89				小90				小91				小92				小93				小94				小95				小96				小97				小98				小99				小100				小101				小102				小103				小104				小105				小106				小107				小108				小109				小110				小111				小112				小113				小114				小115				小116				小117				小118				小119				小120				小121				小122				小123				小124				小125				小126				小127				小128				小129				小130				小131				小132				小133				小134				小135				小136				小137				小138				小139				小140				小141				小142				小143				小144				小145				小146				小147				小148				小149				小150				小151				小152				小153				小154				小155				小156				小157				小158				小159				小160				小161				小162				小163				小164				小165				小166				小167				小168				小169				小170				小171				小172				小173				小174				小175				小176				小177				小178				小179				小180				小181				小182				小183				小184				小185				小186				小187				小188				小189				小190				小191				小192				小193				小194				小195				小196				小197				小198				小199				小200				小201				小202				小203				小204				小205				小206				小207				小208				小209				小210				小211				小212				小213				小214				小215				小216				小217				小218				小219				小220				小221				小222				小223				小224				小225				小226				小227				小228				小229				小230				小231				小232				小233				小234				小235				小236				小237				小238				小239				小240				小241				小242				小243				小244				小245				小246				小247				小248				小249				小250				小251				小252				小253				小254				小255				小256				小257				小258				小259				小260				小261				小262				小263				小264				小265				小266				小267				小268				小269				小270				小271				小272				小273				小274				小275				小276				小277				小278				小279				小280				小281				小282				小283				小284				小285				小286				小287				小288				小289				小290				小291				小292				小293				小294				小295				小296				小297				小298				小299				小300				小301				小302				小303				小304				小305				小306				小307				小308				小309				小310				小311				小312				小313				小314				小315				小316				小317				小318				小319				小320				小321				小322				小323				小324				小325				小326				小327				小328				小329				小330				小331				小332				小333				小334				小335				小336				小337				小338				小339				小340				小341				小342				小343				小344				小345				小346				小347				小348				小349				小350				小351				小352				小353				小354				小355				小356				小357				小358				小359				小360				小361				小362				小363				小364				小365				小366				小367				小368				小369				小370				小371				小372				小373				小374				小375				小376				小377				小378				小379				小380				小381				小382				小383				小384				小385				小386				小387				小388				小389				小390				小391				小392				小393				小394				小395				小396				小397				小398				小399				小400				小401				小402				小403				小404				小405				小406				小407				小408				小409				小410				小411				小412				小413				小414				小415				小416				小417				小418				小419				小420				小421				小422				小423				小424				小425				小426				小427				小428				小429				小430				小431				小432				小433				小434				小435				小436				小437				小438				小439				小440				小441				小442				小443				小444				小445				小446				小447				小448				小449				小450				小451				小452				小453				小454				小455				小456				小457				小458				小459				小460				小461				小462				小463				小464				小465				小466				小467				小468				小469				小470				小471				小472				小473				小474				小475				小476				小477				小478				小479				小480				小481				小482				小483				小484				小485				小486				小487				小488				小489				小490				小491				小492				小493				小494				小495				小496				小497				小498				小499				小500				小501				小502				小503				小504				小505				小506				小507				小508				小509				小510				小511				小512				小513				小514				小515				小516				小517				小518				小519				小520				小521				小522				小523				小524				小525				小526				小527				小528				小529				小530				小531				小532				小533				小534				小535				小536				小537				小538				小539				小540				小541				小542				小543				小544				小545				小546				小547				小548				小549				小550				小551				小552				小553				小554				小555				小556				小557				小558				小559				小560				小561				小562				小563				小564				小565				小566				小567				小568				小569				小570				小571				小572				小573				小574				小575				小576				小577				小578				小579				小580				小581				小582				小583				小584				小585				小586				小587				小588				小589				小590				小591				小592				小593				小594				小595				小596				小597				小598				小599				小600				小601				小602				小603				小604				小605				小606				小607				小608				小609				小610				小611				小612				小613				小614				小615				小616				小617				小618				小619				小620				小621				小622				小623				小624				小625				小626				小627				小628				小629				小630				小631				小632				小633				小634				小635				小636				小637				小638				小639				小640				小641				小642				小643				小644				小645				小646				小647				小648				小649				小650				小651				小652				小653				小654				小655				小656				小657				小658				小659				小660				小661				小662				小663				小664				小665				小666				小667				小668				小669				小670				小671				小672				小673				小674				小675				小676				小677				小678				小679				小680				小681				小682				小683				小684				小685				小686				小687				小688				小689				小690				小691				小692				小693				小694				小695				小696				小697				小698				小699				小700				小701				小702				小703				小704				小705				小706				小707				小708				小709				小710				小711				小712				小713				小714				小715				小716				小717				小718				小719				小720				小721				小722				小723				小724				小725				小726				小727				小728				小729				小730				小731				小732				小733				小734				小735				小736				小737				小738				小739				小740				小741				小742				小743				小744				小745				小746				小747				小748				小749				小750				小751				小752				小753				小754				小755				小756				小757				小758				小759				小760				小761				小762				小763				小764				小765				小766				小767				小768				小769				小770				小771				小772				小773				小774				小775				小776				小777				小778				小779				小780				小781				小782				小783				小784				小785				小786				小787				小788				小789				小790				小791				小792				小793				小794				小795				小796				小797				小798				小799				小800				小801				小802				小803				小804				小805				小806				小807				小808				小809				小810				小811				小812				小813				小814				小815				小816				小817				小818				小819				小820				小821				小822				小823				小824				小825				小826				小827				小828				小829				小830				小831				小832				小833				小834				小835				小836				小837				小838				小839				小840				小841				小842				小843				小844				小845				小846				小847				小848				小849				小850				小851				小852				小853				小854				小855				小856				小857				小858				小859				小860				小861				小862				小863				小864				小865				小866				小867				小868				小869				小870				小871				小872				小873				小874				小875				小876				小877				小878				小879				小880				小881				小882				小883				小884				小885				小886				小887				小888				小889				小890				小891				小892				小893				小894				小895				小896				小897				小898				小899				小900				小901				小902				小903				小904				小905				小906				小907				小908				小909				小910				小911				小912				小913				小914				小915				小916				小917				小918				小919				小920				小921				小922				小923				小924				小925				小926				小927				小928				小929				小930				小931				小932				小933				小934				小935				小936				小937				小938				小939				小940				小941				小942				小943				小944				小945				小946				小947				小948				小949				小950				小951				小952				小953				小954				小955				小956				小957				小958				小959				小960				小961				小962				小963				小964				小965				小966				小967				小968				小969				小970				小971				小972				小973				小974				小975				小976				小977				小978				小979				小980				小981				小982				小983				小984				小985				小986				小987				小988				小989				小990				小991				小992				小993				小994				小995				小996				小997				小998				小999				小1000				小1001				小1002				小1003				小1004				小1005				小1006				小1007				小1008				小1009				小1010				小1011				小1012				小1013				小1014				小1015				小1016				小1017				小1018				小1019				小1020				小1021				小1022				小1023				小1024				小1025				小1026				小1027				小1028				小1029				小1030				小1031				小1032				小1033				小1034				小1035			

长风止

[illegible]

樂
音

体育

①英語科 年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4年	Unit1 Hello, world.	Unit2 let's play cards.	Unit3 I like Monday.		Unit4 what time is it?	Unit5 Do you have a pen?	Unit6 What do you want?	Unit7 What time do you get up?	Unit8 Where is the gym?	Unit9 This is my favorite place.	Unit9 This is my day.	
5年	Unit1 Hello, everyone.	Unit6 I want to go to Italy (社会:わたしたちの国土)	Unit2 When is your birthday?		Unit7 What would you like? (国語:外来語)	Unit5 Do you have a pen?	Unit6 This is my town. (縦割り遠足に向けて)	Unit4 What time do you get up? (体育:保健)	Unit8 Where is the gym?	Unit 9 My hero is my brother? (国語:この本おすすめます)		
6年	Unit1 This is me!	Unit3 What do you want to watch? (修学旅行に向けて)	Unit2 Welcome to Japan		Unit4 My summer vacation	Unit5 He is famous/She is great (社会:歴史)	Unit6 This is my town. (縦割り遠足に向けて)	Unit8 What do you want to be?	Unit 7 My Best Memory (卒業文集)	Unit9 Junior high school life (国語:中学校へつなげよう)		

・CAN-DO リスト: 12 年間の到達目標

		外国語理解の能力			外国語表現の能力		
		聞くこと		読むこと	話すこと		書くこと
目指す資質・能力		【思考力・判断力・表現力】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えることができるようにする。		【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	【学ばう力・人間性】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
12 年間の学習到達目標		【思考力・判断力・表現力】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	【学ばう力・人間性】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
A2.2	準 2 級	3 年: はっきり話されれば、社会的な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。4 年: はっきり話されれば、社会的な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		3 年: はっきり話されれば、社会的な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。4 年: はっきり話されれば、社会的な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。	3 年: はっきり話されれば、社会的な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。4 年: はっきり話されれば、社会的な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		3 年: はっきり話されれば、社会的な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。4 年: はっきり話されれば、社会的な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。
A2.1	3 級	2 年: はっきり話されれば、身近な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。3 年: はっきり話されれば、身近な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		2 年: はっきり話されれば、身近な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。3 年: はっきり話されれば、身近な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。	2 年: はっきり話されれば、身近な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。3 年: はっきり話されれば、身近な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		2 年: はっきり話されれば、身近な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。3 年: はっきり話されれば、身近な話題や外国文化について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。
A1.3	3 級 4 級	1 年: ゆっくりはっきり話されれば、自分の身の回りの話題や、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。2 年: ゆっくりはっきり話されれば、自分の身の回りの話題や、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		1 年: ゆっくりはっきり話されれば、自分の身の回りの話題や、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。2 年: ゆっくりはっきり話されれば、自分の身の回りの話題や、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。	1 年: ゆっくりはっきり話されれば、自分の身の回りの話題や、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。2 年: ゆっくりはっきり話されれば、自分の身の回りの話題や、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		1 年: ゆっくりはっきり話されれば、自分の身の回りの話題や、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。2 年: ゆっくりはっきり話されれば、自分の身の回りの話題や、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。
A1.2	4 級 5 級	6 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。7 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		6 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。7 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。	6 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。7 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		6 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。7 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。
A1.1		5 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。6 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		5 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。6 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。	5 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。6 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		5 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。6 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。
PreA1		4 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。5 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		4 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。5 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。	4 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。5 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。		4 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。5 年: ゆっくりはっきり話されれば、ALT の趣味や好きなこと、自分の身の回りの話題について、自分の考えや気持ちを伝え、必要に応じて、相手の考えや気持ちを聞き取る。

② 技術科 年間計画

技術 観 を 高 め て い く 小 中 技 術 教 育 カ リ キ ュ ラ ム 構 想 (2018.6 一 部 改 定)									
材 料 加 工 の 技 術		エ ネ ル ギ ー 変 換 の 技 術		情 報 の 技 術		生 物 育 成 の 技 術		工 業 化 の プロセス 手作業	
発達段階 と技術観	小4	材料加工の基礎力 (習得スキル) 自課 ・道具 (のこ・小刀・鋸) を使って厚薄材とヒノキの間伐材を加工し、マイ箸をつくる。 (例) 給食で使えるマイ箸を作ろう (7h)		情報の分析・画像処理 ・ダイビング・画像ファイルの処理・ブレゼンを学習しながらソフトウェアの基礎を学ぶ。 ・Scratch 基礎の。 (例) 伝えよう松小のいいところ(5h)		栽培技術の基本を支える力 ・ジャガイモを栽培することで仲間と協力して維持管理の大切さと収穫の喜びを味わう。 (例) じゃがいもを育てよう (3h)		工業化のプロセス ・じゃがいもを育てよう (8h)	
	小6	材料加工の基礎力 (習得スキル) 自課 ・簡単な構想図(寸法ど)りから材にけがきをし、のこを使って正確に材を切断し、釘を使って接合する。 (例) 一枚の板から鉛筆立てを作ろう (7h)		単独的なプログラミングの活用 自課 ・身の回りにある装置を再現することでセンサー、コンピュータ、アクチュエータを意識した生活ができる。 (例) 身の回りの装置を照らで再現しよう (13h)		理科 植物の仕組み ・発芽に必要なもの。 ・種子の中の養分。 ・成長と日光・養分。 ・葉のつくり、花粉。 ・おしべのつくり、めしべのつくり。 ・受粉。 植物のからだのはたらき ・葉と日光。 ・水の通り道。 ・葉のつくり。 ・根のつくり。		機械化 (例) 町の良さを伝えよう～パンフレットの電子化～	
中1	中1	材料加工の基礎力 エネルギー変換の基礎的な力 ・有線制御による創造的なロボットを製作し、目的に応じた動きにするために仲間と協力して改良していく。極性の変化によるDCモーターの動きの違いを体験を通して学ぶ。 (例) 旗ロボットをつくって校内アイデアロボットコンに参加しよう (14h)		単独的なプログラミングの活用 自課 ・国語の学習を支援させパンフレットの電子化(プログラミング)により、相手意識に立って分かりやすさを伝えよう。		生物育成の応用的な力 社会の要求に応えるプログラミング力。 自課 ・模擬会社を設立し、協働で農場を運営する。人件費、電気代を算出し、試算したそれらの値段を算出したレタスの株数で割り、一株当たりの値段を算出する。植物工場では、プログラミングを使ってLED、ファンを自動制御する。 (例) 土光栽培(農業有無)と植物工場のメリット・デメリットを突き止めるよう (8h)。		自動化 (例) 土光栽培(農業有無)と植物工場のメリット・デメリットを突き止めるよう (8h)。	
中3	中3	材料加工の応用的な力 自課 ・釘や金属を使用しない木組みの椅子を制作。地震における木組み(柔構造)の利点を制作を通して学ぶ。 (例) 百年椅子の制作 (20h)		エネルギー変換の応用的な力 自課 ・理科の電磁誘導で学んだ知識を基に、モーターを製作し、動力伝達の仕組みを学ぶ。 (例) 自然エネルギーでミニ四駆を走らせよう (30-C40・30 プリンタを使った設計と制作) (20h)		技術観 ・計測・制御によるプログラミングの学習の中で、協働的な問題解決能力や創造力、技術を活用する力を育成する。従来のものづくりと3D-C40・30 プリンタ、プログラミングといったICTの融合題材について学んでいく。 世の中にちょっと役立つ自律型ロボットをつくらう! (24h)		技術観 ・小・中技術・理で身に付けた知識やスキル、そして資質・能力を統合し、「総合的な学習の時間」と往還しながら、技術の力で環境問題というリアルな社会問題を解決しようとする態度。 技術の力で持続可能な社会を構築しようとする力。 自課 (例) 土光栽培(農業有無)と植物工場のメリット・デメリットを突き止めるよう (8h)。	

技術科 年間指導計画(小学校高学年)

資質・能力		4学年	5学年		6学年
		具体的項目	題材例	具体的項目	題材例
自己表現力	構想図や設計図、レポートに自らの考えを表現し、相手に伝えることができる。	① 工具やソフトウェアを使って、自分の思いや願いを形にする製作ができる。	「給食で使えるマイ箸をつくらう」 道具（のこぎり・小刀・鉋）を使って県産ヒノキの間伐材を加工し、マイ箸をつくる。 （自己表現力に重点）	自分の思いや願いをより良く表す設計をし、それをもとに製作をすることができる。	「設計しよう！家族に紹介する鉛筆立て」 家族のニーズに合った鉛筆立てを設計し、家族に紹介する。 （社会参画力に重点）
			「伝えよう松のいいところ」 タイピング・画像ファイルの処理・プレゼンを学習しながらソフトウェアの基礎を学ぶ （課題探究力に重点）	自分の思いや願いをもとにした設計の意図を明確にして図に表すことができる。	「1枚の板から鉛筆立てをつくらう」 簡単な構想図（寸法どり）から材にけがきをし、のこを使って正確に材を切断する。 （自己表現力に重点）
		② 自分の思いや願いを簡単な図に表すことができる。	「ジャガイモを育てよう」 ジャガイモを栽培することで、仲間と協力して維持管理の大切さ、収穫の喜びを味わう。 （社会参画力に重点）	課題に対して適切な工夫や改善を考えて製作することができる。	「身の回りにある装置を再現すること」 センサー、コンピュータ、アクチュエータを意識した生活ができる。 （課題探究力に重点）
課題探究力	目的や条件に応じ、製作（制作）や情報処理の手順を論理的に考えることができる。	① 課題に対して自分なりに工夫し改善することで解決する製作ができる。		効率的な製作や情報処理の手順を考えて製作することができる。	製作や情報処理の手順を論理的に考えて製作することができる。製品の改善を論理的に考えることができる。
		② 工具やソフトウェアを使って、粘り強く製作し続けることができる。		家族や友達とのニーズに合った製品を考え製作することができる。	より多くの人のニーズを捉え、ニーズに合った製品を考えて製作することができる。
社会参画力	他者と共に考えたり、表現したりしながら、他者となることができる。	① 自分が使うための製品を製作することができる。		製品の完成に向けて、他者と共に議論しながら製作し、相互に評価することができる。	製品の完成に向けて、協働的に製作をすることができる。
		② 製品の完成に向けて、他者と共に製作することができる。			

技術科 年間指導計画（中学校）

資質・能力		1学年	2学年	3学年
		具体的項目	具体的項目	具体的項目
		題材例	題材例	題材例
自己表現力	○地球市民の視点から実社会のなかから技術にかかわる問題の解決方法を論理的に提案する力 ○自らの考えを製作図やレポート等に表現し、相手に伝える力	・Eディフェンスの視聴や木組みの製木組みの家が大きな揺れに耐えられぬのか技術的視点から説明することができる。 ①	ロボットの制作図や解決方法をホワイトボード等に表示し、相手に伝えることができる。 ・生活や社会の問題を解決できるロボットのよさや特徴を明確にし、提案することができる。	・電気自動車についての基礎的な構造を理解し、技能を習得することができる。電気自動車と生活や社会との関わりについて理解することができる。
		・相手からの要求や考えを自分なりにまとめ、それらを設計図に表現し、相手に伝えることができる。 ②	・生活や社会の問題を解決できるロボット制作において、それらを評価・改善することができる。 ・他教科の知識や技能を活用し、技術の見方・考え方をより深く働かせ、問題を解決することができる。	・生活や社会の中から電気自動車に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作、実験等を通じて具体化し、実践を評価・改善している。 ・他教科の知識や技能を活用し、技術の見方・考え方をより深く働かせ、問題を解決することができる。
課題探究力	○地球市民の視点から実社会のなかから技術にかかわる問題をもちこんで課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善する力	・十字相がき継ぎ、ほぞ継ぎの製作から、試行錯誤しながら仕口の調整を行うことができる。 ①	・生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し、その課題を解決するロボット制作において、それらを評価・改善することができる。 ・他教科の知識や技能を活用し、技術の見方・考え方をより深く働かせ、問題を解決することができる。	・生活や社会の中から電気自動車に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作、実験等を通じて具体化し、実践を評価・改善している。 ・他教科の知識や技能を活用し、技術の見方・考え方をより深く働かせ、問題を解決することができる。
		・他教科の知識や技能を活用し、技術の見方・考え方をより深く働かせ、問題を解決することができる。 ②	・各栽培方法のメリット、デメリットを理解し、それらを環境的、経済的に評価することができる。 ・地球市民としてよりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて他者と協働して新たな価値を創造することができる。	・現在の電力事情を考慮しつつも、相反する要求の折り合いを付け、持続可能な社会の実現に向け、最適な解決策を電気自動車・電動バイクを走らせることで模索しようとすることができる。
社会参画力	○地球市民としてよりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて他者と協働して新たな価値を創造し続ける力	・木組みを技術的な価値を地域の人々に伝える活動を通して、古い建造物への理解とその保存活動をもとに考えることができる。 ①	・各栽培方法のメリット、デメリットを理解し、それらを環境的、経済的に評価することができる。 ・地球市民としてよりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて他者と協働して新たな価値を創造することができる。	・現在の電力事情を考慮しつつも、相反する要求の折り合いを付け、持続可能な社会の実現に向け、最適な解決策を電気自動車・電動バイクを走らせることで模索しようとすることができる。
		②	・地球市民としてよりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて他者と協働して新たな価値を創造することができる。	・現在の電力事情を考慮しつつも、相反する要求の折り合いを付け、持続可能な社会の実現に向け、最適な解決策を電気自動車・電動バイクを走らせることで模索しようとすることができる。

令和5年度 総合カレンダー

〈第1学年：前期〉歩み出そう！私たちの総合（学級で取り組む題材を選定する）



〈第1学年：後期〉決定！私たちだけの「総合」（学級で取り組む題材を決定する）



〈第2学年：前期〉実感！この瞬間が私の学び！（題材から個の課題を設定する）

〈第2学年：後期〉広がれ！深まれ！私の学び（題材の価値に多様性を見出す）



〈第3学年：前期〉一度一度をかみ締めよう！（題材の価値を生き方に結ぶ）



〈第3学年：後期〉総合があったから今がある。（学びを振り返って価値づける）

1 年A組 担任：宮坂浩司		テーマ 人と自然に優しい「そば」で社会貢献（仮）
1 育成を目指す資質・能力 【知識及び技能】 ・作物の栽培，販売，商品開発，宣伝等に関する知識および技能を身につけるとともに，それらに関わる方々の工夫や努力，農業をとりまく諸問題について理解することができる。 【思考力，判断力，表現力等】 ・「世の中に貢献し，人を笑顔にしたい」という願いの実現に向け，作物を栽培し，それを商品化・販売する活動や，そば殻の利活用法を考えること等を通して，必要な情報を収集し，場面に応じて整理・分析し，まとめ・表現することができる。 【学びに向かう力，人間性等】 ・課題の解決に向け，友や地域の方と協働して取り組む中で，社会とつながりながら，自分に何かできるか模索しつつ，自己の生き方について考えていくことができる。		
2 学習対象となる材（「そば」を取り巻く主な「もの・ひと・こと」） 【もの】 そば，畑，チラシ，パッケージ など 【ひと】 製麺所の方，農家の方，土地を貸してくださる方 など 【こと】 レシピ開発，地域の魅力発信（PR），地産地消，伝統食，環境問題，農業の担い手，耕作放棄地問題，資源（そば殻等）の活用 など		
3 年間指導計画（カレンダー）		
学年	問い (○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
1	・総合のテーマは，どうやって決めていったらいいんだろう？ ○「目的」「テーマ」についての話し合いを行う。 ・総合の目標について話し合ったら，「地域に貢献したい」という願いや，「食べ物」「環境」「松本のPR」「伝統」といったキーワードが出てきた。みんなの考えや願いを広くカバーできる活動はないかな。 ・「貢献」「人を笑顔に」を大きな目的に，みんなの願いを叶えられるような活動を決め出したい ・6 班の出した「そば」は，1A みんなの願いに広く関わっているから，テーマになるかもしれない。 ・学校の近くで栽培ってできるのだろうか？作ったものを誰に，どんなふうに届ける？ ・PC が得意だからパッケージを作りたい。商品としてどこかに置いてもらえないかな。 ・そばを自分たちで栽培し，食べられる状態にしてみたい ○実際にそば作りを体験する。 ・A 製麺の方も，「そばを通して地域を笑顔に」とおっしゃっていた。そこは自分たちの目的と同じだな。 ・けっこう手軽にできるらしい。まずはプランターや梅園の一角で育ててみよう。 ・荒廃農地や耕作放棄地が問題になっているみたいだ。どこか使わせてもらえる場所はないかな。 ・実際に作ったら，思いのほか美味しい！でも，あれだけ頑張っても 40 人分がすぐ終わってしまったな。 ・自分たちで食べることはできたけど，実際に商品にすることは可能なんだろうか？ ・自分たちで栽培したそばを，誰かに食べてもらいたい ○規模を広げてそば作りをしながら，自分達が作ったそばを身近な人に食べてもらおうイベントを計画する。 ・参観日で，保護者の方や，農家の B さんに食べてもらって，率直な感想をもらいたいな。 ・去年は小規模に栽培したけど，C さんの住む地区に貸していただける土地があるらしい。	◇先輩による総合ガイダンスを聞いた後，「目的」「テーマ」などの言葉を整理する時間を設けることで，学級総合のテーマ決めの議論をしやすくする。 ◇テーマを決める際，案だけを出し合うのではなく，細かく言うとどんな活動ができそうか，それを通じてどんな貢献ができそうかを出し合うようにすることで，実現可能性を確認し，見通しがもてるようにする。 ◇実際にそばを作っている農家や製麺所の方と出会う場面を設定し，アドバイスや，仕事との向き合い方をお聞きすることで，栽培等に関する知識や技能を身につけるとともに，たちの目的を再確認できるようにする。 ◇これまでの成果を振り返りながら，「貢献」「人を笑顔に」という目的に近づくには，今年度は何をすべきかを問うことで，自分たちの商品を消費者の目線で捉え直し，改良していきたいという思いをもてるようにする。

2	・食べてもらった感想として、「味自体は悪くないから、どんな価値をつけて販売するかが大事」という助言をもらった。自分たちの商品の価値ってなんだろう。 ・他にはない2 Aブランドのそばや関連商品を開発・販売し、「貢献」を大事に活動してきた成果を伝えたい ○自分達で作ったそばを通して伝えられる価値を整理し、販売する形態や方法を考える。 ・「荒廃農地で作った」「捨てられる〇〇を肥料として使った」など、付加価値として表示できるのでは？ ・そもそもアレルギーでそばを食べられない人もいますから、そういう人に向けてそば殻を使った生活用品など、何か提案できないかな？ ・せっかく作るのだから、何かのイベントで販売したり、お店に置いてもらって、消費者と直接つながりたい。	◇保護者やお世話になった製麺所や農家の方を呼び、実際にできたそばを食べてもらったり、関連商品を見てアドバイスをいただく機会を設けることで、自分たちの商品の良さや課題に気づけるようにする。 ◇「2 Aのことを知らない人でも手に取ってくれる商品ってどんなものだろう？」と問うことで、販売を通して自分たちが伝えたい価値に着目して考えられるようにする。 ◇実際に店頭に並んでいるそばや関連商品についての情報を収集し、それらを整理する場面を設けることで、どんな相手に、どんな伝え方をすればより2 Aの取り組みに興味もってもらえるか考えられるようにする。
3	・3 Aブランドのそばや関連商品を販売し、イベントを通して自分たちの「貢献」の成果を発信したい ○商品の販売やPR活動を行う。 ・3年間の総合で自分たちは何を学んできたのだろう。 ○学級総合の振り返りを行う。 ・「そば」をテーマに3年間活動してきて、農家や製麺所の方の苦労や思い、実際に畑で作業する大変さ、天候に左右されることなど、いろんなことを知った。そして、数こそ少ないけれど、自分たちの作ったものを買ってもらえた実感もある。販売の時、活動を評価してもらえたあの一言が何より嬉しかった。働くってこういうことなんだな、こんな苦労やりがいがあるんだなって、実感をもってわかった気がする。	◇商品を購入してくださった方、今までお世話になったA製麺の方、農家のBさんらの言葉を受け取り味わう場面を設定することで、自分たちの活動の良さや手応えを感じられるようにする。 ◇これまでの活動の成果を映像を通して振り返り、冊子にまとめる活動場面を設けることで、3年間の総合の過程を確認しながら、自分たちが学んできたことを考え、その価値を捉え直すことができるようにする。

1 年 B 組 担任：鷹野 巽		テーマ 一人はみんなのために、みんなは一人のために ～国際理解～
1 育成を目指す資質・能力 【知識及び技能】 地域や中学校周辺に住む外国人の暮らしの現状や、その人たちが大切にしている文化や価値観と自分たちの文化や価値観などの違いを知り、その違いを乗り越えるために、自分たちも身近なところからできることに取り組もうとすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実際に暮らしている方に話を聞いたり、世界と関わる取り組みについて調べたりすることを通して、立場によって様々な考えがあることに気づき、相手意識をもって活動を考えたり、活動を修正したりしながら、持続可能性のある活動を考え出し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の国や外国人のために自分たちにできることを考え、自分たちが得意なことを生かして、身近な人にその国の魅力を発信したり、今後のあるべき社会を創造するために行動したりする。		
2 学習対象となる材（「国際理解」を取り巻く主な「もの・ひと・こと」） 【もの】世界の民族衣装や伝統工芸品、伝統料理・食材、スポーツ、楽器など 【ひと】JICA（青年海外協力隊）広報担当：水野さん・竹内さん、信大の留学生、ALT の先生、地域で暮らしている外国人の方、海外の料理や品を地域で売る店の方、イベント参加者など 【こと】魅力を発信するためのイベント、動画やイラストを使った広報、インタビュー活動など		
3 年間指導計画（カレンダー）		
学年	問い (○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
1	1 年 B 組の学級総合で大切にしたいことって何だろう ○総合理念(目標)・課題・活動の話し合い ・やりたいことばかりで大きな目標がないな。まず、総合理念から決めた方が見通しをもって活動できそうだな。 ・自分たちが楽しむ、協力する、そしてお互いに周りの誰かのためになる学級総合にしたいな。 テーマ 一人はみんなのために、みんなは一人のために ○具体的な活動内容の決定【課題設定】 ・「みんな」って誰だろう。社会でも調べたり考えたりしたけど、「みんな」って世界の人々と考えられるね。 ・世界の国や人の様子、魅力を実際に聞いてみたいな。	◇生徒から挙げた学級総合に対する思いを「理念」・「課題」・「活動」に分類して提示することで、学級総合における見通しや大切にしたいことを順序立てて考えられるようにする。 ◇『「一人」や「みんな」とは誰なのか』と尋ね、自分が考えた具体的なひとを全体で共有する場を設けることで、世界の人々や地域の人といった相手意識をもって活動が行えるようにする。
2	世界の国や人にはどんな魅力があるのだろう ○世界の国や人の魅力の調査【情報収集】 ・JICA の方とオンラインでつながったり、信大の留学生や海外料理のお店を開いている人と直接話をしたりできた。自分が知らない魅力がたくさんあるんだ。 自分たちが知った魅力をどうやって伝えたらいいだろう ○世界の国や人の魅力の発信【整理・分析、まとめ・表現】 ・知った魅力を人に伝えたい。国ごとに分けたり、共通点を探したりしておこう。伝えるためには動画やイラストが使えるそうだな。イベントを開いて発信してもいいね。	◇実際にひとに会って世界の様子を聞きたいという願いを捉え、JICA の方や留学生と出会い、質問をする場を設けることで、世界の国や人の魅力に気付けるようにする。 ◇魅力を人に伝えたいというつぶやきを捉え、発信の仕方を考える場を設け、共有することで、自分の得意なことを生かして情報や魅力を発信できるようにする。
3	自分たちの活動は世界の魅力発信につながったのか ○活動の振り返りと次への見通し ・少しでも多くの人に伝えることはできた。ただ、広報の面ではまだできることがあったかもしれない。 ・中学校を卒業した後も今回の活動や思いは続けることはできるはず。卒業後は何ができるだろう。 これからの自分に何ができるのか、本当の地球市民とは ○3 年間の学級総合の振り返り ・地球市民の意味が分からなかったけど、学級総合を通して、世界や住んでいる地域に生きる目の前の誰かのために具体的に行動できる人が地球市民なんだと思う。 ・高校に進学しても、JICA の活動に参加したり、広い視野でその国や地域の魅力を見つけたりしたい。	◇地域で暮らす外国人やイベント参加者など学級総合に関わった方の思いや願いを聞き、自分たちの思いや願いとの共通点を見出す場を設けることで、多角的に活動を振り返ることができるようにする。 ◇「世界の魅力を知って、あなた自身にどんな変化があったのか」と尋ねることで、学んだことを自分の生き方につなげて考え、自分なりの行いで、社会を支える人になろうとする意欲をもつことができるようにする。

1 年 C 組 担任：矢嶋俊樹		テーマ 地域，誰かのために，松本民芸家具に関わる	
1 育成を目指す資質・能力			
【知識及び技能】			
○木材加工，民芸家具の歴史，民芸運動，国産材			
・松本市の特産品として，松本民芸家具があること，職人の後継者問題や，量産される家具が多い中，手仕事の家具の需要が減っていることを知り，その解決のために必要な知識や技能を身に付け，松本民芸家具に関わる人々の思いや，取り組みを知ることができる。			
【思考力，判断力，表現力等】			
○令和における松本民芸家具のありかた，課題の設定			
・民芸家具に関わる課題を解決したいという願いの解決に向けて，問を立ち上げ，情報を収集したり，分析したりすることができる。また，その活動の中で感じたことや味わったことをまとめ，表現することができる。			
【学びに向かう力，人間性等】			
○学級一丸となって，ものづくりの楽しさや，人とつながる喜びを感じる			
・互いの良さを生かしながら，積極的に課題に取り組むことができる。			
2 学習対象となる材（「松本民芸家具」を取り巻く主な「もの・ひと・こと」）			
【もの】木材（主材料：ミズメ，樺，桤，檜），松本民芸家具，漆塗装			
【ひと】池田満雄 松本民芸家具（株）の社長 Youtube で松本民芸家具について発信している 松本民芸家具 中央民芸ショールーム			
【こと】松本民芸家具「てしごとの会」今年度中央民芸ショールームにて開催 長野県「伝統工芸展」昨年度井上百貨店にて開催			
3 年間指導計画（カレンダー）			
学年	問い	(○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
1	これから始まる『総合的な学習の時間』で大切にしたいことは何だろうか？ ○話し合い ・人のため，地域のために活動したい。 長野県の有名な“もの”って何だろうか？ ○長野県（松本市）の特産品を調べる。 ・松本民芸家具，スイカ，飴…。松本市だけでもこんなにたくさんあるんだ。		◇生徒に長野県の観光ガイドを渡し「自分の住んでいる地域の特産品を意外と知らないんだ。」という意識を取り上げ，身近な松本市の特産品について調べたい意欲を高められるようにする。
2	調べた特産品はどのようにして作られるのだろうか？ ○職場見学，職人さんの話を聴く，体験する ・調べた特産品はこうやって生まれたんだ。松本市にも全国に誇れる有名なものがあることが嬉しい。自分たちの力でもっと知らせていきたい。 ・ものづくりの現場に立ち会って，その難しさを知った。自分達でも何か力になれることはないだろうか。		◇会社や職人さんと連絡を取ることを提案し，見学の準備を進めることによって，計画的に活動が進められるようにする。
3	松本の特産品をもっと発信するにはどうしたらいいだろうか？ ○民芸家具イベントへの参加，CM 作り ・民芸家具イベントを盛り上げるお手伝いがしたい。こんな素敵な特産品があることを広めるために，PR 動画を作成して，ふるさと CM 大賞に応募したい。		◇ポスターや，地域のお祭り，民芸家具のイベントについて調べたり，総合的な学習の時間を発信するような場所はないか調べたり，参加したりを促すことによって，3 年間の成果を外部に発信することができる。

1年D組 担任：佐々木 泰斗		テーマ 人を幸せにしたい ～「つくる」を中核にして～
1 育成を目指す資質・能力 【知識及び技能】 - 商品開発や廃材の活用について必要な知識及び技能を身に付けるとともに、人を幸せにするための活動をしている方々の工夫や努力を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 実際に販売している方に話を聞いたり、人を幸せにするための制作をしたりする活動を通して、目的に向かって活動することには様々な課題があることに気づき、それを克服するために情報を整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 人を幸せにするために自分たちができることは何かを考え、情報を集めたり、商品を提供したりする。また、友とともに協力しながら取り組んだり、地域の方々と関わったりしていく中で、自己の生き方を考えていくことができる。		
2 学習対象となる材（「つくる」を取り巻く主な「もの・ひと・こと」） 【もの】地域の食材・木材・情報関係の広告など 【ひと】地域のパン屋さん・市役所の職員・大学の教授など 【こと】販売イベント・SDGs・寄付・HPのアップロードなど		
3 年間指導計画（カレンダー）		
学年	問い (○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
	総合を始めるにあたって何から決める？目的？手段？ ○学級総合のスタート方法の決定 - 先輩の話を参考に、まずは目的から決めた方がよい。 - 後になって内容が行き詰ることの無いように、時間が経ってもよいから、最初に目的をしっかりと決めた方がよいと思う。 目的・理念・手段はどんなものがよいのだろうか？ ○目的・理念・手段の決定 - 自分たちの行動が誰かの役に立つ活動がしたい。 - ものづくりについてやってみたい。 - みんなで協力して、思い出に残る時間になるといい。 テーマ 人を幸せにしたい ～つくるを中核に～	◇総合の時間を経て先輩たちが感じたことを聞く場を設けることで、学級で大切にしたいことやその見通しを考え、何から始めるべきか考えることができるようにする。 ◇「目的」「理念」「手段」にはどんなものがあるのか、県内外や過去の先輩たちの総合の実践事例を調べる場を設けることで、一人ひとりの知識やアイデアの引き出しを増やすことができるようにする。
1	人を幸せにするために何をつくりたい？ ○活動内容の決定 「パン」を作って、食べている人の笑顔がみたい。 「家具」を作って、必要としている人の役に立てたい。 「SNS」を使って、自分たちの活動を広めたい。 どのような手順で「人を幸せに」できるのだろうか？ ○人を幸せにするための道筋を計画 - パンを食べてもらうためにはどこかのお店と連携していきたい。作り方や材料などを考えたり、お店の人と連絡をとったりしていかないといい。 - 家具の材料は廃材を利用すると環境にも良さそうだな。どこから仕入れるか調べないと。 - SNS だけでなく HP も作ってみたい。専門家に聞いて方法や良い案を授かりたい。	◇「つくる」の中にも様々な内容があるという生徒のつぶやきをとらえ、「食品」「もの」「デジタル」の3部門に分けることで、話し合いの内容の焦点を絞りやすくする。 ◇各部門の最終目的を確認し、そこに向かうまでの見通しを計画する場を設けることで、必要な知識や材料などを具体的に考えることができるようにする。

2	人を幸せにするための具体的な活動に取り組みたい ○グループに分かれて活動を進める ① パンづくりグループ ・どうやって作るの。材料は何が要るのかな。 ・どこで販売する。売ったお金はどうする。 ② ものづくりグループ ・廃材ってどこで入手できるんだろう。 ・何を作るのが一番人を幸せにできるんだろう。 ③ 情報発信グループ ・多くの人が広告を見るためには何がいいかな。 ・人の興味を惹くデザインはどう工夫しよう。 地域に出向いて人を幸せにしよう ○グループに分かれて活動を進める ① パンづくりグループ ・地域のお店に協力してもらった。自分たちの商品が売れると嬉しい。 ② ものづくりグループ ・制作したベンチを介護施設に設置してもらえた。使っていただけると嬉しい。 ③ 情報発信グループ ・事前に情報を知ってくれていた方々がたくさん来てくれた。販売に貢献できて嬉しい。	◇生徒の活動内容に対して「その活動は人を幸せにできることとどうつながるのか」と適宜問うことで、活動の目的を常に念頭に入れて創意工夫し、「幸せ」について、材料や制作過程にも目を向けることができるようにする。 ◇イベントの場を設定することで、目的意識を明確にし、本番までの準備を進めることができるようにする。 ◇企業や店舗と連携をし、生徒の想いが形として現れる場を設定することで、自分たちの企画や運営がどこまで地域の人を幸せにできるのか確認することができるようにする。
3	活動を振り返って次に繋げたい ○成果と課題を考える ① パンづくりグループ ・売れたことは良かったが、食べている様子を見ていないので、幸せにできたか分からなかった。 ② ものづくりグループ ・提供はできたが、使ってくれている様子が分からないので、幸せにできたか分からなかった。 ③ 情報発信グループ ・たくさん来てくれたが、附属関係者がメインだったので、幅広い年齢層の方に周知してもらいたい。 課題を改善して新しいイベントを立ち上げよう ○前回の課題を改善してイベントを考える。 ① パンづくりグループ ・どこか会場を借りて販売し、その場で食べてもらうスペースを確保する。テイクアウトのお客様にはアンケートフォームをQRコードで読み取れるようにする。 ② ものづくりグループ ・学校内のベンチが破損しているので、みんなにつかってもらうためのベンチを制作する。 ③ 情報発信グループ ・SNSにも年齢層が分かれていることを知ったので使い分けたり、新聞にも載せてもらって周知したい。また、アンケートフォームの作成もしたい。 3年間の総合で私たちが学んできたものは何だろう。 ○振り返り ・人を幸せにすることは、とてつもなく大変だということが分かった。 ・最初は人の幸せについて考えていたけど、お客さんや使用者の笑顔を見ることで、自分も幸せになった。 ・人の幸せは、自分たちの幸せにも繋がっているんだと感じた。	◇「地域の方々との交流を通して、人を幸せにすることができたのか」と問うことで、自分たちの活動が地域の方々の幸せとどう繋がったのかという視点から、成果と次への課題が明確になるようにする。 ◇「人を幸せにできたかどうかどうやって確認できるのか」と問うことで、更に良いイベントを立ち上げるために、前回のイベントの改善点から、解決策を工夫することができるようにする。 ◇「人を幸せにするための活動を通して、あなた自身にどのような変化があったのか」と尋ねることで、幸せについて自分の生き方につなげて考え、その良さを今後につなげることができるようにする。

2年A組 担任：前所優介		テーマ ものづくり
1 育成を目指す資質・能力 【知識及び技能】 ものづくりに必要な知識や技能を身に付け、探究を進める中で、より高度な知識や技能を習得していけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 制作、販売それぞれで自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 制作、販売のそれぞれの活動で互いの良さを活かして連携をとっていくことで、実際に社会とかがかわろうとする態度を養う。		
2 学習対象となる材（「つくる」を取り巻く主な「もの・ひと・こと」） 【もの】 水引、つまみ細工、トンボ玉、金属加工作品 等 【ひと】 雑貨店の方々、クラフト市に携わるの方々、工芸作家の方、しめ縄をつくる農家の方、JAの方 【こと】 ハンドメイド、伝統工芸、端材利用（リサイクル）、制作・販売に関わること		
3 年間指導計画（カレンダー）		
学年	問い (○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
1	つくる？育てる？調べる？ 「つくる」…じゃあ、何をつくってみる？ ○素材（土、金属）にふれる - 粘土で皿とかつくってみたい - 金属を溶かして型に流し込ませて、危険じゃないかな 3年間通してやるものだから慎重に選びたい 「つくる」だったらイメージ湧きやすいな すごく大きなものをひとつみんなで作るのはどうだろう 動画やゲームなどをつくってみるのも面白そう 粘土で皿とかつくってみたい 金属を溶かして型に流し込ませて、危険じゃないかな キーホルダーにしようかな ひもを通してペンダントにしてみたい 粘土を焼くのは自分たちでできるの？ 学校に窯はあるけど、誰がやるの？ 自分たちの力ではどうにもならなそう 焼く？ 学校に窯はあるけど、誰がやるの？ 自分たちの力ではどうにもならなそう ○伝統工芸について調べる - 調べてみると、焼きものが多い - 水引は飯田市の伝統工芸なんだ - つまみ細工ってなんだか可愛いからやってみよう ○素材（水引、つまみ細工）にふれる - 動画を見ながら基本の結び方をマスターしよう - 成人式のお姉さんにつまみ細工の髪飾りをプレゼントしたい 動画を見ながら基本の結び方をマスターしよう 成人式のお姉さんにつまみ細工の髪飾りをプレゼントしたい お姉さんに喜んでもらえた 動画を見なくてもつくれるようになった いつまでつくるの？ ただつくっているだけでいいの？ ○「つくる」目的を考える - 誰かにプレゼントするのはどうかな？ - もっと色んなものをつくりたい - つくったものを売るのはどうだろう？ - 売れたらそのお金を寄付するのは？ - お金儲けをしようとは思わない 自分たちがつくったものは商品として通用するだろうか？ - どんなものなら売れそうかな - 水引をイヤリングやピアスにしたらどうだろうかな - つまみ細工は和風な感じだから着物の時の髪飾りかな - 封筒に水引がついているのを見たことがあるけど… - 水引、つまみ細工以外で何かないかな？ - 自分たち以外の人の意見も聞いてみたい ○保護者の方の意見を聞く アンケート内容 ①欲しいと思えるものがあつたか ②いくら位なら買ってもよいと思うか ③改善点やアドバイス ④こんなものなら欲しいかも	◇松本クラフトフェア 2022 の様子を写真や動画で紹介し、クラフト作品（購入品）を提示することで、自分たちが知らない多種多様な素材、道具等を用いて様々なものが制作可能であることを知ることができるようにする。 ◇鑄造か陶芸かを生徒自身で選ぶことができるようにすることで、それぞれの素材にどれくらいの可能性を見出せそうかを追求していくことができるようにする。 ◇粘土、金属以外で、木と硝子も近々扱う予定であることを伝えることで、様々な素材から自分に合いそうなものを選んでいくという見通しを持つことができるようにする。 ◇工芸品の中から「伝統工芸」という分野に絞って着目することで、様々な素材や技法、特性などについて知り、新たな表現に出会うことができるようにする。 ◇参観日で保護者の方々につくった品を見ていただき、アンケートをとり、今後の活動の指針になりそうな意見に着目することで、これからの活動に対して見直しをもつことができるようにする。
2	○保護者の方の意見から、今後の取り組みについて考える - 結構厳しい意見もあった。使うことを前提としたものでなければ「欲しい」という気持ちにはつながらない - 使うにしても、女性か男性か、どんなシーンで使うのかまで想定してつくらないとだめだということもわかった - キーホルダーにするのでも、チェーン部分との組み合わせで高級感が出たり、逆に安っぽくなってしまうりする ○保護者の方の意見を参考に再度つくってみる - 使う人やシーンを想定してつくってこよう - 丁寧に作るだけでなく、素材にも気を配っていきたい - 自分の技能にそろそろ限界を感じてきた… - つくっても、売り方とかどうするんだろう 自分はという形でのづくりに関わっていいか？ ○「ものを売る」のに必要な事を考える - 売ることのできるレベルまで技術を磨いていくこと - 商品のラインナップを考えること - 売る相手は男性なのか女性なのか、年代はどれくらいか - いつ売るのが？誰が売るのが？売場所は？ - 附中祭で試みに売ってみたいだろう。 - ただ置いておくだけで売れるとは思わない	◇アンケートを参考に、これまでの制作物を見返し、自分たちに足りないものや、制作物に足した方がよいものなどについて意見を出し合うことで、具体的な課題を共有できるようにする。 ◇つくることにに対して困難を感じる生徒の声を上げることで、「つくる」以外で販売に必要なことはどんなことがあるかを考えるきっかけとする。

2	○商品を「つくる側」「売る側」に分かれて活動を進める ・ヘアピンと水引を組み合わせようかな ・つまみ細工はかんざしの方が良さそうかもしれない ・材料も節約していく必要があるかもしれない ・陳列を想定してポップをつくってみよう ・ディスカウストアのポップを参考にしてみよう ・スプレッドシートで会計に関する表をつくろうかな。 他につくれそうなものはないだろうか？ ポップは今のままでよいのだろうか？ 実際に売られているものは、どんなクオリティで、どのようにディスプレイされているのか？ ○雑貨店に出向き、実際の商品やそれを取り巻く環境について見学する ・ハンドメイドでもやっぱりクオリティが高い ・価格もそれなりにするんだな ・店によって客層が大きく異なるんだな ・ポップは案外小さいものが多かったな ・商品や店の雰囲気でポップの見た目が大きく違った ・商品のパッケージは必要になってくるかもしれない ○実際の販売の様子からわかったことを参考に、今後自分たちに必要になりそうなことを考える ・やっぱり商品のクオリティは高めていきたい ・どんな人をターゲットにするかを考える必要がある ・価格についても考えていかなくては ・ポップは、商品をよく見て考えてつくる必要がある ・ただ置くのではなく、置き方にも工夫が必要だ ・商品は、袋に入れて置いた方がよいのではないかな これまでやってきたことは、どれくらい通用するのだろうか？ ○いつ、どこで、どんな形態で販売していくのかについて考える ・附中祭にはそういうタイミングってあるのかな？ ・お店に商品を置いてもらうことってできるのかな ・ハンドメイド作品を気軽に売れるような場所が良いな ・去年みたい親に見てもらおうのはどうかな （○しめ縄飾りづくりの体験を試みる） ○翌年度の販売に向けてイベントへの参加申し込みなど、必要な手続きを行う	◇松本クラフトフェアや、安曇野さんぽ市など、初夏に行われるイベントを紹介した新聞記事などを紹介することで、参加できそうなイベントに目星をつけていけるようにする。 ◇秋頃にも同様にして、開催されるイベントの新聞記事などを紹介していき、来年度への展望がもてるようにしていく。 ◇店の雰囲気や、扱っている商品、商品の価格やディスプレイなど、具体的にみるポイントを絞ることで、目的をもって見学することができるようにする。 ◇プロの作家が集うような松本クラフトフェアのようなイベントでなく、一般の人々でも参加ができそうなイベントを探し、教師がその場に出向き、写真などでイベントの様子を紹介することで、そこに意識を向けていけるようにする。
3	○イベント参加に向けての準備を行う ・参加できそうな人数を把握する必要があるな ・商品を運ぶのは…先生にお願いしよう ・当番制にすれば、一人当たりの負担が少なく済みそう ○イベントに参加する（秋のイベントを予定） （○可能であれば春・秋の2回参加したい） ○イベント参加後、振り返りをする ・頑張ってたったのだけ売れ残ってしまった… ・こだわってたったのだけイヤリングが売れてよかった ・ポップは役にたったのかな　いまひとつ実感が湧かないな ・売上金はどうすれば良いのだろう 目標としていたものは終わったけど、これからどうする？ ・とりあえず附中祭に向けて活動をまとめていこう。 ・附中祭でも売れないかな… ・大きなイベントに参加する形で販売してみただけ、自分たちだけで売場を確保して販売してみたいな どこかに販売可能な場所はないだろうか？ 売上金はどうしているのかな？ ・メディアガーデンとかでスペース貸してくれないかな ・募金をするのはどうだろう ・お店にお願いしてみたらどうだろう ・クラスレクに使うことってできるのかな ○これまでの活動をまとめて発表する（2月の参観日）	◇参加することを通してどのようなことを学びたいかを問い、イベントへの参加の目的が売上金額などにならぬようにする。

2年B組 担任：宮澤誠司		テーマ 劇団「SMILE」― 誰かの日常に彩りを ―	
1 育成を目指す資質・能力			
【知識及び技能】 働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは自己の成長と共に見出すことができることに気付くことができる。			
【思考力、判断力、表現力等】 ・演劇を作り上げる中で人と関わることを通して感じたことをもとに課題を設定し、見通しをもって計画を立てることができる。また、その課題を解決していくために、より効率的・効果的な手段を選択し、情報を収集することができる。 ・「比較」「分類」「関連付け」「序列化」等、考えるための技法を用いて情報を整理・分析し、それらを相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、表現することができる。			
【学びに向かう力、人間性等】 ・自他の意見や考えのよさを生かしながら課題解決に向け、協働して学び合おうとすることができる。 ・演劇を通じた他者や地域との関わりの中で、自分たちができることや自己の生き方について考えることができる。			
2 学習対象となる材（「演劇」を取り巻く主な「もの・ひと・こと」）			
【もの】 演劇、公演後のアンケート 【ひと】 上土劇場支配人 永高英雄さん、劇団山脈副サークル長 山田さん 【こと】 まつもと演劇祭、FESTA 松本、まつもと演劇連合会			
3 年間指導計画（カレンダー）			
学年	問い	(○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
1	3年間の総合的な学習の時間で大事にしたいことって何だろう。 ○学級での話し合い ・「個性、協力、B組らしさ、つながり、人のため、やりがい、3年間続けることができ楽しめる」を大切にしたいな。 「大切にしたいこと」をもとに活動を決め出したい。 ○活動を決め出す ・演劇は私たちの大切にしたいことを全部達成できそうだな。なによりおもしろそう！ やるぞ！劇団「SMILE」旗揚げ公演だ！ ○公演準備 ・脚本に合わせて、衣装、小道具、大道具、音響・照明……やらなきゃいけないことがたくさんだ！それから会場を押さえたり、当日の日程を考えたり、宣伝もしなきゃいけない。みんなで分担して頑張るぞ！ ○旗揚げ公演（公演①） ・見に来てくれた学童の子たちが前のめりになって劇を見てくれたし、保護者の方や先生たちもB組らしさがあってすごくよかったって言ってくれた。いろんな人たちが喜んでくれて嬉しかったなあ。大成功！		◇「学級総合ではどんなことを大切にしたいか」と尋ねることで、総合に対する願いを出し合い、活動の土台になる願いを決め出すことができるようにする。 ◇「7つの願いを叶えられそうな活動は何か」と尋ねることで、自分たちの願いを象徴する活動を出し合い、決め出すことができるようにする。 ◇似た活動を行っていた先輩のステージ完成のための役割分担と仕事内容を紹介することで、公演の準備に見通しをもつことができるようにする。 ◇実際の発表の場を設定することで、自分たちの演劇に対する反応を感じたり、アンケートで生の声をもらったりし、自分たちの今までの活動に充足感を得ることができるようにする。
	○旗揚げ公演を振り返り、次の演劇に向けての夢を語る。 ・公演後のアンケートには、面白かったっていう声が多くあった。でも、もっと語りかけるようにとかの演技のこと、それから裏方の動きはもっと効率的にとか課題になりそうなこともたくさんあったぞ。次の演劇に生かしていけたらいいな。なにより、こうやって意見を寄せてくれるほどに、私たちの演劇を真剣に見てくれることが嬉しいな。 ・今回は身近な人がお客さんとして来てくれたけれど、今度は私たちと関係の薄い人にも見てもらいたいな。場所ももっと広くて大きいところに！ もっと多くの人に私たちの演劇を届けたい！ (……でも、これって私たちの自己満足じゃないのかな) ○公演準備 ・多くのお客さんに来てもらうために、まずは自分たちの劇のクオリティを上げたいな。実際に演劇をしている人たちに演技のこととか、演劇にまつわるいろんなことを聞いてみよう。 ・身内だけでなく来てもらえるように宣伝も工夫しよう。ポスターを貼らせてくれるところを探したり、新聞やラジオ、SNSを使って発信したりするのもいいな。 ・前回は通しの練習がほとんどできなかった。役者だけでなく、最初から最後まで裏方も含めてどう動くのかを綿密に練習しておきたいな。お客さんに1つのステージをしっかりと楽しんでもらえるように！		◇旗揚げ公演のアンケートを読み、感じたことや次回の公演に向けてやってみたいことを語り合う場を設定することで、より多くの人に自分たちの演劇を見てもらいたいという願いをもつことができるようにする。 ◇劇団「青い鳥」を招待し、ステージ作りの見学、演劇の鑑賞、演劇の体験といった場を設定することで、それぞれの立場から自分たちの演劇をより高めるための情報収集をしたり、公演に向けての意欲を高めたりすることができるようにする。 ◇永高さんに来ていただき、通しの練習を見てもらう場を設定することで、演技や通しの練習方法などについて助言をもらうことができるようにする。

2	○公演②～⑤→振り返り ・やっぱり、お客さんが帰り際に「おもしろかった」って言うてくれたときが一番嬉しい。自分たちの活動が認められた感じがするっていうのもあるけれど、人を笑顔にできたときって自分も幸せになるな。 もっとお客さんに笑顔になってもらえる演劇にしたいな。 ○練り直す ・もっと演技に磨きをかけよう。お客さん参加型の演劇もいいな。 ・演劇の入場料としてアルミ缶とか牛乳パックを持ってきてもらうのはどうだろう。「いいことしてる」って思えたら、もっといい気持ちで演劇を見られるんじゃないかな。 ・笑えるのはもちろんだけど、見たときに共感っていうか、スカッとする感覚になってもらえたらいいな。 ○公演⑥～⑨→振り返り ・アンケートに「普段思っても言えなかったことを言葉にしてくれたような気がして、すごくすっきりしました。中学生の頑張りを見て、明日からも頑張れそうな気がします」ってあった。演劇って、誰かのもやもやを言葉にして、背中を押してあげることもなのかもな。 ・お客さん、笑顔で帰ってったな。アンケートの人みたいに、明日からの元気に少しでもなれたらいいな。適当に付けたけど、劇団「SMILE」っていい名前だな。	◇「一番嬉しかったことは何か」と尋ねることで、3回の公演を思い返し、誰かを笑顔にしていることに喜びを感じる自分たちに気付くことができるようにする。 ◇「笑顔になってもらうにはどんな工夫ができるだろうか」と尋ねることで、以前出たアイディアを思い返し、お客さんと共に演劇を作り上げていくような演劇の在り方を模索することができるようにする。 ◇お客さんの反応を思い返したり、アンケートを読んだりし、お客さんが喜んでくれている理由を考えるよう促すことで、演劇の価値について考えることができるようにする。
3	見たくても見られない人っているんじゃないかな。そういう人の力になれないかな。 ○老人ホーム、児童館、病院などで公演を行う。 ・おばあちゃんたちすごく喜んでくれた。涙を流している人もいたな。「中学生が来てくれて、こんなすてきな劇を見せてくれて、元気が出たし、嬉しかった」だって。来てよかったな。 お世話になった人たちを招いて最終公演をしたいな。 ○最終公演 ・3年間、本当にたくさんの方に支えられて活動ができた。今日は、思いっきり楽しんでもらいたい。 私たちは3年間の総合で何を学んだのかな。 ・ただ楽しいからって始まった演劇だった。その時も確かに楽しかったけれど、誰かが喜んでくれたり、時には泣いてくれたり、その人の人生の中で、少しでもいい時間になったのかなって思えたときがすごく嬉しかった。みんなそれぞれに大変さを抱えていて、それでも頑張ってる。全然関係のない自分が、ちょっとでもその人の手助けになれるって改めてすごいことだと思う。人は支え合って生きるっていうけれど、それを実感した。演劇は終わっちゃうけど、これからの私にも人を元気づけることができるかもしれないな。 ……最後にもう1回だけ。私たちだけで、私たちのために。 ○3月27日	◇多くの発表の場を生徒と共に求めていくことで、自分たちのしている活動が、誰かの人生の励みになっているという自覚を少しずつ深めていくことができるようにする。 ◇「最後の公演を誰に見せたいですか」と尋ねることで、今まで支えていただいた方々に恩返し公演を行いたいという意欲をもつことができるようにする。 ◇「演劇の活動から、自分が得た“学び”を言葉にしよう」と問うことで、学んだことを自分の生き方につなげて考え、社会の中で自分も支える側になるのだという決意をもつことができるようにする。

2年C組 担任：小池 佑貴		テーマ Cleanプロジェクト
1 育成を目指す資質・能力 【知識及び技能】 松本市内を花いっぱいにする取組や、伝統工芸の後継者の問題が地域にあることを知り、その解決のために必要な知識や技能を身につけると共に、その活動に関わる人々の工夫や取組を知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の課題を解決していきたいという願いの解決に向けて、問いを立ち上げ、その解決にむけて、情報を収集したり、分析をしたり、材に働きかけたりすることができる。また、その活動の中で感じたことや味わったことをまとめ、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の問題に対して、地域の方や友の思いや考えを受け止め、「自分以外の人や地域のために」という視点をもって、他者と協働して課題に取り組むことができる。		
2 学習対象となる材（「松本ほうき・花・廃材」を取り巻く主な「もの・ひと・こと」） 【もの】 花、花壇、松本ほうき、廃材 【ひと】 町を花いっぱいにする会、近隣の花屋さん（さわや、花屋彦左衛門）、米澤ほうき工房米澤資修さん、松本森林組合、松本市 【こと】 花いっぱいフラワーコンテスト 地域の花壇 松本ほうき（ブランド）		
3 年間指導計画（カレンダー）		
学年	問い (○) 学習活動 (・) 生徒の意識 ◇オリエンテーションを聞いたり、卒業生の総合的な学習での取り組みを聞いたりする場を設け、「1-Cの学級総合ではどんなことを大切にしていきたいですか」と問うことで、学級総合の活動に対する見通しをもつことができるようにする。	◇「活動を、話し合いではなく、まずはそれぞれの興味のあることから取り組んでみたい」という声を取り上げ、それぞれの取り組みたいことを共有する場を設定し、活動内容や、活動の進め方を問うことで、今後の活動への見通しをもつことができるようにする。 ◇グループごとの活動において、「クラスとして何か一つのことを取り組んでいきたい」「クラスとしてのゴールを決めたい」という声を取り上げ、全体で共有する場を設けることで、互いの活動の魅力や共通点を通じて、クラスとして活動を決めだしていきたいという意欲を高めることができるようにする。
1	3年間の総合的な学習の時間で大切にしていきたいことは何か。それを達成するためには、どんな活動をしていけばいいのだろうか。 ○学級での話し合い ・クラスで協力して、一つのことに取り組んでいきたい。人のため、地域のためになる活動を行っていきたい。SDGsと関連した活動にしていきたい。そして、自分も周りも笑顔にしていきたい。 ・取り組むからには、私たちが楽しいと思える活動をしていきたい。私たちが楽しいと思っていることは、自然とSDGsにつながっていくのではないかな。 私たちが本当にやりたいことを見つけるために、まずは行動しよう ○「Craft」という、魅力を感じてみよう。 ①松本ほうきグループ ・松本市には松本ほうきという伝統工芸があるんだな。ものすごく長持ちするほうきなんだって。私たちも作ってみたいな。 ・普通のほうきとどのようなことが違うのだろう。 ・米澤ほうき工房という、工房があるんだな。体験することはできないだろうか。 ・普通に売られているほうきは、色をよく見せるために薬品を使っているんだ。だから、穂先が固くなってしまっって長持ちしないんだ。 ・ひとつのほうきを作るのってとっても大変なんだな。 ・伝統工芸だけれども、後継者がいないという課題もあるんだな。 ②廃材グループ ・捨てられてしまう廃材を使ってもものづくりをすれば、ごみも減るしSDGsともつながってくるのではないかな。 ・花を植えるプランターボックスを作って、花を飾れば学校もきれいになるぞ。 ・捨てられてしまうものから、新たなものが作り出されることってとっても楽しいな。 ・一つのものを作るのって、とっても時間がかかるんだな。 ③自然グループ ・綿花を利用して、布や糸を作ることができないかな。 ・松本市は花いっぱいにする運動が始まった場所だったんだね。花を育てて、何か作ることにはできないのだろうか。 ・花いっぱいフラワーコンテストがあるのだ。花いっぱい運動に参加してみよう。	◇オリエンテーションを聞いたり、卒業生の総合的な学習での取り組みを聞いたりする場を設け、「1-Cの学級総合ではどんなことを大切にしていきたいですか」と問うことで、学級総合の活動に対する見通しをもつことができるようにする。 ◇「活動を、話し合いではなく、まずはそれぞれの興味のあることから取り組んでみたい」という声を取り上げ、それぞれの取り組みたいことを共有する場を設定し、活動内容や、活動の進め方を問うことで、今後の活動への見通しをもつことができるようにする。 ◇グループごとの活動において、「クラスとして何か一つのことを取り組んでいきたい」「クラスとしてのゴールを決めたい」という声を取り上げ、全体で共有する場を設けることで、互いの活動の魅力や共通点を通じて、クラスとして活動を決めだしていきたいという意欲を高めることができるようにする。

2	それぞれの活動してきたことを共有し、クラスがつながれるゴールを見つけない。 ○これまでの活動を共有し、それぞれの活動の魅力や、課題、今後クラスでつながって行けそうなことを話し合う。 ・これまでのづくりということで、それぞれのグループで活動してきた。他のグループがどんな活動してきたのか、知りたいな。 ・松本ほうきグループでも、廃材グループでも、自然グループでも、それぞれの活動に魅力がある。だからこそ、それぞれのグループで活動していることは捨てることはできない。それぞれのグループの活動がつながることを考えて、クラスとして一つのゴールに向かっていきたい。 ・ほうきづくり、廃材を用いたプランターボックス、花いっぱい活動の共通点は、どこかをきれいにすることなのではないか。まずは私たちの学校や学校の周りからきれいにしていきたい。 ・ほうきを作って、学校中のほうきを私たちの作ったほうきに交換したい。松本ほうきはとっても掃きやすいから、学校がきれいになるのではないかな。 ・学校に花を飾ってもいいね。 Clean プロジェクトで、学校や地域をきれいにしていきたい ○学校や地域の課題を再度調査を行い、その課題の解決のための活動を進めていく。 ・自分たちの活動を進めていくために、学校や地域の課題をはっきりさせていきたい。 ・私たちの育ててきたハウキモロコシを使って、学校で使えるほうきを作っていきたい。まずは学校の小ほうきを私たちの作ったほうきにしていきたいな。 ・廃材のプランターボックスを使って、花を育てて実際に学校に飾っていききたい。昇降口に花があったらきれいだろうな。 ・地域にも私たちの育てた花をたくさん置いていきたい。地域に花を置くためには、どうしたらいいかな。市役所や花いっぱい運動の人に聞いてみたい。どのような花がいいのだろうか。管理の方法も考えていかないといいなそう。	◇それぞれの活動の報告を聞き、P（楽しそうなこと、その活動の魅力）M（課題、今後課題となること）I（共通点を基に繋がったら面白そうな活動）に分け整理・分析する時間を設けることで、グループのつながりや今後の見通しをもつことができるようにする。 ◇それぞれの魅力を生かせる活動を検討し、互いの意見を交流する場を設けることで、2年C組としての総合的な学習のテーマを決めだすことができるようにする。 ◇学級で、「Clean」という観点で学校や地域の課題を調査する場を設けることで、今後の活動でどのようなことができそうか、具体的なイメージをもつことができるようにする。 ◇プロジェクトを取り巻く方と出会うことができる場を設定し、それぞれの立場からの意見やアドバイスをいただくことで、その材をより深く追究することができるようにする。
3	もっともっときれいな街にしていきたい。 ○学校周辺の美化活動。イベントへの参加 ・今年は更にハウキモロコシを作って、学校中の長いほうきや短いほうきを松本ほうきに交換していきたいな。このほうきを使って学校をきれいにしていきたい。 ・私たちの作った廃材のプランターボックスや、ほうきで学校周辺の美化活動をしていきたいな。花を飾って、地域を明るくしていきたい。 ・これまで私たちが育ててきた花づくりの成果を発表しよう。まずは「花いっぱいフラワーコンテスト」で、これまでの成果を発表しよう。 3年間の総合で私たちは何を学んできたのだろう。 ○附中祭での発表、3年間のまとめ ・附中祭で、これまでの成果を生かして、花を飾ろう。廃材を使ったプランターボックスを使おう。自分たちが作ったほうきを実際に試してもらってもよさそう。来てくださった方々にアンケートを取って、意見をいただこう。 ・Cleanプロジェクトを通して、自分も相手も笑顔に、元気になれる活動になった。将来自分の地域のまちづくりへも参画していきたい。	◇学級で取り組んできた Clean プロジェクトに関して、製作したほうきや、廃材を用いたプランターボックスやそこに飾った花への感想を味わう場を設定することで、自分たちの活動で、私たちの学校がきれいになってきたことや、まちづくりに貢献したという、ささやかでも確かな手ごたえやよさを感じることができるようにする。

2年 D組 担任：樋口慧		テーマ 松本の活性化
1 育成を目指す資質・能力 【知識及び技能】 ・上土，緑町，なわて通り界隈に住む人々の生活や歴史等，観光客から見える地域の魅力を理解することができる。 ・調査活動を目的や対象に応じた適切さで実施している。 ・上土，緑町，なわて通り界隈の活性化に関する理解は，地域に住む人々の願いと地域の魅力との関係を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 【思考力，判断力，表現力等】 ・上土，緑町，なわて通り界隈への関りを通して感じた関心をもとに課題をつくり，見通しをもって計画を立てている。 ・課題の解決に必要な情報を，効果的な手段を選択して多様に収集し，種類に合わせて蓄積することができる。 ・課題解決に向けて，多様な情報の特徴に応じて整理し，考えることができる。 ・相手や目的に応じて，わかりやすくまとめ，表現することができる。 【学びに向かう力，人間性等】 ・上土，緑町，なわて通り界隈の活性化に関わる課題やそのために自分たちができることへの課題解決に向け，自分の特徴や良さに気付き，探究活動に進んで取り組もうとする。 ・自他の意見や考えのよさを生かしながら課題解決に向け，協働して学び合おうとする。 ・上土，緑町，なわて通り界隈との関りの中で自己の生き方を考え，自分にできることを見付けようとする。		
2 学習対象となる材（「 」を取り巻く主な「もの・ひと・こと」） 【もの】 上土・緑町・なわて通り （映画 商店街 大正ロマン） 【ひと】 お城下町まちづくり推進協議会（三村さん）→個味遊（コミュン）プロジェクトを運営 市役所（三の丸エリア活性化プロジェクト） 【こと】 お城下町アートパーク計画 各種イベント（映画や商店街アピール等）		
3 年間指導計画（カレンダー）		
学年	問い (○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
1	<u>探究課題は何にしよう</u> ・目的から決めて，街歩きとかしていいなと思ったものを探そう ○街歩き ・上土には映画館があつて，映画を大事にしているんだ ・なわて通りには魅力的なお店が多い。 ・自然の豊かさの魅力だな ○グループごとに探究課題にしたいものをプレゼン ○投票 ・投票の結果，「映画」になった。これからどんな映画をこのクラスで作っていけるか楽しみだ。 <u>どんな映画をつくろうかな</u> ・既成の物語（赤ずきんちゃん）をもとに，映画作りがどんなものか体感してみよう。 ・作り始めたらうまくいかないことが出てきた。 ・撮影が遅れることもあるし，クラス全体でやっているからその時間やることなくて暇になってしまう人もいる。これが私たちがやりたかった学級総合なんだろうか。	◇映画館に立ち寄ることで，上土の歴史や文化の魅力の一つに映画があることに気が付けるようにする。 この時期の活動は自分として反省です。教師の教材研究が浅く，見通しもなく映画作りを行っていました。材の魅力や見通しをもって教師が総合を考え続けることをしていれば意識も違ったかもしれません。

2	<u>私たちの学級総合にふさわしいものって何だろう？</u> ○話し合い ・まずみんなが納得して活動できるように、総合の目的や探究課題の決め方から決めていきたい。 ・学級総合の目的は「松本の活性化」に決まった。 <u>松本にはどんな魅力があるんだろう？</u> ・お城下町まちづくり推進協議会という組織があるらしい。私たちが1年生の時にに行った街歩き場所だ。お話を聞いてみたい。 ○お城下町まちづくり推進協議会の方の話を聞く ・上土，緑町，なわて通り界隈の魅力がわかった。 ・推進協議会や地域の方が魅力を発信しようと一生懸命な熱意を感じた。 ・自分たちもそこでできることはないだろうか。 ○上土，緑町，なわて通りを歩く ・改めてこの界隈の魅力を感じてみたい。 ・映画館や歴史あるお店や今流行りそうなお店もある。 ○まとめ，発表 ・この地域を活性化させるお手伝いができたらいいな。 <u>上土，緑町，なわて通りを活性化させる活動しよう</u> ・何かのイベントを目指すのか，各々のグループで活動を進めるのか，正直まだ見えてない部分です。 ・グループ分け等，組織編制がしっかりとないと生徒の意識や活動も停滞してしまうと危機感をもっています。 ・イベントを目指すなら，推進協議会の方と連携したり，生徒がやってみたいイベントを作り，計画，運営，振り返りを行っていく流れになると思います。 ・「上土」があれば動画や映画関連のグループが立ち上がりやすく，1年生の時の映画への意識や学習を引き継げると考えています。 <u>上土，緑町，なわて通りを活性化させるイベントをやってみたい</u> 上土，緑町，なわて通り活性化イベント（冬）	◇生徒の映画への思い，総合への思いを提示することで，学級総合で映画をやりたい意識だけでなくイベント等を行って地域に貢献したいという思いを生徒が感じられるようにする。 ◇お城下町まちづくり推進協議会のHPや資料を提示し，上土，緑町，なわて通り界隈の魅力を知ることができるようにする。
3	<u>私たちの手で上土，緑町，なわて通りの魅力を観光客に教えたい！</u> 上土，緑町，なわて通り活性化イベント（夏） 上土，緑町，なわて通り活性化イベント（秋？） ○3年間のまとめ	

3年A組 担任：森 康博		テーマ 松本のため 地域のために	
1 目指す資質・能力			
【知識及び技能】			
・松本周辺には自然や歴史、観光資源、伝統や文化などの魅力や価値があることに気づき、自ら調査する中で、地域の魅力を維持していくには、多様な問題が存在していることや、問題解決に向けて取り組む人や組織があることを理解する。			
【思考力、判断力、表現力等】			
・松本について、様々な角度から調べ、感じた疑問や関心をもとに課題をつくり、見通しを持って計画を立てることができる。見つかった課題に対して、自分たちにはどんな解決策があるのか、収集した情報を整理し、まとめることができる。			
【学びに向かう力、人間性等】			
・自分たちには何ができるかを考え、アイデアを元に形にしていく中で、課題解決に向け、活動に粘り強く取り組むことができる。自他の意見や考えの良さを生かしながら協働して学び合い、地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見つけようとするすることができる。			
2 学習対象となる材（「松本」を取り巻く主な「もの・ひと・こと」）			
【もの】松本の自然や文化、松本城、縄手通り			
【ひと】手話エンターテインメント発信団体 oioi さん 松本市聴覚障害者協会事務局長 吉池さん 松本ろう学校中部 多田井先生 長野県生涯学習推進センター 駒橋さん 松本市文化振興課桑島さん 松本城管理課加藤さん			
【こと】3Aフェス（仮）～“きこえる人”と“きこえる人ひと”をつなげる社会へ～			
3 年間指導計画（カレンダー）			
学年	問い	(○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
1	学級総合とは何か。3年間をかけてクラスとしてどんな活動をし、どんな力を身に付けたいのか。 ○学級での話し合い ・松本について「学び」、自分たちの五感で「味わう」ことで、自分たちが松本のためにできること「何か」を見つけ出し、自分たちにできることを形にしたい。 ・学級には松本市民じゃない人もいるよ。松本に住んでいてもちゃんと知らないこともあるはず。 テーマを決めて、実際に動き出してみよう。 ○学級で出たテーマを6つに絞り、プレゼンテーションに向けて情報を集めたり、今後の活動について見通しをもったりする。(公共交通機関・松本城・もの作り・生き物・環境・衣食住) ・もっと自分の足で訪れたり、自分の体を使ったりして松本のよさを味わいたいな。		◇総合 OR や先輩たちの話を聞き、自分が感じたことや学んだことを出し合う場を設け、総合への願いや活動の理念を出し合い、活動の理念を設定できるようにする。 ◇興味・関心のあるテーマごとにグループを決め、夏休みを中心に情報を集め、休み明けにプレゼンできるようにする。 ◇地域の自然を守る活動や魅力を発信している人のお話を聞く場を設け、多角的に自分たちの活動とつなげて考えられるようにする。
2	○これまでのグループの活動を他のグループのメンバーに伝えたり、体験したりする場を設ける。 ・他のグループでの活動を体験することで、松本の良さを再発見できた。 松本を良い町にする活動をしてみよう ・特別なことではないけど、道のゴミ拾いなどちょっとしたことで町のためになるかな。 ・たった1時間のゴミ拾いでもたくさんのゴミが集まった。定期的に活動していきたい。 ・自分たちも地域の人にも明るく楽しくなる活動がいい。 ・松本で行われる様々なゴミゼロ運動や花いっぱい運動に参加して、地域の方とつながりたい。 自分たちが味わった松本の魅力を県内外の人に伝えたい。 ○大阪の手話エンターテインメント発信団体 oioi さんとの交流を行う ・きこえないのに、とてもパワフルで私たちも元気をもらった。障がい＝ネガティブなイメージが、oioi さんのように自分を受け入れ、周りに発信していく姿に感動した。 ・3A以外の人にも、聴覚障がいや oioi さんのような団体があることを知ってもらいたい。		◇自分たちの活動の成果を振り返る場を設け、今後の計画や見通しをもてるようにする。 ◇それぞれのグループの活動成果を学級で共有することで、2Aとしてのどんな活動ができるか、互いの考えを伝え合える場を設ける。 ◇自分たちの力でできる活動と、クラスの仲間や団体・企業の力を借りて行う活動とを分けて考えるよう提案することで、グループの活動内容を焦点化して考えられるようにする。 ◇生涯学習センターの紹介を受け、手話団体 oioi さんとの交流することで、聴覚障がい者の日常生活での悩みや苦労を聞いたり、手話体験をしたりすること、地域にも様々な障がいのある人がいることに気付くことができるようする。

3	多くの人に聴覚障がいについて知ってもらいたい ○oioi さんとの交流を通して、聴覚障がいや手話について知ってもらえるイベントを企画する。 ・これまで活動してきたことを、参加してくれた人たちとoioi さんや松本ろう学校の生徒と同じ体験ができたらいいな。 ・イベントを成功するにはどんな準備や手続きが必要なんだろう。出演交渉や予算の確保等はもうしたらいいんだらう。 ・実際に聴覚がい者とコミュニケーションをとるのは簡単ではなかった。お互いが相手の伝えたいことを理解しようすることが大切なんだ。 ○聴覚障害者協会や松本市障害福祉課、松本ろう学校と連絡を取り合いながら、イベントの企画・準備をする。 聴覚障がいだけでなく、様々な人がお互いを尊重できる社会にしたい ・「共生社会」って聞くけど、みんなどんな風に思っているんだらう。どこか他人事のように考えてるんじゃないかな。私たちは、oioi さんと出会ってから、真剣に考えるようになったから、子どもから大人まで、それぞれの立場で考えられたいと思う。3Aのイベントがそんなきっかけになれば嬉しいな。・聴覚障がいをはじめ、様々な障がいを持つ人がいることを、どのくらいの人知っているんだらう。誰もが暮らしやすい社会とは、どんな社会だらう。 私たちがやってきた活動とは・・・ ・地域の一員である私たちが、地域のことに関心を持ち、様々な人たちと交流することができた。交流を通じて多様な人が尊重される社会を築いていきたいと考えようになった。将来、大人になった時にふるさと松本の良さを誇りをもって語れるような人になりたい。 ・それぞれのグループが活動してきたことはバラバラだったけど、たくさんの人たちの協力のおかげで最後は一つの形にまとまりことができた。これからも自分にできることで、地域や社会に貢献していきたい。	◇oioi さんとのオンライン打ち合わせを行うことで、実際に手話やチャットでのコミュニケーションをとることの難しさを実感し、イベントに向けて手話の習得など今後の活動の見通しをもつことができるようにする。 ◇障がいのある人や地域の方との交流を通して、自分たちが社会を構成する一員として自覚し、自分たちには何ができるのか、相手の立場になって考えることができるようにする。 ◇外部の団体や組織とつながる場を設けることで、様々な立場から意見やアドバイスをもらいながら、企画を進めていくことで、徐々に形になり、イベントへの期待感を高められるようにする。 ◇イベント後、参加者やoioi さんからの感想を共有する場を設定し、自分たちの思いと他の人の思いの共通点やズレを知ることを通して、多様な考え方があることに気付く、さらに自分たちの思いや願いを強くもてるようにする。 ◇3年間の学びを振り返り、自分がどのように変わったのかを問うことで、自分や仲間の良さや可能性に気付く、自分の将来につなげることができるようにする。 ◇活動の集大成として、授業参観で発表する場を設けることで、これから社会の一員として生きていく上での自分なりの考えをもてるようにする。
---	--	---

3年B組 担任：伊藤雄太		テーマ We give thanks to SHINSHU	
1 育成を目指す資質・能力			
【知識及び技能】 自分が興味をもったことに向き合いながら、地域が抱える問題について仲間と協力しながら解決していくことができる。			
【思考力、判断力、表現力等】 地域活性に関することや活動についての情報を収集したり、必要な情報を選択したりして、計画を立てることができる。自分たちの活動について相手や目的に応じてわかりやすくまとめたり、学習したことを自らの生活や生き方にいかそうとしたりできる。			
【学びに向かう力、人間性等】 自分たちにできることは何かを考え、地域活性に携わっている方々と思いや活動を共にして、今後の在り方を考え、自分たちができることを探し、行動・発信することができる。			
2 学習対象となる材（「松本の魅力発信」を取り巻く主な「もの・ひと・こと」）			
【もの】 地域の食材を使った食品（お菓子・パン・伝統食）			
【ひと】 繋がるプロジェクト 岩下さん・マツモパン 細川さん・井上百貨店 井上副社長・アトリエ 栗田さん・グリーンロードファーム 大澤さん・松本市役所 地域課の方			
【こと】 繋がるプロジェクト地域活性マルシェ・松本みつばちプロジェクト・活動の情報発信			
3 年間指導計画（カレンダー）			
学年	問い	(○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
1	このクラスで大切にしたいことって何だろう	○学級での話し合い ・クラスみんなが納得するテーマを決めていきたい。 ・松本についてもっと知りたい。 ○松本へ繰り出す ・歩いてみると、今まで気にしていなかった松本の町並みやお店などに気付くことができた。 ・マンホールに手まりの絵が描いてあった。松本には蚕糸公園もあるし、何か関係があるのかな。 ・商店街やお店がいくつかあったけど、コロナ禍のせいかあまりお客さんがいなくて大変そうだ。何かできないかな。	◇先輩方や旧3学年の先生方から過去の事例を紹介してもらった生徒たちに「先輩たちはどんなことを大切に活動してきたのだろうか」と尋ねることで、学級で大切にしたいことややってみたいことについて話し合うことができるようにする。 ◇松本巡りを終えた生徒に「印象に残ったことやもっと知りたいことは何だろう」と尋ねることで、体験を振り返りテーマや活動を決めだすことができるようにする。
	松本の魅力を発信しながら、地域活性の手助けをしたい	松本の企業・松本の伝統のことを	
2	もっと知りたい・味わいたい	○松本の魅力を味わう ・感じた魅力を発信するためには、もっと自分たちで味わわないといけない。とことん追究してみよう。 ・中町通りの手まり屋さんに話を伺って、自分たちの手まりを作ってみたい。 ・松本の食材を使ったお菓子を調べて、自分たちでも作ってみたい。 ・学校の近くにあるパン屋さん「Matsumotopan」は地域の食材を意識した商品を扱っているらしい。どんなこだわりがあるんだろう。	◇松本の企業や伝統について調べたり考えてきた生徒の姿を捉え、「感じた魅力を地域に発信するにはこれからどんなことをしていけばいいだろうか」と尋ねることで、さらに魅力を味わうために現地へ赴いて取材をしたり、自分たちでオリジナルのものを作ったり、地域の人々にインタビューをしたりと、感じた魅力についてとことん追究することができるようにする。
	地域と繋げるために、自分たちに	できることはないだろうか	◇「繋がるプロジェクト地域活性マルシェ」の活動を紹介することで、企業と地域を繋げる活動について知り、地域に思いを巡らせ、活性化させるためにできることは何かないか考えることができるようにする。 ◇松本について調べたり体験したりし、地域の企業と繋がる取り組みに参加してきた生徒に「今までの活動を伝えるにはどうすればいいだろう」と尋ねることで、活動を振り返り、地域と繋がるために自分たちにできることは何かないか考えることが考えることができるようにする。

3	自分たちの活動はどのように人の役に立っているのか ○各グループの活動を振り返る ・マッシュウジャーグループは、地域の幼稚園児や小学生、マツモトに訪れた人たちに向けて、長野県の魅力を発信する劇を考えて練習してきた。武器や衣装の制作、劇の公演を行う場所や時期、それを宣伝する手段など考えなくてはいけないことがたくさんある。 ・地域貢献グループ公園班は、松本小の向かいにある「桐緑地」を地域の人や小学生が集って過ごせる場所にしようと、ゴミ拾いや落ち葉掃きなど環境整備をしてきた。市役所の地域課と連絡をとって中学生の自分たちができるようなイベントが企画できないか聞いてみたい。 ・地域貢献グループ企業班は、マツモトパンに協力していただき地元の食材を使ったコラボ商品を考えて提案し、マルシェで実際に販売してきた。地域のお店と関わることができた。7月にもフェアが開催され、協力してほしいと依頼があった。商品を提案するだけでなく、他にも地域の魅力を伝えるためにできることはないかな。 ・はちみつグループは、井上百貨店の副社長さんに話を伺って、デパートの屋上で養蜂をして「松本みつばちプロジェクト」を行っていることを教えてもらった。そのはちみつを使ったフィナンシェを、アトリエブレと一緒に商品開発する予定だ。どうやって地域の人たちに広めていけるかな。 ・洋菓子グループは、長野県産のフルーツ「ワッサー」をもっと知ってもらいたいと、地域のワッサー農園をお願いしてつぼみの摘み取りのお手伝いをしたり、農園の大澤さんに話を伺ったりしてきた。ワッサーを使った洋菓子を作って、もっと地域の人たちに広まればいいな。 ・てまりグループは、手まりの歴史を調べて発表したり、実際に大小様々な手まりを作ったりしてきた。作って終わりにせず、手まりの魅力をもっと周りの人に伝えたい。クラスのみんなと一緒に簡単な手まりを作って、魅力を味わってもらいたい。 ・サポートセンターグループは、他のそれぞれのグループが円滑に活動できるように、BGMを作って提供したり、紹介ムービーを作ったり、調理実習を手伝ったりしてきた。依頼があったときに手伝ってきたけど、自分たちでできそうなことをもっと発信していきたい。 ○お互いのグループで繋がりそうなことを考える ・マッシュウジャーの公演を、松本小の向かいの桐緑地で行えば、たくさんの幼稚園児や小学生が見に来やすいんじゃないかな。 ・マツモトパンとのコラボ商品で、はちみつを使ったり、ワッサーのジャムを使ったりしたら、地域の人たちにも知ってもらえるんじゃないかな。 ・各グループが商品開発しているものを、サポートセンターグループが広告やパンフレットを作って地域に発信していけるかもしれない。 ・マッシュウジャーの劇の中で、さり気なく各グループの活動を紹介するシーンを入れれば、地域の人たちへ伝えることができそうだ。 ・劇を見に来てくれた人たちに自分たちの手作りの手まりをプレゼントしたら喜んでくれるだろうし、手まりのことを知ってもらえたらいいな。 3年間の活動のまとめをしよう ・松本に訪れる人たちや、幼稚園児・小学生たちに、もっともっと地域のことや魅力を知ってもらえる活動をみんなでしてみたい。 ・クラスのグループはバラバラで活動していたけど、結局向かっていた先は同じだったんだ。最後はクラスで1つの活動をしてまとめに向かっていきたい。 ・桐緑地でマッシュウジャーの公演を企画して、集まってくれた地域の人たちに、自分たちが地域の企業と開発した商品や、自分たちが手作りした手まりを販売して、活動のまとめとしていきたい。 ・学級総合テーマ「We give thanks to SHINSHU」は、「地域に感謝しよう」という意味で立ち上げた。長野県の魅力、地元の食材や素材を使った食品、伝統工芸品などを、自分たちで調査したり制作したり味わったりして、自分たちが感じた良さを地域の人々に広めることで、「感謝」の形を伝えられたと思う。	◇各グループの活動を振り返る場を設けることで、互いのグループの現状や抱えている課題を共有し、学級総合としての今後の見通しを、もつことができるようにする。 ◇お互いのグループの現状を共有した生徒たちに、「他のグループと一緒に活動できそうなことはないかな」と尋ねることで、グループ間で繋がりそうな活動や課題の解決方法を提案することができるようにする。 ◇「B組のテーマ『We give thanks to SHINSHU』は達成することができたかな」と尋ねることで、いくつもあるグループがテーマに向かって行っている活動が、結局一つに繋がっていることに気付くことができるようにし、まとめとしての活動を考えることができるようにする。
---	--	---

3年C組 担任：湯本 哲		鯛萬の井戸 憩いの場プロジェクト！	
1 育成を目指す資質・能力			
【知識及び技能】			
松本市の井戸は、人間の生活の変化と共に変わるものであること、持続可能な環境の実現には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解することができる。			
【思考力、判断力、表現力等】			
・鯛萬の井戸への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、見通しをもって計画を立てることができる。また、課題の解決に必要な情報を、効果的な手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積することができる。			
・課題解決にむけて、多様な情報の特徴に応じて整理し、考えることができるとともに、それらを相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現することができる。			
【学びに向かう力、人間性等】			
・課題解決に向け、自分の特徴やよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとすることができる。			
・地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見つけようとするすることができる。			
2 学習対象となる材（鯛萬の井戸を取り巻く主な「もの・ひと・こと」）			
【もの】鯛萬の井戸、松本市の井戸			
【ひと】「鯛萬の井戸を掃除し続ける方々」大野さん・山下さん・奈良さん、「下横田町会」会長：巢山さん、「松本市役所都市計画課」山田さん・西松さん、「YK マテリアル株式会社」川窪さん、			
【こと】「夏祭り@鯛萬の井戸」、松本市役所への「政策提言発表会」			
3 年間指導計画（カレンダー）			
学年	問い	(○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
1年	3年間の総合的な学習の時間で学びたいことやつけたい力って何だろう。	◇過去の事例紹介を受けて感じた3年間の総合的な学習で先輩が得たことや学んだことを発表する場を設けることで、目的である“理念”の重要性に迫れるようにする。	◇過去の事例紹介を受けて感じた3年間の総合的な学習で先輩が得たことや学んだことを発表する場を設けることで、目的である“理念”の重要性に迫れるようにする。
	○学級での話し合い。 ・クラスで「協力」して、自分たちが「笑顔」で活動するからこそ、その笑顔で自分たちを取り巻く人も「笑顔」になり、人と人が「つな」がっていく総合にしたい。(繋：つながる・つながり・つなげる)	◇活動話し合いで決めるのではなく、実際にやってみてから決めたいという生徒の意見を取り上げることで、夏休み明けに自分と友の興味・関心を比較しながら活動を決定する素地を築くことができるようにする。	◇活動話し合いで決めるのではなく、実際にやってみてから決めたいという生徒の意見を取り上げることで、夏休み明けに自分と友の興味・関心を比較しながら活動を決定する素地を築くことができるようにする。
2年	夏休みを通して自分のやりたいことをやってから活動を決め出したい。	○夏休み中に自分のやりたいことを一人ひとりが体験してみる。 ・レポートに調べ学習でまとめても面白くないし、実際にやってみないとよくわからないから、私は工作が好きだから木で棚を作ってみた。実際に作ってみると楽しかったし、みんなとならもっと広がっていきそう。	◇夏休みに実践してきたことをプレゼンする場を設け、材の魅力を伝え合うことを通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとするようにする。
	学級の仲間が夏休みに行った体験を知りたい、聞きたい。	○夏休みの成果をプレゼンし、魅力を語り合う。 ・マツクイムシに侵された間伐材を使って箱を作ってみました。山の中を車で走っていると木が伐採されていて、それらの木は輸送コストもかかるし、焼却処分するにもお金がかかるので、利用されないことが多いそうです。SDGsの観点からも間伐材を再利用することは世界のためにも大切なことだと思います。	◇プレゼンをもとに総合理念達成が達成できそうな活動を生徒と共に考えることを通して、感じた魅力を基に活動を始めることができるようにする。
3年	夏休みに体験した経験を基にグループに分かれて活動を進めたい。	○廃材ベンチ、紙、箸、捨て猫、さきおり、リサイクル、マイボトル、曲、井戸水PRの9つのグループに分かれて活動を始める。 ・9つのグループに分かれて活動を行っているけど、他のグループが何をやっているか分からない。楽しいけど「これが何になるの…」って感じで…なんか学級総合の学級になれていないな…。	◇グループでは、「バラバラな気がする」や「クラスで繋がりたい」という声を取り上げ、全体で共有する場を設けることで、互いの活動の魅力や共通点から活動を絞っていきたい願いを高めることができるようにする。
	それぞれの活動の魅力を体で感じたい！伝えたい！	○各グループの活動の魅力を学級に伝えるために体験会を計画する。 ・紙づくりで、後半は色を付けたり、香水を入れて香りをつけようとしていたけど、魅力は何かと聞かれたら、きっと紙作りの魅力は「色とか香り」じゃないんだなって思った。…再利用かな。牛乳パックじゃなくて教室にある古紙でやってもできるんじゃないかな。	◇体験の感想をスプレッドシートに記入するよう促すことで、感じた魅力や共通点を蓄積できるようにする。
4年	魅力や共通点を基に2年C組としての活動を決め出したい。	○9つのグループの体験を通して感じたことをスプレッドシートに打ち込み、寄せられた意見をP（楽しかったこと、魅力）M（課題、今後課題となること）I（共通点を基に繋がったら面白そうな活動）に整理し、分析する。 ・今までやってきた活動を捨てることもできないし、でもこのまま9つのグループで活動しても学級総合にならない。みんなの魅力が発揮できるような活動をひとつ決めて活動していくのはどうかな。 ・井戸水を憩いの場にするってなったら、廃材ベンチも紙も井戸水もマイボトルのPRもできるのではないかな。やってみよう！	◇寄せられた意見をP（魅力）M（課題）I（共通点を基に繋がったら面白そうな活動）に分け整理・分析する時間を設けることで、グループのつながりや今後の見通しをもつことができるようにする。

2 年	・それぞれの魅力を考えると「再利用」「SDGs」「ロマン」となった。SDGsの観点からワクワクする憩いの場にしたいな。 井戸水周辺を憩いの場にするために情報を集めよう。 ○井戸水周辺を憩いの場にするための調査を行おう。 ・まずは、井戸水を管理している松本市役所の都市計画課の山田さんと話をして、課題を抱えている井戸があるか聞いてみたい。見つかったらまずはクラス全員で調査して、課題を見つけたい。 ・鯛萬の井戸に、少子高齢化や管理方法などに課題があるみたいだぞ。町会も頭を抱えているし、清掃などの管理は大野さんらが行っているらしい。会長の灰松さんは、中学生のアイデアで、鯛萬の井戸を活性化して欲しいと言っていた。自分たちが行ってきた活動をもとに、鯛萬の井戸のために活動していこう。 鯛萬の井戸に自分たちの製作物が設置できるかを相談したい。 ○下横田町会から灰松さん・巢山さん、管理者の立場から大野さん・山下さん・奈良さんをお招きして、感想や思いを聞く。 ・今まで作ってきたものを設置したいって思っていたけど、灰松さんの「設置したりPRすることが人を集める手段になるからありがたい」というお話から、自分たちの活動は活性化のための可能性があると感じた。また、今日来ていただいた方々は鯛萬の井戸に対してものすごく大きな思いを持たれていることも分かった。しかし、大野さんの思いからは、今後、町会と市が繋がったり地元の人の考え方が変わったりしないと未来の鯛萬の井戸を守る人がいなくなってしまうような気がした。物を置くだけでは解決できない問題もありそうだ。人にしても、物にしても、もっと先のことを考える必要があるな。	◇各グループの魅力が生かせる活動を個人で考えるよう提案し、それらを基に今後の見通しを検討する場を設けることで、グループとしての活動ではなく、2年C組としての活動の見通しをもつことができるようにする。 ◇学級で井戸水周辺を調査し、得られた情報をPMIで整理・分析する場を設けることで、鯛萬の井戸を取り巻く課題を多面的・多角的に捉えることができるようにする。 ◇自分たちの活動の様子や製作物を見てもらったり、その感想や鯛萬の井戸に対する思いをお聞きしたりすることを通して、鯛萬の井戸を管理する方々の努力を知り、鯛萬の井戸に関わる方を思い浮かべながら今後の活動に取り組もうとすることができるようにする。 ◇質問する中で感じた鯛萬の井戸に関わる方々の思いや未来について書かれている感想を発表するよう促すことで、今後の鯛萬の井戸との関わりを改めて考えることができるようにする。
3	準備したものを実際に井戸水において地域の方の感想を聞いてみたい。 ○今まで制作したものを井戸水に設置する。 ・自分たちの作ったベンチや柄杓を使ってくれていることが率直にうれしかった。ポスターを見て足を運んでくれている人もいて今までやってきたことが鯛萬の井戸のためになっているって思うと達成感がある。始めは9つもグループがあってバラバラな感じがして、学級総合って感じがしなかったけど、みんなの活動はまとまってきて、それぞれのグループの魅力が発揮できているんじゃないかなって思った。でも、これが一過性のものではなく、もっと多くの人が訪れてくれるように管理とか修繕とか、課題で出てきた認知度をもっともっと高めていきたい。 夏祭りを開催して、鯛萬の井戸の良さをもっと多くの人に知ってもらいたい。 ○鯛萬の井戸を訪れて笑顔になれるよう夏祭りの計画を立てる。 ・自分たちが今までやってきた成果として、夏祭りをやってみるのはどうかな。SNSやポスターを通して、夏祭りの案内をだしてみよう。でも、そもそもできるか分からないから、下横田町会の巢山さんと連絡を取って、計画を進めていきたい。 ○下横田町会や市役所の都市計画課の方と協力して夏祭りを行う。 ・SNSやポスターを見て、鯛萬の井戸に来てくれた人が多くて嬉しかった。私たちが鯛萬の井戸を訪れた時は、なかなか人も多くなくて、常連さんやアパートの方が多かったけど、こんなにたくさんの小学生が来てくれて笑顔になってくれて嬉しかった。 ・松本市には、井戸に関するパンフレットがたくさんあるけど、どの井戸も少子高齢化で後継者がいなかったりして課題がたくさんある。だからこそ、井戸が観光目的のものではなく、地域の人が無気なく集まって笑顔になれる場所であって欲しい。まだまだ、私たちにもできることがあるはずだ。 鯛萬の井戸だけでなく、松本市の井戸の現状を変えたい。 ○今までの活動をもとに松本市役所への「政策提言発表会」を行う。 ・鯛萬の井戸に拠点が決まった時は「こんなきれいな井戸に課題なんてない」と思っていたけど、数多くの課題があった。でも、同時に学びもたくさんあった。松本市は2030年までに多くの公共井戸が「憩いの場」となるように計画している。私たちも一緒に考えていきたい。 3年間の総会で私たちは何を学んできたのだろう。 ・地球的危機にある今、地球市民として自分にもできることがある。捨てられてしまうものでも自分も相手も笑顔にすることができる。将来も自分の手で地球にも人のためにもなるものを生み出していきたい。	◇3年C組が設置したのを見たり、利用したりしている方の様子や反応を写真やビデオで記録したもの、下横田町会の方々の感想などをクラスで共有しながら振り返りを行う場を設定することで、自分たちの活動が社会参画に繋がっていることを実感することができるようにする。 ◇設置後は、鯛萬の井戸でイベントを行いたいという総務係の意見を紹介し、コロナ前に、鯛萬の井戸で町会主催で夏祭りを行っていたことを伝え、今後の活動について語り合ったり憩いの場とはどのような場所なのかを考えたりすることを通して、夏祭りを開催し、多くの人が訪れ笑顔になってもらいたいという意欲を高めることができるようにする。 ◇2021年に法政大学の学生とミツカンの社員らが松本市に「政策提言発表会」を行ったことを伝えることで、自分たちが感じてきたことや、鯛萬の井戸が抱える問題をもとに市役所の方と松本市の公共井戸を「憩いの場」にするために共に考えていきたいという意欲を高めることができるようにする。 ◇自分たちの3年間の総合的な学習で学んだことを市役所で発表する場を設けることで、地球市民としてこれからの自分の生き方について考えることができるようにする。

3年D組 担任：鎌倉琢磨		テーマ 自分も、地域も、みんなも笑顔に～「商売」を中核として～	
1 育成を目指す資質・能力			
【知識及び技能】			
企画提案、商品開発、情宣、販売といった商売に関わる必要な知識及び技能を身に付けるとともに、経済を支えている方々の工夫や努力を理解することができる。			
【思考力、判断力、表現力等】			
・自分も、地域も、みんなも「笑顔」にしたいという願いの実現に向けた課題（商売）を設定し、見通しをもちながらその課題を解決していくために必要な効率的・効果的な方法を検討し、情報を収集していくことができる。			
・「比較」「分類」「関連づけ」「序列化」等、考えるための技法を用いて情報を整理・分析し、それらを相手や目的に応じてわかりやすくまとめ表現することができる。			
【学びに向かう力、人間性等】			
・自分たちにできることは何かを考えながら、友とともに協力しながら取り組んだり、地域の方々と関わったりしていく中で、自己の生き方を考えていくことができる。			
2 学習対象となる材			
【もの】 箸、漆器、おやき、3Dプリンター、ラーメン、みすず細工など			
【ひと】 中村さん（中村漆器産業常務取締役）、吉江さん（おやき高峯店主）、神山さん（オミキデザインのデザイナー）、白坂さん（ラーメンしろがね）、小田さん（みすず細工保存会）			
【こと】 企画提案、商品開発、情宣（PR）、販売			
3 年間指導計画（カレンダー）			
学年	問い	(○) 学習活動 (・) 生徒の意識	(◇) 教師の支援
1	1-Dはどんな学級総合をやっていけばいいのだろうか。	○学級での話し合いを行う。 ・活動は自分たちで調べたり体験したりしないと決められない。ただ、「笑顔」というキーワードが3年間の学級総合で大事になってくるという予感はある。	◇先輩達の話、三石先生、望月先生の話をもとにし、「1-Dの学級総合ではどのような願いをもち、どのような活動をしていきたいですか」と問うことで、学級総合に対する願いや興味がある活動などを出し合い、活動に対する見通しをもつことができるようにする。
	「笑顔」といった予感が達成できる活動を見つけて、実際に動き出した。	○予感が達成できそうな活動の種を町に出かけ見つける。 ・長野県は「りんご」が有名だし、「りんご」のおいしさをPRしたい。 ・店頭で沢山並んでいた箸や木の漆器を作ってみたい。材料から選んで自分たちで作ってみたいし、できれば販売もしたい。 ・コロナでお店も苦しそう。自分達が中心になり、地域を盛り上げたい。 ・中村さんの話を聞き、THE DAY とコラボし新たに自分達ができそうなことはないか考えてもいい。「りんご」のPRもいいし、「箸や木の漆器」を作ったりしてもいいかも。それをTHE DAY やいろんなお店で販売してもいい。そうすることで自分も、地域も、みんなも「笑顔」になれそうかも。	◇「早く学級総合の活動を考えたい」という声を待ち受け、今までの授業内容、ネット、観光パンフレット等を提示し活動の種を考えるよう促すことで、調査活動への意欲を高めることができるようにする。
1	自分も、地域も、みんなも「笑顔」になる活動ってなんだろう。商売を中核として活動していくことでそれが達成できるのではないかな。	○見つけた活動の種を活かしながら、グループに分かれて活動をしていく。 ・今まで自分達がやってきた活動をもとにしながら、商売でそれぞれのグループがつながることができる。そして、それが笑顔につながる。しかもお金を稼ぐことができる。お金があればいろんな活動ができるし、やってみてもいいかも。そのためには、もう一度、グループを再編していく必要があるな。 ・分かれたグループで、試作品を作ったり、実際に町に出て調査したり、中村さんにアドバイスを聞いたりしながら、進めていくぞ。調査を進めていきながら、商品の販売に向けた可能性を広げていきたい。	◇THE DAYの中村さんと出会う場面を設け、コラボ企画を再び行い、「お店を、地域をさらに盛り上げ元気にしたい」という話を聞くことを通して、自分たちが見つけた活動の種が中村さんの思いと重なることを実感できるようにする。
	商品販売に向けて、とことん調査し、可能性を広げてきたい。	○箸、木の漆器、りんご、ラーメン、ベアアクセサリー、知育に役立つ玩具、みすず細工、総務（総合係）の8つのグループに分かれ活動を進める。 ・やってみると商品開発の面白さがある。ただ、個人が、中学生がやるには限界がある。中村さんのお店だけでは、売れないものもあるし、商品開発や販売ができないのではないかなという不安もある。 ・本当に販売できるの？調査したはいいけど、この先どうすればいいの？	◇「実際に自分達にはどんな活動ができるのだろうか」と問うことで、見つけ出した活動の種を手がかりに今後の自分たちへの取り組みに見通しをもてるようにする。また、THE DAY 中村さんの、「みんながやってきた活動をつなげたり広げたりしながら THE DAY を窓口で商売をしてみてもいいのではないかな」という声を紹介することで、商売を中核とした活動が、自分も、地域も、みんなも笑顔にしていけるのではないかなという期待も抱くことができるようにする。
1	悩みや不安を解消したい！中村さんにアドバイスをもらいたい！	○箸、木の漆器、りんご、ラーメン、ベアアクセサリー、知育に役立つ玩具、みすず細工、総務（総合係）の8つのグループに分かれ活動を進める。 ・やってみると商品開発の面白さがある。ただ、個人が、中学生がやるには限界がある。中村さんのお店だけでは、売れないものもあるし、商品開発や販売ができないのではないかなという不安もある。 ・本当に販売できるの？調査したはいいけど、この先どうすればいいの？	◇課題の設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現といった活動の過程を提示することで、自分たちの学びを自覚できるようにしていく。
	自分達で交渉するのは少し緊張するけれど、中村さんが「最後まで責任をもって一緒に活動する」って言ってくれたし。その言葉を聞いて安心した。	○箸、木の漆器、りんご、ラーメン、ベアアクセサリー、知育に役立つ玩具、みすず細工、総務（総合係）の8つのグループに分かれ活動を進める。 ・やってみると商品開発の面白さがある。ただ、個人が、中学生がやるには限界がある。中村さんのお店だけでは、売れないものもあるし、商品開発や販売ができないのではないかなという不安もある。 ・本当に販売できるの？調査したはいいけど、この先どうすればいいの？	◇商品開発や販売に関する不安や悩みを抱えている生徒の声を取り上げ全体で共有し、教師が事前に中村さんから聞いたアドバイスをもとに一つずつ不安や悩みを解決していくことで、商品の企画案作りへの見通しをもつことができる。
1	自分達で交渉するのは少し緊張するけれど、中村さんが「最後まで責任をもって一緒に活動する」って言ってくれたし。その言葉を聞いて安心した。	○箸、木の漆器、りんご、ラーメン、ベアアクセサリー、知育に役立つ玩具、みすず細工、総務（総合係）の8つのグループに分かれ活動を進める。 ・やってみると商品開発の面白さがある。ただ、個人が、中学生がやるには限界がある。中村さんのお店だけでは、売れないものもあるし、商品開発や販売ができないのではないかなという不安もある。 ・本当に販売できるの？調査したはいいけど、この先どうすればいいの？	※アドバイス
	私達にしかできない商品ってなんだろう。今まではネットや本にあるもの通りに作ることにしかやってなかったから、今度はそれをもとにしながらアレンジしてもいいのかも。自分達がやってきたことをもう一度整理し、それをもとにしてさらに改良を加えながら商品の企画案を作るぞ。	○箸、木の漆器、りんご、ラーメン、ベアアクセサリー、知育に役立つ玩具、みすず細工、総務（総合係）の8つのグループに分かれ活動を進める。 ・やってみると商品開発の面白さがある。ただ、個人が、中学生がやるには限界がある。中村さんのお店だけでは、売れないものもあるし、商品開発や販売ができないのではないかなという不安もある。 ・本当に販売できるの？調査したはいいけど、この先どうすればいいの？	・THE DAY で商品開発や販売ができるものはTHE DAY で扱う。 ・THE DAY で商品開発や販売ができないものは、中村さんが窓口になってお店を斡旋する。ただ細かい交渉などについては自分達で行う。 ・交渉を行っていくために、商品の企画案を作る。そこには、「目的」「コンセプト」「特徴」「ターゲット」などを必ず入れる。そして、一番は、中学生ならではの発想やオリジナル商品に込めた思いを大事にする。

2	私達の作った商品の企画案は、お客様の心に響くのか知りたい！ ○企画案をもとにしながら、一人のお客様としての立場から、保護者の方の感想やアドバイスを聞く。 ・頑張ったつもりでいただけで、自分たちの取り組みはまだまだ甘いということがわかった。感想やアドバイスをもとにもう一度、企画案を練り上げたい。	◇参観日の時間を活用して、各グループがまとめた企画案のプレゼン大会を行い、一人のお客様という立場から、商品に対する感想やアドバイスを聞いたりすることで、さらに商品の質、活動の質を高めていくことができるようにする。
	練り直した企画案をお店に提案し、活動を進めていきたい。 ○中村さんから幹旋していただいたお店や総合係とともに教師が見つけてきた協賛店と打ち合わせをしながら、商品開発、販売へ向けて活動を進める。 ・修正するところはあるけど、概ね、受け入れてもらってよかった。話し合うことで、これからの活動の見通しができたし、その予定に沿って活動を計画的に進めていこう。 ・総合係（総務係）として、日程を調整するなどし、大々的に販売していくことができるようにしていくぞ。	◇練り上げた企画案をもとに中村さんに商品開発や販売へのアドバイスを聞く場面を設けることで、具体的な店舗を紹介してもらい、今後の活動への見通しをもつことができるようにする。また、総合係とともに教師が見つけてきた協賛店のリストも紹介することで、どのグループも活動を安心して計画的に進めていくことができるようにする。
	各グループの商品概要 箸グループ（協賛店：中村漆器産業） 松本の伝統野菜である「松本一本ねぎ」をモチーフにした箸を作る。伝統野菜に興味をもってもらいたい願いがある。一見チープに感じるが、原材料は黒檀を使用し、高級感がある。あと、箸箱も作成し、そこには、購入者の名前も入る。 木の漆器グループ（協賛店：中村漆器産業） 木の木目の美しさを感じられる、木のカップを作る。信州の雄大な自然の中から生まれた木。その気品が存分に出るような商品である。また熱伝導が少ないという木の特性をいかし、戸っ手のないカップをあえて作り、他の商品との差別化を図っている。 りんごを使ったおやきグループ（協賛店：おやき高峯） 信州の名産であるりんごを多くの人に知ってもらいたいという願いのもと、多くのお店で売られているおやきにりんごを入れることを考案。トッピングにはクリームチーズを入れ、甘みと酸味の絶妙なハーモニーを楽しめるように仕上げている。 ラーメングループ（協賛店：ラーメンしろがね） 地産地消にこだわり、信州の名産である「信州サーモン」「きのこ」「松本一本ねぎ」などの素材を活用したラーメンを作る。そこには信州の食材のおいしさを多くの人に伝えたい、地のものを地でもっと食べてほしいという願いがある。ラーメンしろがねの鳥のスープに絶妙に合う味となっている。 3Dプリンターを活用した文房具・教材開発グループ（協賛店：オミキデザイン） ペアアクセサリや知育に役立つ玩具を考えている際に浮かんできた案が3Dプリンタープリンターを活用した文房具や学校で使う教材を作ることであった。人間の手ではできない精巧な作品を作って販売したいと願いがある。学校の校章が入ったクリップ、イオンのモデル（理科）を作る。 みすず細工（協賛団体：みすず細工保存会） みすず細工が印刷された切手を作成し、レターセットとともに販売する。廃れつつあるあるみすず細工を多くの人に知ってもらいたい、作り手をもっと増やしたいという願いがある。	
3	自分達が考えてきた商品を売りたい！買った人の声を聞きたい！ ○自分達が開発してきた商品を店頭に並べ、販売を行う。 ・「この商品を使うのが楽しみ」と言いながら、笑顔で商品を買っていつてくれた。お店の人も笑顔で喜んでくれている。そんな姿を見ると私も嬉しいし、笑顔になるな。 ・正直、売れない商品もあった。何で売れなかったのかな？私達、こんなに努力して販売までこぎ着けたのに、買ってくれたのは保護者だけじゃん。 販売した結果を聞きたい！商品に対するお客様の声を聞きたい！ ○販売結果やお客様の声をもとに、自分達の商品開発、商品販売までの過程を振り返る。 ・トータルで見ると、〇〇円の売り上げがあった。利益はあったことは事実。それは素直に喜びたい。でも売れない商品もあった。買わなかった人は、「いいね」とは褒めてはくれたけど、それどまりだった。商品としての魅力がなかったってことだよ。中学生の私達が売れば何とかなるって思っていたけど現実には厳しかったね。 ・でも実際の経済とか市場ってこういうことだよ。お客様のニーズに合わなければ、努力しても売れないってことだよ。お店に陳列された商品一つ一つには、私達と同じような工夫や努力があるのよね。こうやって商売をすることで、その経済や市場を支えてくれている方々の思いがわかるし、経済の仕組みがよくわかった気がする。なんか、お店に陳列されている商品を見る目が少し変わりそう。 〇〇円の利益の使い道、どうしよう？ ○売り上げの利益をどう活用していくかを考える。 ・自分も、地域（お店）も、みんなも（お客様）も笑顔になったし利益を生まれた。でも、これでOKというのは何か違う気がする。皆も笑顔になるってことをもう少し考えたい。 ・お客様だけでなく、松本市ではなく、地球に住んでいる人が笑顔にならなくちゃダメじゃないかな。だとすると、このお金の使い道は、今までの私達に関わってくれた地域（お店）の方々や私達の支えてくる多くの人たちが喜ぶようなものにしていく必要があるな。 3年間の総合で私たちは何を学んできたのだろう。 ○学級総合の振り返りを行う。 ・自分たちがやる活動には限りがある。ただ、みんなで協働してやることで、何かできることがある。私達の一人ひとりの思い、そして活動が多くの人の笑顔につながっていく。これからもみんなが笑顔になれるように、社会の一員としてできることを考えていきたい。	◇総合係（総務係）を交渉していく際の責任者にして進めていくことで、販売時期の日程を他のグループと調整しながら進めていくことができるようにする。 ◇商品が陳列される場面に立ち会ったり、実際にお店で働き購入者の声を聞いたりする場面を設けることで、商品を卸している人、販売している商品の方の気持ちを味わうとともに、お客様の生の声を、活動の振り返りにいかしていくことができるようにする。 ◇売り上げの数値やお客様の声を参考にしながら売れた商品、売れなかった商品の理由を分析することを通して、お客様のニーズに合わせた商品作りの大切さに気付くことができる。また、中村さんから「仕入れた商品の全てが売れるわけではないこと、生まれては消えていく商品が多数あること、そして、それがあつて競争原理が生まれ、さらにより商品が生まれていくことにつながる」といった経営者としての声を聞くことで、経済や市場を支えてくれている方々の工夫や努力、経済の仕組みを理解することができるようにする。 ◇「自分も、地域も、みんな笑顔に」という学級総合のテーマや地球市民集会で考えている「たくましく心豊かな地球市民」の具体像と重ね合わせながら考えるよう促すことで、自分達を支えてくれている他者の存在を意識した利益の使い道を考えていくことができるようにする。 ◇今までの活動の振り返りを冊子にまとめる場面を設定することで、3年間の学級総合の過程を確認しながら、自分たちは何を学んできたかを考えることができるようにする。

4 評価

(1) 調査アンケート内容（それぞれの項目について、Googleform でアンケートを行った）

① 6～11 歳期（小学校）対象

自己表現力	1 わたしは、算数（かがく）の時間に新しい問題に出会ったり、国語（ことば）の時間に新しいお話しに出会ったり、こまくさの時間に、野菜を育てたり、動物を育てたり、物を作ったりすることが好きだ。
	2 わたしは自分の思いを友だちに伝えたり、心を込めて（こめて）歌を歌ったりするなど自分の感じていることを表すことが好きだ。
	3 わたしは、友だちの思いをききながら自分の思いを伝えたり、友だちの歌声をききながら、自分の歌声を表したりするのが好きだ。
課題探究力	4 わたしは、こまくさの時間や教科の時間において、「やってみたい」「何でだろう」「どうしたらいいのだろう」など、願いを持ったり不思議（ふしぎ）に思ったりすることが多い。
	5 わたしは、こまくさの時間で、やりたいことに向かって、調べたり、工夫したりと粘り強く（ねばりぶよく）活動している。
	6 わたしは、願いを持ったり不思議（ふしぎ）に思ったりしたことについて、調べたり、調べたことを吟味（ぎんみ）したり、それを基に考え合ったりすることが好きだ。
社会参画力	7 わたしは教科の時間において、国語（ことば）のお話や社会で活躍する人に心をよせたり、こまくさの時間に野菜や動物と関わったり、地域の人たちと関わったりすることが好きだ。
	8 わたしは教科やこまくさの時間において、友だちと話し合ったり活動したりすることが好きだ。
	9 わたしは、教科やこまくさの時間に学習したことを、学校や家庭での生活に生かしたり、地域や社会の人たちために生かしたりすることが好きだ。

② 12～14 歳期（中学生）対象

自己表現力	1 対象（ものやひと、出来事）に心を寄せて、見たり、聴いたりしている。
	2 自分の心の中に生まれた思いを、他者に伝えるために、伝える内容や言葉を考えている。
	3 相手や場に応じて、伝える方法を工夫し、表現している。
課題探究力	4 自分の願いやこだわりをもち、追究したい課題をもとうとしている。
	5 課題に対して、最後まで粘り強く追究し、その教科や活動のおもしろさを感じている。
	6 得た情報を分析・比較したり、目的に応じて処理したりしながら、課題を解決しようとしている。
社会参画力	7 各教科の学習や学級総合等の活動の中で、身の周りの地域の出来事や人々に関心をもって活動している。
	8 各教科の学習や学級総合等の活動において、仲間とともに活動することに喜びを感じている。
	9 各教科や学級総合等で学んだことを学校・家庭生活、身の周りの地域等の中に生かそうとしている。

③ 9～11 歳期（小学生）対象 領域の教科化・技術科・英語科

領域の教科化	1 領域の授業（ことば、くらし、かがく、ひょうげん）の授業をうけたときに、教科の授業をやりたいと思ったことがある。
	2 低学年のときの授業中に、その授業の教科とちがう教科をやりたいになったけれど、その授業の教科とちがうために、我慢したことがある。
	3 領域の授業（ことば、くらし、ひょうげん、かがく）の授業をうけたときに、教科の授業をやりたいと思ったことがある。
	4 領域の授業（ことば、くらし、ひょうげん、かがく）の授業から、教科の授業になって楽しいと思ったことがある。
英語	5 わたしは、英語の時間に、友達や先生の英語を聞いたり、友達や先生に伝えたりすることが好きだ。（上手下手は関係ない）
	6 わたしは、英語の時間に、ALTの先生が言った英語や、読み聞かせで出てきた英語の意味を考えたり、ALTの先生や友達に伝える英語を考えようとしていたりしている。
	7 わたしは、英語の時間に、ALTの先生の国の文化について知ったり、日本の文化との共通点や違いについて考えたりしている。
技術	8 わたしは、技術の時間に、自分の作りたいものを考えたり、自分の作りたいものを製作したりすることが好きだ。
	9 わたしは、技術の時間に、この製品をどうやって作るのかと疑問をもったり、自分の願う作品になるよう活動したりしている。
	10 わたしは、技術の時間に、友達と協力して作ったり、人の役に立つ製品を作ろうとしていたりしている。

④ 保護者対象

松本学校園における、特別の教育課程への理解	1 松本学校園において、幼小中を一貫した教育目標を定め、カリキュラムづくりを進めていることを理解している。
	2 松本学校園において、未来を拓く「地球市民」を育むために、各保育・授業で「探究的な学び」をデザインし、子どもの資質・能力を育もうとしていることを理解している。 *「探究的な学び」・・・子どもの「思いや願い、問い」から始まり、新たな問いを生み出していくような、螺旋的で、連続した学び
「自己表現力」 「課題探究力」 「社会参画力」 の3つの資質能力の成長	3 子どもは、観て、聴いて、感じたことを自分らしく表現する力が育ってきている。【自己表現力】
	4 子どもは、自分らしい問いや願いを持ち、物事に粘り強く働きかけたり、問いを解決したり願いを実現したりしようとする力が育ってきている。【課題探究力】
	5 子どもは、多様な価値観（考え）を持つ他者と、共通の目的のために、一緒に活動しようとする力が育ってきている。【社会参画力】
「地球市民」を育む為に特別の教育課程を進める学校間のあり方	6 松本学校園は、幼小中を一貫した教育目標、カリキュラムづくりを進めていることを分かりやすく伝えている。
	7 松本学校園は、未来を拓く「地球市民」を育むために、子どもの思いや願いを大切にし、そこから探究的な学びが生まれるよう指導方法を工夫して保育や授業をするようにしている。

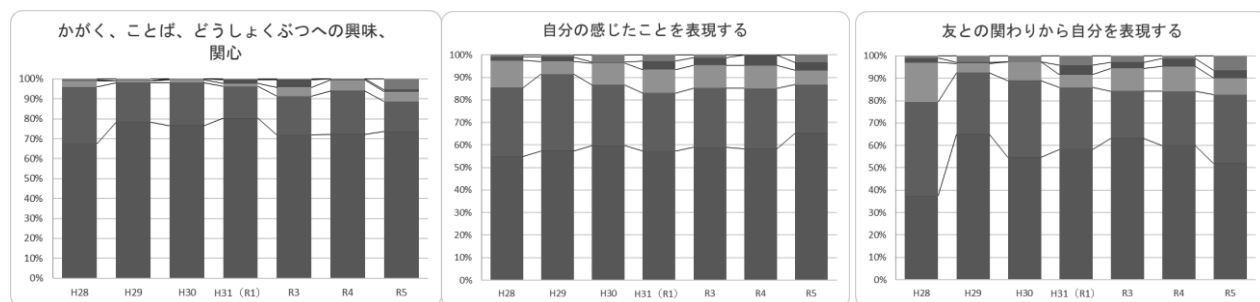
⑤教師対象

本校園の特別の教育課程の意義	1 本学校園における特別の教育課程の意義や目的への理解はどのくらいか。
幼児・児童・生徒への理解	2 研究開発に取り組み、本学校園で大切にしている「探究（探究的な学び）」への理解はどのくらいか。
教育課程・教科・領域等への理解	3 研究開発に取り組み、資質・能力を育む上で大切とされる、教科等における指導のあり方（見方・考え方等）への理解はどのくらいか。
	4 研究開発に取り組み、カリキュラム・マネジメント（目標・内容・配列・評価・編成など）への理解はどのくらいか。
	5 研究開発に取り組み、子どもの「遊びや生活の中に教科の芽（分化の芽）」や「学びや生活の中に教科を超えていく芽（統合の芽）」を見いだすことへの理解はどのくらいか。
指導観や授業観の変容	6 研究開発に取り組み、幼小中一貫教育の視点で、日々の指導方法等を問い続けていく意識はどのくらいか。
	7 研究開発に取り組み、他校種への理解や連携、協力の深まりはどのくらいか。（校種間の縦のつながり）
	8 研究開発に取り組み、他教科への理解や連携、協力の深まりはどのくらいか。（教科間の横のつながり）
本校園の特別の教育課程自体への評価	9 子どもにとって、本学校園の12年間の特別の教育課程は、有意義なものになっている。
	10 研究課題の達成度・進捗状況は、計画通りである。
記述	11 今年度の各学校園での授業、研究会、合同教員会、公開研究会等を通して、自らの子ども観や指導観に関して変容したことや再確認したこと等を書いてください。
	12 今後、自分が保育・授業をデザインする際に、挑戦したいことや大切にしたいことを書いてください。
	13 その他

(2) 調査アンケート結果

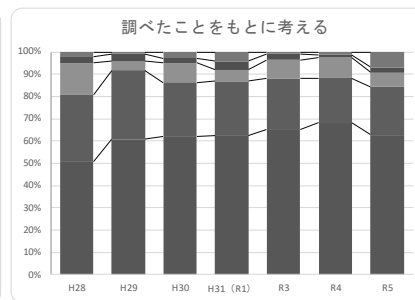
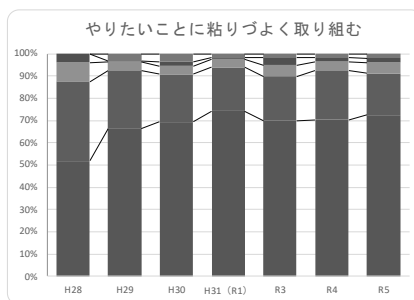
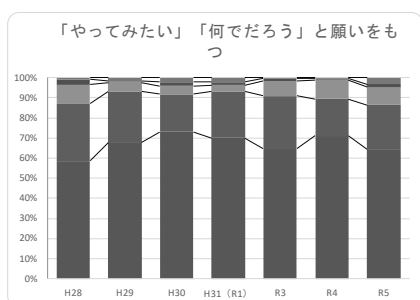
①ー1 6～8歳期（小学校低学年）集計結果

資質・能力	質問項目（力の高まり）	年度	1 とても当てはまる	2 やや当てはまる	3 あまり当てはまらない	4 当てはまらない	5 分からない
自己表現力	かがく、ことば、どうしよくぶつへの興味、関心	H28	67.50%	28.50%	3.00%	0.50%	0.50%
		H29	78.20%	19.91%	0.95%	0.00%	0.95%
		H30	76.61%	21.56%	1.38%	0.46%	0.00%
		H31（R1）	80.28%	15.96%	1.41%	1.88%	0.47%
		R3	71.89%	19.35%	4.61%	3.69%	0.46%
		R4	72.19%	21.89%	5.33%	0.59%	0.00%
		R5	73.17%	15.12%	4.88%	0.98%	5.37%
	自分の感じたことを表現する	H28	55.00%	30.50%	12.00%	1.50%	1.00%
		H29	57.35%	34.12%	5.69%	1.90%	0.95%
		H30	59.63%	27.06%	9.63%	0.46%	3.21%
		H31（R1）	57.28%	25.82%	10.33%	3.76%	2.82%
		R3	58.99%	26.27%	10.14%	3.23%	1.38%
		R4	58.33%	26.79%	10.12%	4.76%	0.00%
		R5	64.88%	21.46%	6.34%	3.41%	3.41%
	友との関わりから自分を表現する	H28	37.50%	42.00%	17.50%	2.00%	1.00%
		H29	64.93%	27.49%	4.27%	0.47%	2.84%
		H30	54.59%	34.40%	8.26%	0.00%	2.75%
		H31（R1）	58.22%	27.70%	5.63%	4.23%	4.23%
		R3	63.13%	21.20%	10.14%	2.76%	2.76%
		R4	60.00%	24.12%	11.18%	3.53%	1.18%
		R5	51.22%	30.24%	7.32%	3.41%	6.34%



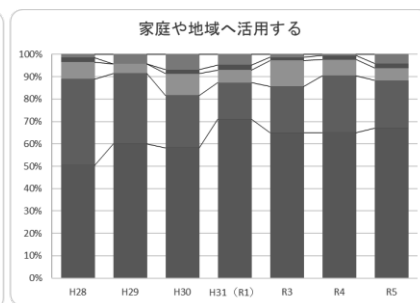
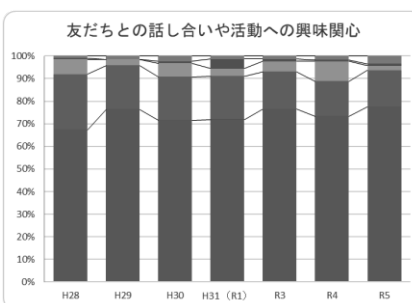
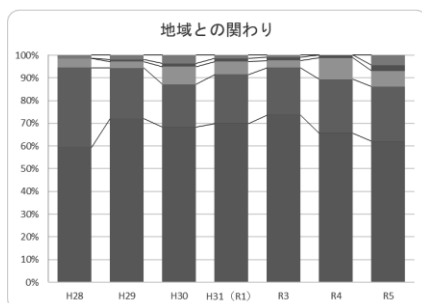
■ 1 とても当てはまる ■ 2 やや当てはまる ■ 3 あまり当てはまらない ■ 4 当てはまらない ■ 5 分からない

課題探究力	「やってみたい」「何でだろう」と願いをもち	H28	58.50%	28.50%	9.50%	2.50%	1.00%
		H29	67.92%	25.00%	4.72%	0.47%	1.89%
		H30	72.94%	18.81%	4.13%	1.83%	2.29%
		H31 (R1)	69.95%	23.00%	3.29%	1.41%	2.35%
		R3	64.52%	26.27%	7.37%	1.38%	0.46%
		R4	71.01%	18.34%	9.47%	0.59%	0.59%
		R5	63.90%	21.95%	8.78%	1.46%	3.41%
	やりたいことに粘りよく取り組む	H28	51.76%	35.68%	8.54%	4.02%	0.00%
		H29	66.35%	26.07%	3.79%	0.47%	3.32%
		H30	69.27%	21.56%	3.67%	1.83%	3.67%
		H31 (R1)	74.18%	19.72%	3.76%	0.47%	1.88%
		R3	69.91%	19.91%	5.09%	3.24%	1.85%
		R4	70.41%	21.89%	4.14%	1.78%	1.78%
		R5	72.20%	18.54%	4.88%	1.95%	1.95%
	調べたことをもとに考える	H28	50.75%	30.15%	14.07%	3.02%	2.01%
		H29	60.83%	30.88%	4.15%	3.23%	0.92%
		H30	61.93%	24.31%	8.72%	2.29%	2.75%
		H31 (R1)	62.44%	24.41%	5.16%	3.76%	4.23%
		R3	64.98%	23.04%	8.29%	2.76%	0.92%
		R4	68.24%	20.00%	9.41%	1.18%	1.18%
		R5	62.44%	21.46%	6.34%	2.44%	6.83%



■ 1 とても当てはまる ■ 2 やや当てはまる ■ 3 あまり当てはまらない ■ 4 当てはまらない ■ 5 分からない

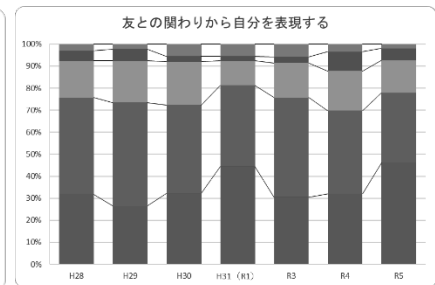
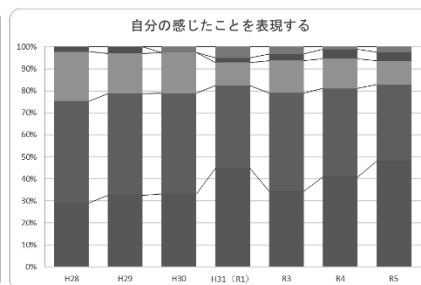
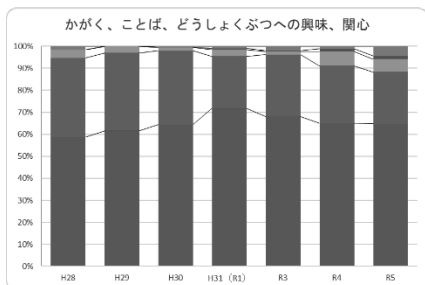
社会参画力	地域との関わり	H28	59.50%	35.00%	4.00%	0.00%	1.50%
		H29	72.04%	22.27%	2.84%	0.95%	1.90%
		H30	68.35%	18.81%	7.80%	1.38%	3.67%
		H31 (R1)	69.95%	21.60%	5.63%	1.41%	1.41%
		R3	73.61%	20.83%	3.24%	1.39%	0.93%
		R4	65.68%	23.67%	9.47%	1.18%	0.00%
		R5	61.46%	23.90%	6.83%	2.44%	4.39%
	友だちとの話し合いや活動への興味関心	H28	67.34%	24.62%	6.53%	0.50%	1.01%
		H29	76.30%	19.43%	2.84%	0.00%	1.42%
		H30	71.56%	19.27%	5.96%	0.92%	2.29%
		H31 (R1)	71.83%	19.25%	3.29%	4.23%	1.41%
		R3	76.50%	16.59%	4.61%	0.92%	1.38%
		R4	73.37%	15.38%	8.88%	0.59%	1.78%
		R5	77.56%	16.10%	1.95%	0.98%	3.41%
	家庭や地域へ活用する	H28	50.50%	38.50%	7.50%	2.00%	1.50%
		H29	60.00%	31.43%	4.29%	0.00%	4.29%
		H30	58.26%	23.39%	9.63%	1.83%	6.88%
		H31 (R1)	70.89%	16.43%	5.63%	2.35%	4.69%
		R3	64.98%	20.74%	11.52%	1.38%	1.38%
		R4	65.09%	25.44%	7.10%	1.78%	0.59%
		R5	64.39%	20.49%	5.37%	1.95%	3.90%



■ 1 とても当てはまる ■ 2 やや当てはまる ■ 3 あまり当てはまらない ■ 4 当てはまらない ■ 5 分からない

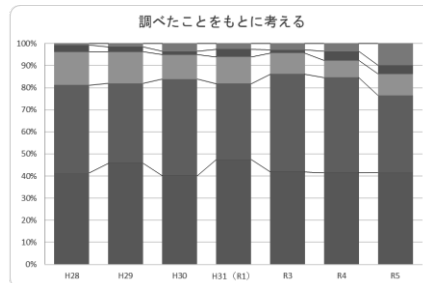
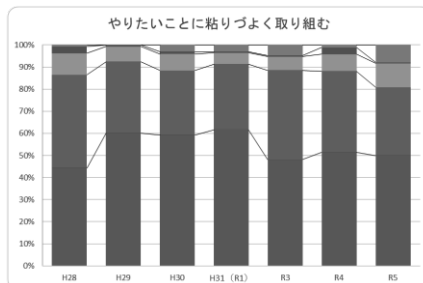
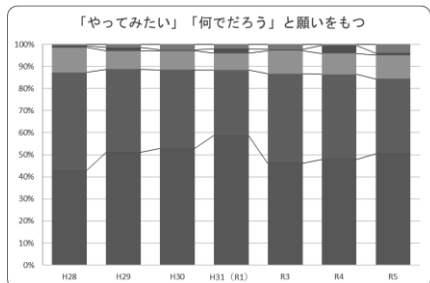
①－２ ９～１１ 歳期（小学校高学年） 集計結果

資質・能力	質問項目（力の高まり）	年度	1 とても当てはまる	2 やや当てはまる	3 あまり当てはまらない	4 当てはまらない	5 分からない
自己表現力	かがく、ことば、どうしょくぶつへの興味、関心	H28	58.65%	36.09%	3.76%	0.00%	1.50%
		H29	61.65%	35.34%	3.01%	0.00%	0.00%
		H30	64.32%	33.67%	1.51%	0.00%	0.50%
		H31（R1）	71.72%	23.74%	3.03%	0.51%	1.01%
		R3	68.10%	28.10%	1.43%	0.48%	1.90%
		R4	65.09%	26.04%	6.51%	1.18%	1.18%
		R5	67.35%	24.49%	6.12%	1.53%	4.59%
	自分の感じたことを表現する	H28	29.10%	46.27%	22.39%	2.24%	0.00%
		H29	32.58%	46.21%	18.18%	3.03%	0.00%
		H30	33.17%	45.73%	18.59%	0.00%	2.51%
		H31（R1）	44.95%	37.37%	10.61%	2.02%	5.05%
		R3	34.29%	44.76%	14.76%	2.86%	3.33%
		R4	40.83%	40.24%	13.61%	4.14%	1.18%
		R5	0.5	0.3622	0.1122	0.0408	0.0255
	友との関わりから自分を表現する	H28	31.82%	43.94%	16.67%	4.55%	3.03%
		H29	26.52%	46.97%	18.94%	5.30%	2.27%
		H30	32.16%	40.20%	19.60%	2.51%	5.53%
		H31（R1）	44.44%	36.87%	11.11%	2.02%	5.56%
		R3	30.48%	45.24%	15.71%	2.86%	5.71%
		R4	31.98%	37.79%	18.02%	8.72%	3.49%
		R5	0.4796	0.3316	0.1531	0.0561	0.0204



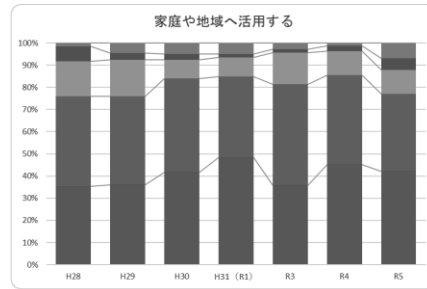
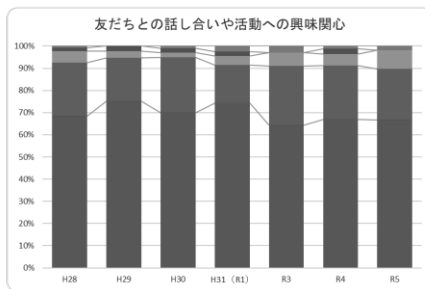
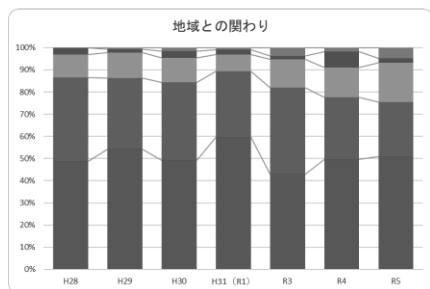
■ 1 とても当てはまる ■ 2 やや当てはまる ■ 3 あまり当てはまらない ■ 4 当てはまらない ■ 5 分からない

課題探究力	「やってみたい」「何でだろう」と願いをもつ	H28	42.86%	44.36%	11.28%	0.75%	0.75%
		H29	51.13%	37.59%	8.27%	1.50%	1.50%
		H30	52.76%	35.68%	8.54%	0.50%	2.51%
		H31 (R1)	58.59%	29.80%	7.58%	2.02%	2.02%
		R3	46.19%	40.48%	10.48%	0.48%	2.38%
		R4	47.93%	38.46%	9.47%	3.55%	0.59%
		R5	52.55%	35.20%	11.22%	1.02%	4.08%
	やりたいことに粘りづよく取り組む	H28	44.36%	42.11%	9.77%	3.01%	0.75%
		H29	60.15%	32.33%	6.77%	0.75%	0.00%
		H30	59.30%	29.15%	7.54%	1.01%	3.02%
		H31 (R1)	61.62%	29.80%	5.05%	0.51%	3.03%
		R3	48.10%	40.48%	6.19%	0.48%	4.76%
		R4	51.48%	36.69%	7.69%	2.96%	1.18%
		R5	52.04%	32.14%	11.22%	0.51%	8.16%
	調べたことをもとに考える	H28	41.35%	39.85%	15.04%	3.01%	0.75%
		H29	45.86%	36.09%	14.29%	2.26%	1.50%
		H30	40.20%	43.72%	11.06%	1.51%	3.52%
		H31 (R1)	47.47%	34.34%	12.12%	3.54%	2.53%
		R3	41.90%	44.29%	9.52%	1.43%	2.86%
		R4	41.42%	43.20%	7.69%	4.14%	3.55%
		R5	43.37%	36.22%	10.20%	4.08%	10.20%



■ 1 とても当てはまる ■ 2 やや当てはまる ■ 3 あまり当てはまらない ■ 4 当てはまらない ■ 5 分からない

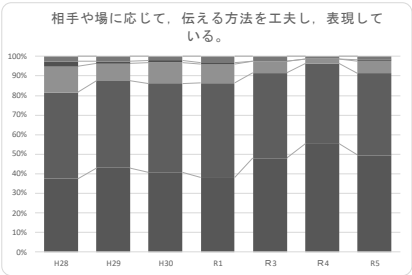
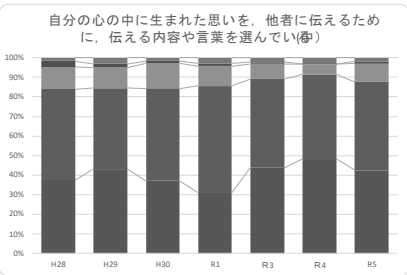
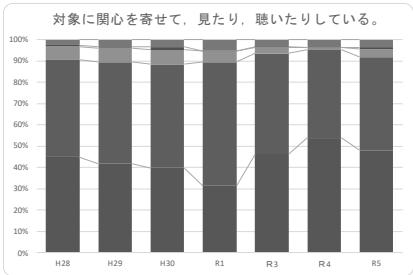
社会参画力	地域との関わり	H28	48.87%	37.59%	10.53%	3.01%	0.00%
		H29	54.20%	32.06%	11.45%	1.53%	0.76%
		H30	49.25%	35.18%	11.06%	3.02%	1.51%
		H31 (R1)	59.60%	29.80%	7.58%	2.02%	1.01%
		R3	42.86%	39.05%	12.86%	1.43%	3.81%
		R4	49.70%	27.81%	13.61%	7.10%	1.78%
		R5	53.06%	25.51%	18.37%	2.04%	5.10%
	友だちとの話し合いや活動への興味関心	H28	68.42%	24.06%	5.26%	1.50%	0.75%
		H29	75.19%	19.55%	3.01%	2.26%	0.00%
		H30	69.85%	25.13%	2.01%	2.01%	1.01%
		H31 (R1)	74.24%	17.17%	4.04%	2.02%	2.53%
		R3	64.29%	26.67%	6.19%	0.00%	2.86%
		R4	66.86%	24.26%	5.33%	2.37%	1.18%
		R5	69.39%	23.98%	8.67%	0.00%	2.04%
	家庭や地域へ活用する	H28	35.34%	40.60%	15.79%	6.77%	1.50%
		H29	36.09%	39.85%	16.54%	3.01%	4.51%
		H30	41.71%	42.21%	8.54%	2.51%	5.03%
		H31 (R1)	48.48%	36.36%	8.59%	1.52%	5.05%
		R3	35.71%	45.71%	14.29%	1.43%	2.86%
		R4	45.12%	40.24%	10.98%	2.44%	1.22%
		R5	43.88%	36.22%	11.22%	5.61%	7.14%



■ 1 とても当てはまる ■ 2 やや当てはまる ■ 3 あまり当てはまらない ■ 4 当てはまらない ■ 5 分からない

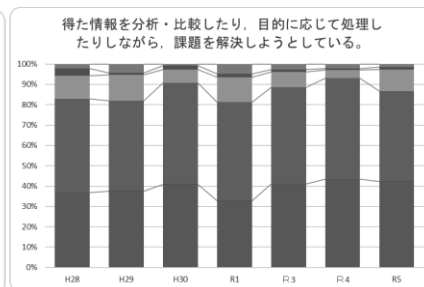
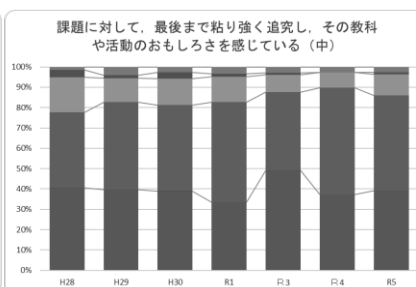
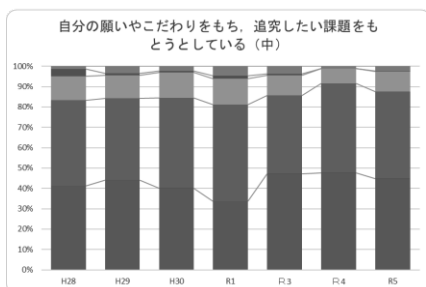
②12～14 歳期（中学生）対象

	質問項目		1 とても当てはまる	2 やや当てはまる	3 あまり当てはまらない	4 当てはまらない	5 分からない
自己表現力	対象に関心を寄せて、見たり、聴いたりしている。	H28	44.84%	45.81%	6.13%	0.65%	2.58%
		H29	41.91%	47.61%	6.61%	0.46%	3.42%
		H30	39.87%	48.58%	6.75%	1.31%	3.49%
		R1	31.41%	57.96%	5.08%	0.22%	5.31%
		R3	46.21%	47.36%	2.76%	0.23%	3.45%
		R4	53.92%	41.33%	0.95%	0.00%	3.80%
		R5	48.17%	43.72%	3.66%	0.79%	3.66%
	自分の心の中に生まれた思いを、他者に伝えるために、伝える内容や言葉を選んでいる。	H28	37.42%	46.45%	11.29%	3.23%	1.61%
		H29	43.05%	41.46%	10.48%	1.82%	3.19%
		H30	37.04%	47.28%	12.85%	1.09%	1.74%
		R1	30.97%	54.64%	10.17%	1.32%	2.87%
		R3	43.68%	45.52%	7.59%	0.92%	2.30%
		R4	48.22%	42.99%	5.23%	0.00%	3.33%
		R5	42.41%	45.29%	9.42%	1.05%	1.83%
	相手や場に応じて、伝える方法を工夫し、表現している。	H28	37.42%	44.19%	13.23%	2.58%	2.58%
		H29	43.05%	44.65%	8.66%	1.14%	2.51%
		H30	40.52%	45.75%	10.68%	1.09%	1.96%
		R1	38.49%	48.45%	9.73%	0.66%	3.32%
		R3	48.05%	43.45%	5.98%	0.00%	2.53%
		R4	55.58%	40.86%	2.38%	0.00%	1.19%
		R5	49.48%	41.88%	6.28%	0.79%	1.57%



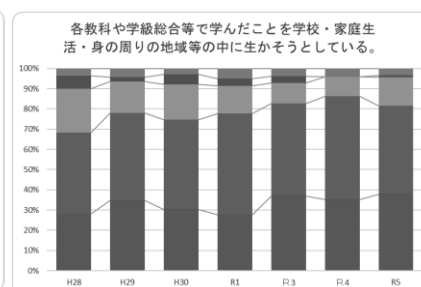
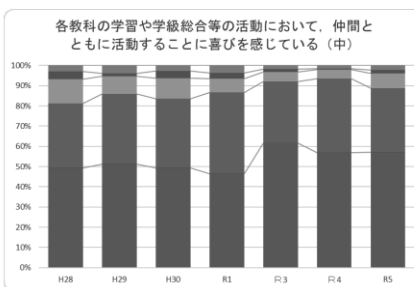
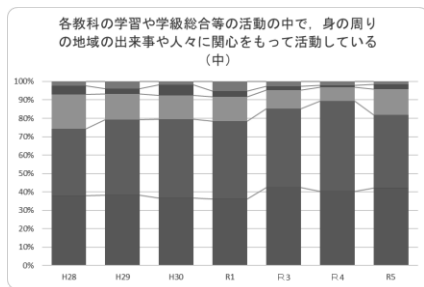
■ 1 とても当てはまる ■ 2 やや当てはまる ■ 3 あまり当てはまらない ■ 4 当てはまらない ■ 5 分からない

課題探究力	自分の願いやこだわりをもち、 追究したい課題をもとうとしている。	H28	41.29%	41.94%	11.94%	3.55%	1.29%
		H29	43.96%	40.32%	11.39%	0.91%	3.42%
		H30	39.96%	44.54%	12.45%	0.87%	2.18%
		R1	33.62%	47.56%	12.61%	1.55%	4.64%
		R3	47.13%	38.62%	9.89%	0.69%	3.68%
		R4	47.51%	43.94%	7.13%	0.00%	1.19%
		R5	44.76%	42.67%	9.95%	0.26%	2.36%
	課題に対して、最後まで粘り強く 追究し、その教科や活動のおもしろさを感じている。	H28	40.65%	37.10%	17.10%	3.55%	1.61%
		H29	39.64%	43.05%	11.85%	1.37%	4.10%
		H30	38.85%	42.31%	13.08%	3.08%	2.69%
		R1	33.40%	49.33%	12.38%	1.55%	3.32%
		R3	49.20%	38.39%	8.51%	0.92%	2.99%
		R4	37.29%	52.26%	7.60%	0.00%	2.61%
		R5	39.27%	46.60%	10.47%	1.05%	2.62%
	得た情報を分析・比較したり、 目的に応じて処理したりしながら、 課題を解決しようとしている。	H28	36.77%	46.13%	11.29%	3.55%	2.26%
		H29	37.59%	44.42%	12.76%	0.91%	4.33%
		H30	40.77%	50.00%	6.54%	1.92%	0.77%
		R1	32.74%	48.45%	12.39%	1.55%	4.87%
		R3	41.15%	47.36%	7.59%	1.15%	2.76%
		R4	43.47%	49.64%	4.04%	0.71%	2.14%
		R5	42.15%	44.50%	10.73%	1.05%	1.57%



■ 1 とても当てはまる ■ 2 やや当てはまる ■ 3 あまり当てはまらない ■ 4 当てはまらない ■ 5 分からない

社会参画力	各教科の学習や学級総合等の活動の中で、身の周りの地域の出来事や人々に興味をもって活動している。	H28	38.06%	36.13%	18.71%	4.84%	2.26%
		H29	38.27%	41.00%	13.90%	2.96%	3.87%
		H30	36.60%	42.92%	12.85%	5.66%	1.96%
		R1	36.30%	42.53%	13.36%	3.34%	5.12%
		R3	42.30%	42.99%	10.11%	2.07%	2.53%
		R4	40.38%	48.93%	7.60%	0.95%	2.14%
		R5	42.15%	39.79%	13.87%	2.62%	1.57%
	各教科の学習や学級総合等の活動において、仲間とともに活動することに喜びを感じている。	H28	49.35%	31.94%	11.94%	3.87%	2.90%
		H29	51.25%	34.62%	8.88%	1.37%	3.87%
		H30	49.24%	34.42%	10.02%	3.49%	2.83%
		R1	46.77%	40.31%	6.90%	2.89%	3.78%
		R3	61.61%	30.34%	4.83%	1.38%	1.84%
		R4	56.77%	36.82%	4.28%	0.48%	1.66%
		R5	57.07%	31.68%	7.33%	1.57%	2.36%
	各教科や学級総合等で学んだことを学校・家庭生活・身の周りの地域等の中に生かそうとしている。	H28	28.06%	40.32%	21.61%	6.45%	3.55%
		H29	34.62%	43.28%	15.72%	2.05%	4.33%
		H30	30.28%	44.44%	17.43%	5.01%	2.83%
		R1	27.61%	50.11%	13.80%	3.34%	5.12%
		R3	36.78%	45.98%	10.11%	3.22%	3.91%
		R4	35.15%	50.83%	9.74%	0.00%	4.04%
		R5	37.70%	43.72%	14.40%	0.79%	3.40%

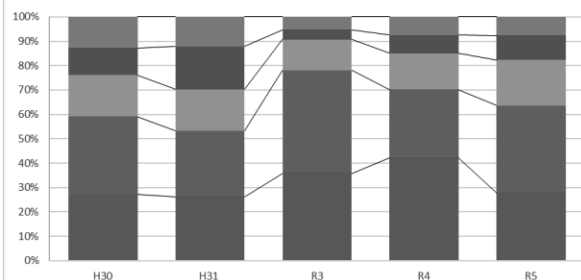


■ 1 とても当てはまる ■ 2 やや当てはまる ■ 3 あまり当てはまらない ■ 4 当てはまらない ■ 5 分からない

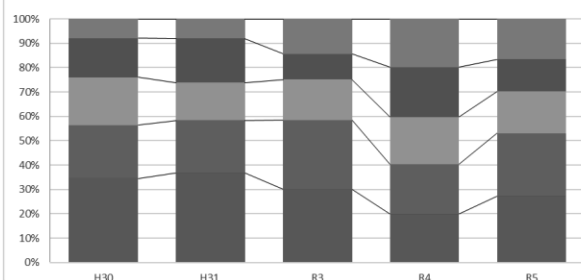
③ 9～11 歳期（小学生）対象 領域の教科化・技術科・英語科

		質問事項	年度	1 とても当てはまる	2 やや当てはまる	3 あまり当てはまらない	4 当てはまらない	5 分からない
領域の教科化	1	低学年のときの授業中に、その授業の教科と違う教科の疑問を授業中にもったことがある。(例 算数の時間に理科の疑問がわいたり 等)	H30	27.13%	31.91%	17.02%	11.17%	12.77%
			H31	26.13%	27.14%	17.09%	17.59%	12.06%
			R3	35.84%	42.20%	12.72%	4.05%	5.20%
			R4	42.29%	27.86%	14.93%	7.46%	7.46%
			R5	27.78%	35.86%	18.69%	10.10%	7.58%
	2	低学年の授業中に、その授業の教科と違う教科をやりたくなつたけれど、その授業の教科と違うために、我慢したことがある。	H30	34.57%	21.81%	19.68%	15.96%	7.98%
			H31	36.68%	21.61%	15.58%	18.09%	8.04%
			R3	30.06%	28.32%	16.76%	10.40%	14.45%
			R4	19.90%	20.40%	19.40%	20.40%	19.90%
			R5	27.27%	25.76%	17.17%	13.13%	16.67%
	3	領域の授業(ことば、くらし、かがく、ひょうげん)の授業をうけたときに、教科の授業をやりたいと思ったことがある。	H30	38.71%	20.97%	20.97%	12.90%	6.45%
			H31	37.50%	27.78%	12.50%	8.33%	13.89%
			R3	31.21%	45.66%	11.56%	4.05%	7.51%
			R4	39.30%	29.35%	9.95%	11.44%	9.95%
			R5	26.77%	31.31%	19.70%	14.14%	8.08%
	4	領域の授業(ことば、くらし、かがく、ひょうげん)の授業から、教科の授業になって楽しいと思ったことがある。	H30	66.13%	17.74%	8.06%	6.45%	1.61%
			H31	65.28%	23.61%	5.56%	4.17%	1.39%
			R3	50.29%	34.68%	6.36%	2.31%	6.36%
			R4	50.25%	30.35%	8.96%	3.48%	6.97%
			R5	41.41%	30.30%	14.65%	6.57%	7.07%
英語	5	わたしは、英語の時間に、友だちや先生に伝えたりすることが好きだ。	H30	28.19%	45.74%	15.43%	8.51%	2.13%
			H31	50.25%	26.13%	13.57%	5.53%	4.52%
			R3	27.17%	45.66%	17.92%	2.89%	6.36%
			R4	40.80%	38.81%	14.43%	4.98%	1.00%
			R5	30.30%	28.28%	25.25%	14.65%	1.52%
	6	わたしは、英語の時間に、ALTの先生が言った英語や、読み聞かせて出てきた英語の意味を考えたり、ALTの先生や友だちに伝える英語を考えようとしている。	H30	44.15%	37.23%	12.77%	4.26%	1.60%
			H31	45.73%	31.16%	15.58%	3.52%	4.02%
			R3	34.68%	45.09%	11.56%	2.31%	6.36%
			R4	41.36%	43.46%	11.52%	1.57%	2.09%
			R5	34.85%	31.31%	18.69%	8.59%	6.57%
	7	わたしは、英語の時間に、ALTの先生の国の文化について知ったり、日本の文化との共通点や違いについて考えたりしている。	H30	43.09%	38.83%	12.23%	4.26%	1.60%
			H31	54.77%	28.14%	10.55%	3.52%	3.02%
			R3	36.42%	46.24%	10.98%	0.58%	5.78%
			R4	42.29%	36.32%	15.42%	4.48%	1.49%
			R5	31.82%	36.87%	16.16%	9.60%	5.56%
技術	8	わたしは、技術の時間に、自分の作りたいものを考えたり、自分の作りたいものを製作したりするのが好きだ。	H30	71.28%	17.55%	7.98%	2.66%	0.53%
			H31	69.35%	23.12%	5.03%	1.01%	1.51%
			R3	70.52%	20.81%	2.89%	0.58%	5.20%
			R4	75.12%	18.91%	4.98%	1.00%	0.00%
			R5	66.67%	25.76%	2.53%	5.05%	0.00%
	9	わたしは、技術の時間に、この製品をどうやって作るのかと疑問をもったり、自分の願う製品になるよう活動したりしている。	H30	47.34%	37.23%	10.11%	2.13%	3.19%
			H31	53.77%	30.65%	8.54%	3.52%	3.52%
			R3	47.40%	40.46%	3.47%	0.00%	8.67%
			R4	54.73%	34.83%	6.47%	2.49%	1.49%
			R5	48.48%	31.31%	13.13%	3.03%	4.04%
	10	わたしは、技術の時間に、友だちと協力して作ったり、人に役に立つ製品を作ろうとしていたりしている。	H30	51.60%	32.45%	11.70%	1.60%	2.66%
			H31	57.29%	23.62%	10.55%	4.02%	4.52%
			R3	47.98%	36.42%	6.36%	1.16%	8.09%
			R4	52.24%	31.34%	10.45%	2.49%	3.48%
			R5	40.40%	33.33%	15.66%	3.03%	7.58%

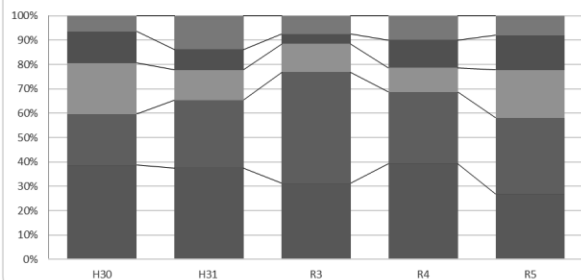
1 領域の授業（ことば、くらし、かがく、ひょうげん）の授業をうけたときに、教科の授業をやりたいと思ったことがある。



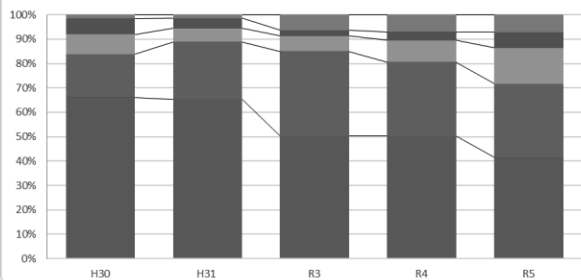
2 低学年の授業中に、その授業の教科と違う教科をやりたいと思ったけれど、その授業の教科と違うために、我慢したことがある。



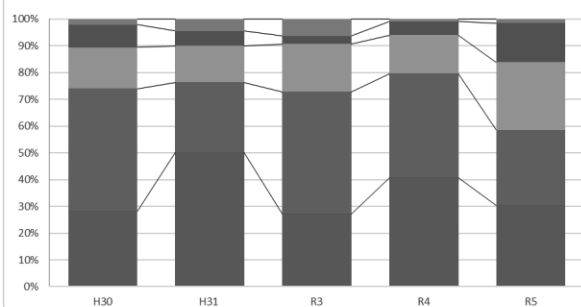
3 領域の授業（ことば、くらし、かがく、ひょうげん）の授業をうけたときに、教科の授業をやりたいと思ったことがある。



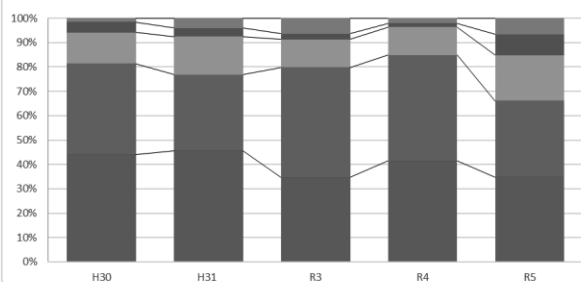
4 領域の授業（ことば、くらし、かがく、ひょうげん）の授業から、教科の授業になって楽しいと思ったことがある。



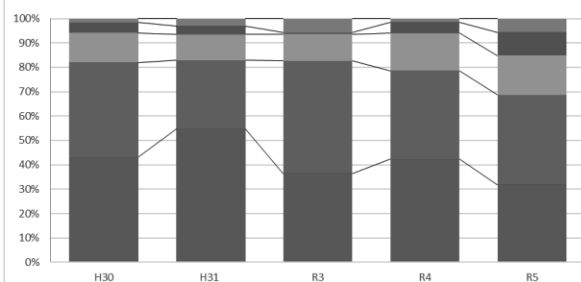
5 わたしは、英語の時間に、友たちや先生に伝えたりすることが好きだ。



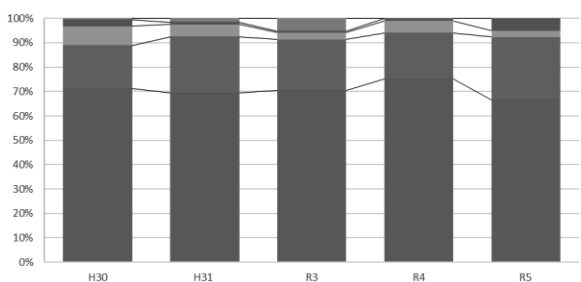
6 わたしは、英語の時間に、ALTの先生が言った英語や、読み聞かせて出てきた英語の意味を考えたり、ALTの先生や友たちに伝える英語を考えようとしている。



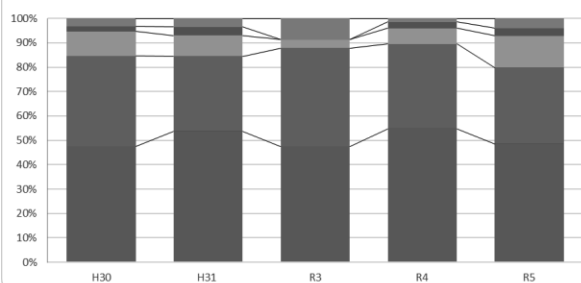
7 わたしは、英語の時間に、ALTの先生の国の文化について知ったり、日本の文化との共通点や違いについて考えたりしている。



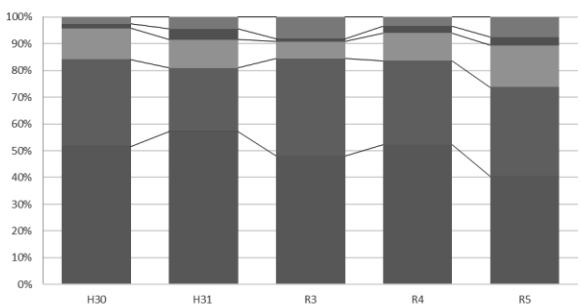
8 わたしは、技術の時間に、自分の作りたいものを考えたり、自分の作りたいものを製作したりするのが好きだ。



9 わたしは、技術の時間に、この製品をどうやって作るのかと疑問をもったり、自分の願う製品になるよう活動したりしている。



10 わたしは、技術の時間に、友たちと協力して作ったり、人に役に立つ製品を作ろうとしていたりしている。

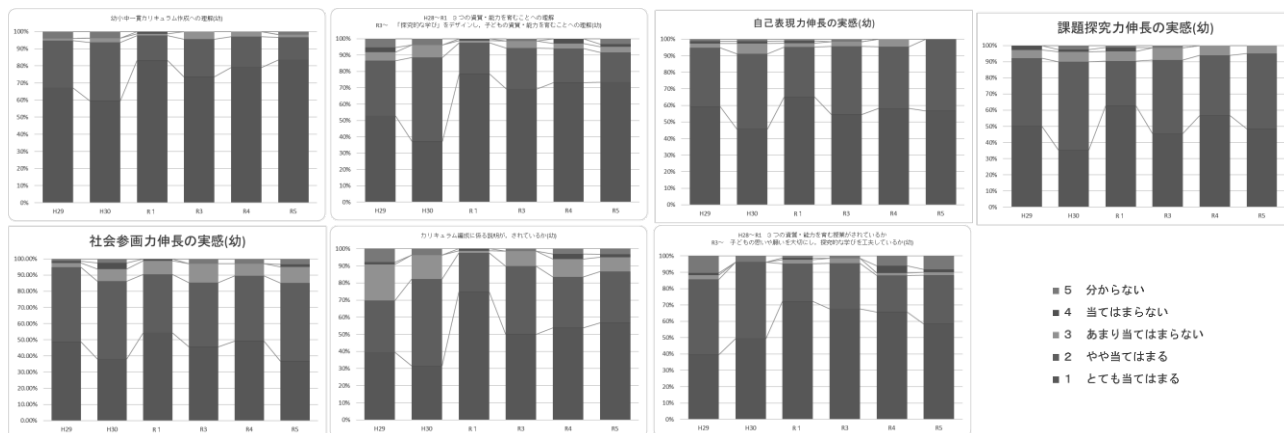


■ 1 とても当てはまる ■ 2 やや当てはまる ■ 3 あまり当てはまらない ■ 4 当てはまらない ■ 5 分からない

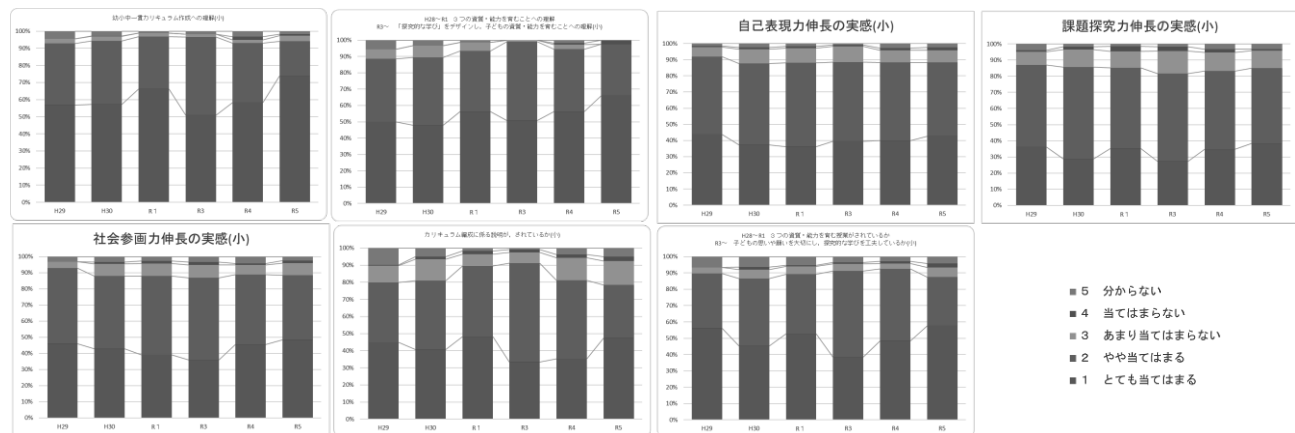
④保護者対象

幼稚園保護者

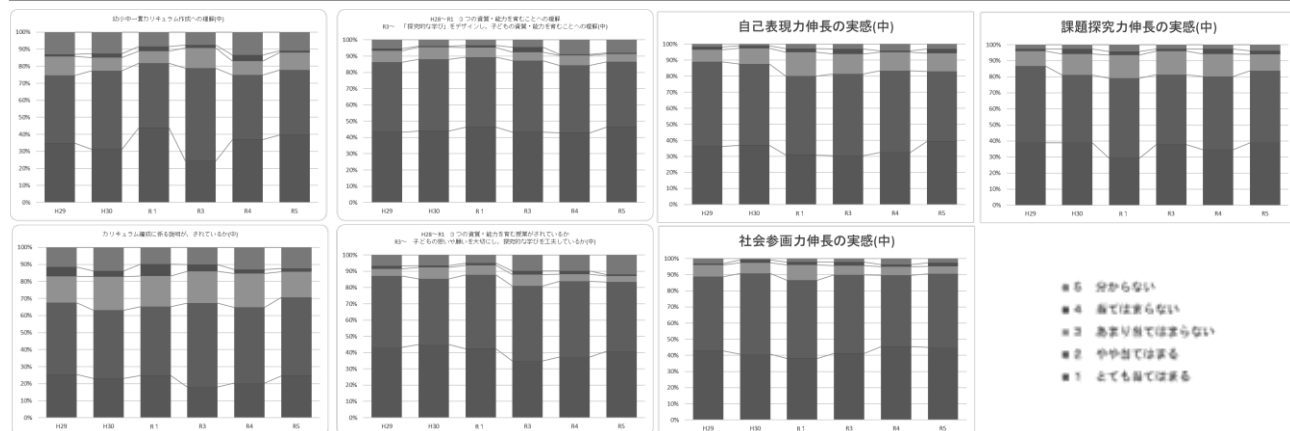
対象			質問事項		1 とても当てはまる	2 やや当てはまる	3 あまり当てはまらない	4 当てはまらない	5 分からない
幼稚園保護者	教育課程編成への理解	幼小中一貫カリキュラム作成への理解	H29	67.11%	27.63%	1.32%	0.00%	3.95%	
			H30	59.49%	34.18%	2.53%	0.00%	3.80%	
			R1	83.13%	14.46%	1.20%	1.20%	0.00%	
			R3	73.53%	22.06%	4.41%	0.00%	0.00%	
			R4	79.10%	17.91%	2.99%	0.00%	0.00%	
			R5	83.33%	13.33%	1.67%	0.00%	1.67%	
		H28～R13つの資質・能力を育むことへの理解	H29	52.70%	33.78%	5.41%	2.70%	5.41%	
			H30	37.18%	51.28%	7.69%	0.00%	3.85%	
			R1	78.31%	19.28%	1.20%	1.20%	0.00%	
		R3～「探究的な学び」をデザインし、子どもの資質・能力を育むことへの理解	R3	69.12%	25.00%	4.41%	0.00%	1.47%	
			R4	73.13%	20.90%	2.99%	2.99%	0.00%	
			R5	73.33%	18.33%	3.33%	1.67%	3.33%	
	資質・能力の高まりの実感	自己表現力伸長の実感	H29	59.21%	35.53%	2.63%	1.32%	1.32%	
			H30	45.57%	45.57%	6.33%	1.27%	1.27%	
			R1	65.06%	30.12%	2.41%	1.20%	1.20%	
			R3	54.41%	41.18%	2.94%	0.00%	1.47%	
			R4	58.21%	37.31%	4.48%	0.00%	0.00%	
			R5	56.67%	43.33%	0.00%	0.00%	0.00%	
		課題探究力伸長の実感	H29	50.00%	42.11%	5.26%	2.63%	0.00%	
			H30	35.44%	54.43%	6.33%	1.27%	2.53%	
			R1	62.65%	27.71%	6.02%	2.41%	1.20%	
			R3	45.59%	45.59%	7.35%	0.00%	1.47%	
			R4	56.72%	37.31%	5.97%	0.00%	0.00%	
			R5	48.33%	46.67%	5.00%	0.00%	0.00%	
		社会参画力伸長の実感	H29	48.68%	46.05%	2.63%	1.32%	1.32%	
			H30	37.97%	48.10%	7.59%	3.80%	2.53%	
			R1	54.22%	36.14%	8.43%	1.20%	0.00%	
			R3	45.59%	39.71%	11.76%	0.00%	2.94%	
			R4	49.25%	40.30%	7.46%	0.00%	2.99%	
			R5	36.67%	48.33%	10.00%	1.67%	3.33%	
	学校園の取り組みのあり方	カリキュラム編成に係る説明が、されているか	H29	39.47%	30.26%	21.05%	1.32%	7.89%	
			H30	31.65%	50.63%	13.92%	0.00%	3.80%	
			R1	74.70%	22.89%	1.20%	1.20%	0.00%	
			R3	50.00%	39.71%	8.82%	0.00%	1.47%	
			R4	53.73%	29.85%	10.45%	2.99%	2.99%	
			R5	56.67%	30.00%	8.33%	1.67%	3.33%	
		H28～R13つの資質・能力を育む授業がされているか	H29	39.47%	46.05%	2.63%	1.32%	10.53%	
			H30	49.37%	46.84%	0.00%	0.00%	3.80%	
			R1	72.29%	22.89%	2.41%	1.20%	1.20%	
		R3～子どもの思いや願いを大切に、探究的な学びを工夫しているか	R3	67.65%	27.94%	2.94%	0.00%	1.47%	
			R4	65.67%	22.39%	1.49%	4.48%	5.97%	
			R5	58.33%	30.00%	1.67%	1.67%	8.33%	



小学校保護者									
対象		質問事項		1 とても当てはまる	2 やや当てはまる	3 あまり当てはまらない	4 当てはまらない	5 分からない	
小学校保護者	教育課程編成への理解	幼小中一貫カリキュラム作成への理解	H29	56.83%	36.07%	2.73%	0.00%	4.37%	
			H30	57.19%	36.99%	2.74%	0.34%	2.74%	
			R1	66.20%	30.63%	2.11%	0.00%	1.06%	
			R3	50.88%	45.61%	1.75%	0.00%	1.75%	
			R4	58.22%	34.74%	1.88%	1.88%	3.29%	
			R5	92.63%	25.26%	4.21%	1.05%	2.11%	
		H28～R13つの資質・能力を育むことへの理解	H29	50.00%	38.46%	6.04%	0.00%	5.49%	
			H30	47.95%	41.44%	7.19%	0.00%	3.42%	
			R1	56.34%	36.97%	5.28%	0.00%	1.41%	
			R3	50.88%	48.25%	0.88%	0.00%	0.00%	
			R4	56.34%	38.03%	2.82%	0.94%	1.88%	
		R3～「探究的な学び」をデザインし、子どもの資質・能力を育むことへの理解	R5	83.16%	40.00%	0.00%	3.16%	0.00%	
	自己表現力伸長の実感		H29	43.72%	48.09%	6.01%	0.55%	1.64%	
			H30	37.33%	50.34%	8.90%	1.03%	2.40%	
			R1	36.27%	51.76%	9.15%	1.06%	1.76%	
			R3	39.47%	49.12%	9.65%	0.88%	0.88%	
		R4	39.91%	48.36%	7.51%	1.41%	2.82%		
		R5	53.68%	57.89%	9.47%	2.11%	3.16%		
	資質・能力の高まりの実感	課題探究力伸長の実感	H29	36.07%	50.82%	8.20%	1.09%	3.83%	
			H30	28.77%	56.85%	10.96%	1.71%	1.71%	
			R1	35.21%	50.00%	10.21%	3.17%	1.41%	
			R3	27.19%	54.39%	14.04%	2.63%	1.75%	
			R4	34.74%	48.36%	11.74%	1.88%	3.29%	
			R5	48.42%	58.95%	13.68%	1.05%	4.21%	
		社会参画力伸長の実感	H29	45.90%	46.99%	3.83%	0.00%	3.28%	
			H30	42.81%	45.21%	7.53%	1.03%	3.42%	
			R1	39.08%	48.94%	7.75%	1.41%	2.82%	
			R3	35.96%	50.88%	7.89%	1.75%	3.51%	
			R4	45.54%	43.19%	6.10%	0.94%	4.23%	
			R5	61.05%	50.53%	9.47%	2.11%	3.16%	
	学校園の取り組みのあり方	カリキュラム編成に係る説明が、されているか	H29	44.81%	34.97%	9.84%	0.55%	9.84%	
			H30	40.75%	40.07%	12.67%	1.37%	5.14%	
			R1	48.24%	41.20%	7.04%	1.76%	1.76%	
			R3	33.33%	57.89%	6.14%	1.75%	0.88%	
			R4	35.21%	46.01%	13.15%	1.88%	3.76%	
			R5	60.00%	38.95%	17.89%	3.16%	6.32%	
		H28～R13つの資質・能力を育む授業がされているか	H29	56.04%	33.52%	3.85%	0.00%	6.59%	
			H30	45.21%	41.44%	5.48%	1.37%	6.51%	
			R1	52.82%	36.27%	4.93%	0.70%	5.28%	
			R3～子どもの思いや願いを大切にし、探究的な学びを工夫しているか	R3	38.60%	52.63%	4.39%	0.88%	3.51%
				R4	48.36%	44.13%	3.29%	1.41%	2.82%
		R5		72.63%	37.89%	7.37%	3.16%	5.26%	

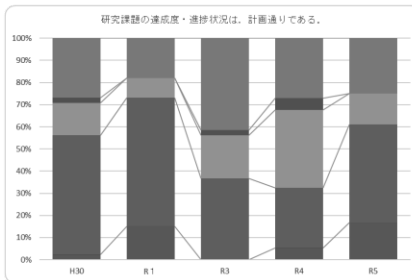
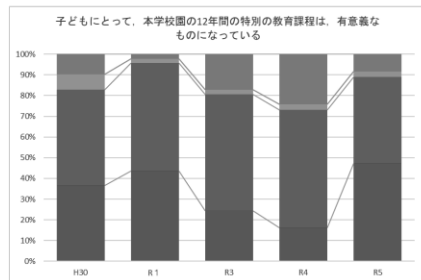
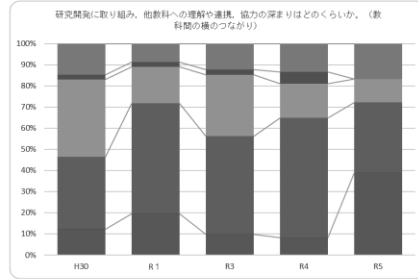
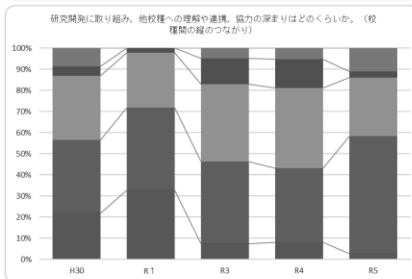
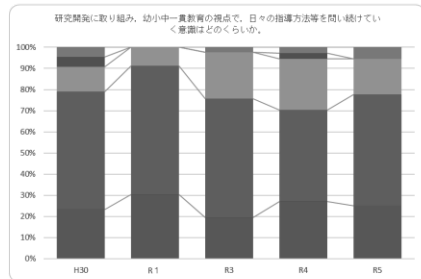
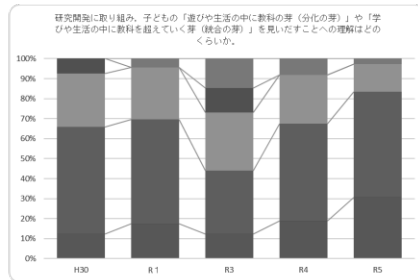
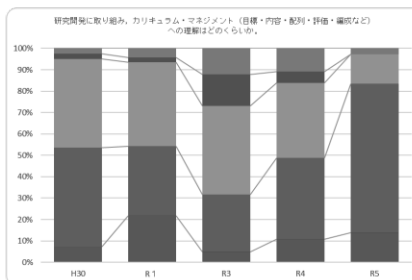
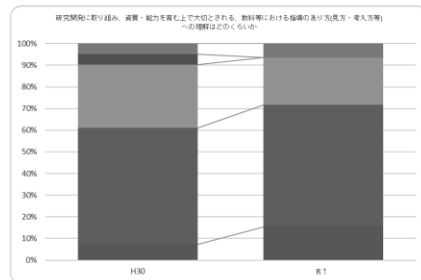
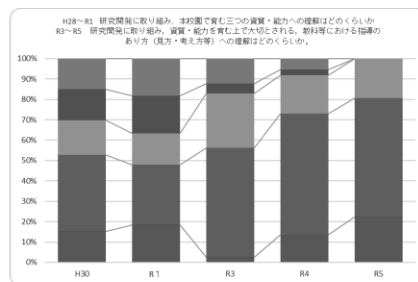
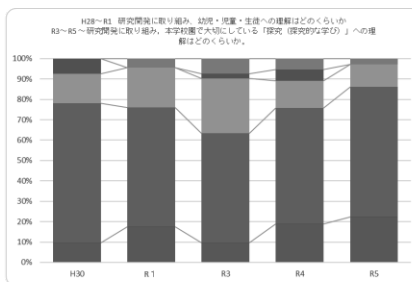
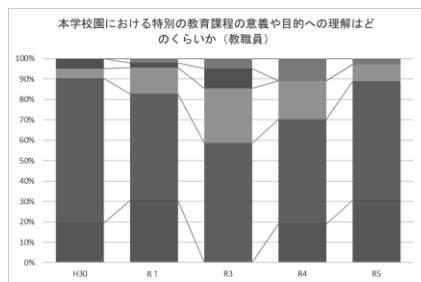


中学校保護者											
対象			質問事項		1 とても当てはまる	2 やや当てはまる	3 あまり当てはまらない	4 当てはまらない	5 分からない		
中学校保護者	教育課程編成への理解	幼小中一貫カリキュラム作成への理解	H29		34.82%	39.73%	11.16%	1.34%	12.95%		
			H30		31.15%	46.15%	7.69%	2.31%	12.69%		
			R1		43.82%	37.92%	7.02%	2.81%	8.43%		
			R3		24.34%	54.42%	11.95%	1.77%	7.52%		
			R4		36.94%	37.84%	8.11%	3.60%	13.51%		
			R5		39.62%	38.11%	10.19%	1.13%	10.94%		
		H28～R13つの資質・能力を育むことへの理解	H29		43.30%	42.86%	7.14%	1.34%	5.36%		
			H30		43.85%	44.23%	7.31%	0.77%	3.85%		
			R1		46.35%	42.98%	5.90%	1.40%	3.37%		
		R3～「探究的な学び」をデザインし、子どもの資質・能力を育むことへの理解	R3		43.36%	43.81%	5.31%	3.10%	4.42%		
			R4		42.79%	41.44%	6.31%	0.45%	9.01%		
			R5		46.42%	40.00%	4.91%	0.75%	7.92%		
			資質・能力の高まりの実感	自己表現力伸長の実感	H29		36.16%	52.68%	7.59%	1.79%	1.79%
					H30		36.92%	50.77%	9.62%	1.54%	1.15%
					R1		30.90%	49.16%	14.89%	2.25%	2.81%
	R3				30.53%	50.88%	12.39%	3.10%	3.10%		
	R4				32.43%	50.90%	11.71%	0.90%	4.05%		
	R5				39.25%	43.77%	11.32%	2.64%	3.02%		
	課題探究力伸長の実感	H29			38.84%	47.77%	9.38%	1.34%	2.68%		
		H30			38.85%	42.31%	13.08%	3.08%	2.69%		
		R1			29.25%	49.86%	14.48%	2.23%	4.18%		
		R3			37.61%	43.81%	14.60%	1.33%	2.65%		
		R4			34.68%	45.50%	13.96%	3.15%	2.70%		
		R5			38.87%	44.91%	10.19%	2.26%	3.77%		
	社会参画力伸長の実感	H29			42.86%	45.98%	7.14%	0.89%	3.13%		
		H30			40.77%	50.00%	6.54%	1.92%	0.77%		
		R1			38.06%	48.61%	9.44%	1.67%	2.22%		
		R3		41.15%	48.67%	5.75%	2.21%	2.21%			
		R4		45.50%	44.14%	5.41%	1.35%	3.60%			
	学校園の取り組みのあり方	カリキュラム編成に係る説明が、されているか	H29		25.45%	41.96%	15.63%	5.36%	11.61%		
			H30		23.08%	40.00%	19.62%	3.46%	13.85%		
			R1		24.72%	40.45%	17.98%	7.02%	9.83%		
			R3		18.14%	49.12%	18.58%	3.98%	10.18%		
			R4		20.27%	44.59%	19.82%	2.25%	13.06%		
			R5		24.53%	46.04%	15.09%	1.89%	12.45%		
		H28～R13つの資質・能力を育む授業がされているか	H29		43.30%	43.75%	4.46%	1.79%	6.70%		
			H30		45.00%	40.38%	6.92%	1.15%	6.54%		
			R1		42.34%	45.40%	5.85%	1.39%	5.01%		
		R3～子どもの思いや願いを大切にし、探究的な学びを工夫しているか	R3		34.96%	46.02%	7.08%	2.21%	9.73%		
			R4		37.39%	46.40%	4.50%	1.80%	9.91%		
			R5		40.75%	42.64%	3.77%	0.75%	12.08%		



⑤教師対象

	質問事項		1 とても当てはまる	2 やや当てはまる	3 あまり当てはまらない	4 当てはまらない	5 分からない
本校園の特別の教育課程の意義	本学校園における特別の教育課程の意義や目的への理解はどのくらいか。	H30	19.51%	70.73%	4.88%	4.88%	0.00%
		R1	30.43%	52.17%	13.04%	2.17%	2.17%
		R3	0.00%	58.54%	26.83%	9.76%	4.88%
		R4	18.92%	51.35%	18.92%	0.00%	10.81%
		R5	30.56%	58.33%	8.33%	0.00%	2.78%
幼児・児童・生徒への理解	研究開発に取り組み、幼児・児童・生徒への理解はどのくらいか	H30	9.76%	68.29%	14.63%	7.32%	0.00%
		R1	17.39%	58.70%	19.57%	0.00%	4.35%
	研究開発に取り組み、本学校園で大切にしている「探究(探究的な学び)」への理解はどのくらいか。	R3	9.76%	53.66%	26.83%	2.44%	7.32%
		R4	18.92%	56.76%	13.51%	5.41%	5.41%
		R5	22.22%	63.89%	11.11%	0.00%	2.78%
教育課程・教科・領域等への理解	研究開発に取り組み、本校園で育む三つの資質・能力への理解はどのくらいか	H30	15.09%	37.74%	16.98%	15.09%	15.09%
		R1	18.31%	29.58%	15.49%	18.31%	18.31%
	研究開発に取り組み、資質・能力を育む上で大切とされる、教科等における指導のあり方(見方・考え方等)への理解はどのくらいか。	R3	2.44%	53.66%	26.83%	4.88%	12.20%
		R4	13.51%	59.46%	18.92%	2.70%	5.41%
		R5	22.22%	58.33%	19.44%	0.00%	0.00%
	研究開発に取り組み、資質・能力を育む上で大切とされる、教科等における指導のあり方(見方・考え方等)への理解はどのくらいか	H30	7.32%	53.66%	29.27%	4.88%	4.88%
		R1	15.22%	56.52%	21.74%	0.00%	6.52%
	研究開発に取り組み、カリキュラム・マネジメント(目標・内容・配列・評価・編成など)への理解はどのくらいか。	H30	7.32%	46.34%	41.46%	2.44%	2.44%
		R1	21.74%	32.61%	39.13%	2.17%	4.35%
		R3	4.88%	26.83%	41.46%	14.63%	12.20%
		R4	10.81%	37.84%	35.14%	5.41%	10.81%
		R5	13.89%	69.44%	13.89%	0.00%	2.78%
	研究開発に取り組み、子どもの「遊びや生活の中に教科の芽(分化の芽)」や「学びや生活の中に教科を超えていく芽(統合の芽)」を見いだすことへの理解はどのくらいか。	H30	12.20%	53.66%	26.83%	7.32%	0.00%
		R1	17.39%	52.17%	26.09%	0.00%	4.35%
		R3	12.20%	31.71%	29.27%	12.20%	14.63%
		R4	18.92%	48.65%	24.32%	0.00%	8.11%
		R5	30.56%	52.78%	13.89%	0.00%	2.78%
指導観や授業観の変容	研究開発に取り組み、幼小中一貫教育の視点で、日々の指導方法等を問い続けていく意識はどのくらいか。	H30	23.26%	55.81%	11.63%	4.65%	4.65%
		R1	30.43%	60.87%	8.70%	0.00%	0.00%
		R3	19.51%	56.10%	21.95%	0.00%	2.44%
		R4	27.03%	43.24%	24.32%	2.70%	2.70%
		R5	25.00%	52.78%	16.67%	0.00%	5.56%
	研究開発に取り組み、他校種への理解や連携、協力の深まりはどのくらいか。(校種間の縦のつながり)	H30	21.74%	34.78%	30.43%	4.35%	8.70%
		R1	32.61%	39.13%	26.09%	2.17%	0.00%
		R3	7.32%	39.02%	36.59%	12.20%	4.88%
		R4	8.11%	35.14%	37.84%	13.51%	5.41%
		R5	2.78%	55.56%	27.78%	2.78%	11.11%
	研究開発に取り組み、他教科への理解や連携、協力の深まりはどのくらいか。(教科間の横のつながり)	H30	12.20%	34.15%	36.59%	2.44%	14.63%
		R1	19.57%	52.17%	17.39%	2.17%	8.70%
		R3	9.76%	46.34%	29.27%	2.44%	12.20%
		R4	8.11%	56.76%	16.22%	5.41%	13.51%
		R5	38.89%	33.33%	11.11%	0.00%	16.67%
本校園の特別の教育課程自体への評価	子どもにとって、本学校園の12年間の特別の教育課程は、有意義なものになっている。	H30	36.59%	46.34%	7.32%	0.00%	9.76%
		R1	43.48%	52.17%	2.17%	0.00%	2.17%
		R3	24.39%	56.10%	2.44%	0.00%	17.07%
		R4	16.22%	56.76%	2.70%	0.00%	24.32%
		R5	47.22%	41.67%	2.78%	0.00%	8.33%
	研究課題の達成度・進捗状況は、計画通りである。	H30	2.44%	53.66%	14.63%	2.44%	26.83%
		R1	15.00%	57.78%	8.89%	0.00%	17.78%
		R3	0.00%	36.59%	19.51%	2.44%	41.46%
		R4	5.41%	27.03%	35.14%	5.41%	27.03%
		R5	16.67%	44.44%	13.89%	0.00%	25.00%



(3) 外部評価アンケート結果（公開研究会アンケートより）

①本学校園の研究について（研究発表）

《一貫性のあるカリキュラムとその実践》

・研究推進をしていく中で、12年間の遊びと学びをつなげていくという実践がとても興味深かったです。実態としてどのように学校参観を行なっているのか、示していただけると、公立学校の参考になると思いました。

・幼、小、中での連続性のあるカリキュラムがとても良いと思います。その中でも、小学校での領域の授業は教科を越えた子どもの学びたいを引き出す授業としてとても魅力的な取り組みだと思いました。

・「未来を拓く学校づくり」のテーマから、幼稚園教育の「遊び」からのつながり、遊びの領域化、教科等の総合化を全体のつながりから考えようとしていることが理解できた。小学校や中学校の接続の捉えや、それらがどのくらいできていて評価できるのかという視点に立っていること、今回の公開もこれまでの研究の評価手段の1つであるという位置付けが分かった。

・小学校の研究テーマ この子だからこそを支える というのが特にいいなと思いました。この子のやり方、学び方を理解したいという教師の姿勢は、幼稚園での保育そのものであるし、そこを大切に小学校での学びのあり様を、私も目の前の子どもの姿から考えていきたいと思います。

・幼稚園、小学校、中学校の学びが連携していること、9年間を見通している学びが積み重ねられることは、大切な視点だと思います。教科横断的な視点での学習や探究的な学びがもっとダイナミックに行われると、さらに思考、判断力が伸びるのではないかと思います。

・たくましく心豊かという観点が、12年間に共通するものであり、とてもよいと感じた。領域を新設する、全領域を3つの視点でみるととても興味を惹かれました。特別支援学校の教育課程とも重なる部分があり、ぜひ双方の教育課程を比べて考えてみたいと思いました。

・小学校研究テーマ「この子だからこそを支える指導・支援」について、その考え方に共感します。人は、一人一人違うという観に立ち、一人一人の事実を学びとして捉え、それをどう支えるかを研究していくことに意義を感じます。

・大学で各教科について学ぶ中で、園児の頃の遊びと小学校の学びをつなぐという役割を生活科の内容にあるとは知っていた。今回「ことば」「くらし」「かがく」「ひょうげん」という学習指導要領で定められた教科の枠組みを超えた独自のカリキュラムであることを聞いて、遊びの内容の延長線に小学校低学年の学びがあるということを授業を見る中で強く感じることができました。

・幼小中でどのように学びが積み上がっていくのか？なかなか研究できない取り組みで価値があると思いました。

・幼小中の繋がりがどのようになされているのか知ることができました。また、研究の内容や意義についても、具体例から知ることができ、多くのことを学ばせていただきました。

・幼稚園、小学校、中学校それぞれの発達段階に合わせた特徴を活かして、子どもたちの学びに良い発表だと感じました。また特徴を活かした学びを教師が行いながらの幼小中の繋がりが強い印象を受けました。

- ・12年間を一連の学びとして捉えることは非常に大切だと思います。その視点で、授業のあり方や資質・能力を育もうとしているところは素晴らしいなと思います。
- ・12年間の学びの総合化について具体の姿から学ばせていただきました。
- ・子どもたちの学びを継続的に捉えながら関わっていくことはとても大切だと感じました。

《個の学びや見取りについて》

- ・たくましく心豊かな地球市民の育成を目指して、学びの総合化を取り入れて、系統立てて教育していくことは、有効だと感じられました。
- ・幼稚園からさまざまな教科の見方・考え方を活用しているという視点に立った時、中学校レベルになった時どのように見方・考え方が折り重なっていくのか楽しみになりました。
- ・幼稚園、小学校、中学校と区切るわけではなく、つなげて考え、それぞれに培った力を次へとつなげていくことができるカリキュラムになっていることがわかり、それを踏まえたうえで授業をみせていただき、それぞれの学級でしっかりと力をつけながら次へつながっていることがわかりました。
- ・幼稚園からの幼児教育から義務教育終了まで一貫して子どもを育てていくというコンセプトがよかった。
- ・「子どもの強み」として3つの力を捉え、その視点で3校園の先生方が子どもをまなざしているという発表が、やはり心に残りました。

《教育研究の評価と影響》

- ・幼小中の連続性の中で、遊びが学びの総合化に繋がっていく子どもの具体の姿がよくわかりました。ありがとうございました。
- ・12年間一貫で子どもの育ちを捉えていく視点は非常に大切だと思ったが、研究に取り組む中で実際に育ってきた子供の姿や、そこまでに至る教師の歩みがわからなかった。
- ・子どもたちが自らの力でより良い未来をつくりあげるために、とても良い研究であると思う。
- ・12年間を一連の学びとして捉えることは非常に大切だと思います。その視点で、授業のあり方や資質・能力を育もうとしているところは素晴らしいなと思います。

《三校園としての取り組みや教職員の協働》

- ・12年間で育てる子どもの姿を共有してある。それを、子供内在している3つの資質・能力で貫いているということ、今も大事にされていることが素晴らしいと感じました。また、附属学校園で働いている先生方が、この学校園を異動し、それぞれの場所で学校づくりをしていく際に、この「子供に内在しているよさ」に着目していくことが、極めて寛大事になってくるので、引き続き大事にしてほしいと思いましたし、その部分を文科省に評価されていたことを改めて思い出しました。また、「領域の教科化」の部分はむずかしさを感じられているのかなと思いました。それは、特徴が見いだせないのか。いや、すでに小学校の先生方がやっているんだけど、特徴化されていることを明らかにできていないのか。特徴化する際の視点が見えていないのか。大変なご苦勞を頂いているとは思いますが、引き続き研究で明らかにしてほしいと感じました。今日見た子どもたちの生き生きとした表情を見

ていると、今後に残っていてほしい学校園だと感じています。OBとして、微力ながら協力できることはしていきますので、何かありましたら、お声掛けいただければと思いました。

- ・それぞれの校種を一つのテーマで貫いているところがよいと思いました。そうすることで、どの校種もテーマを意識した研究を進めることができると思いました。
- ・まずは、幼小中を貫く研究テーマという点で意義深いと感じています。小学校では、教科にとらわれずに「領域」を新設しての研究という点も興味深いと感じました。
- ・久しぶりの異校種の公開授業で、とても刺激になりました。
- ・学校を越えて、幼・小・中の授業実践を見る機会ができているのだなと感じました。
- ・幼小中でどのように学びが積み上がっていくのか？なかなか研究出来ない取り組みで価値があると思いました。

《子どもの発達と「3つのよさ」》

- ・「自己表現力」「課題探究力」「社会参画力」を共通の視点として12年間を見据えた研究をなされている理由がよくわかりました。子どもの発達段階に応じた連続的で継続的な学びの大切さがわかりました。
- ・子どもたちがこれからの未来を創るために必要となる3つの力を12年間の構想を通して実践を行ってきていること、私たち長野中は3年間を見ているが、小中の連携を図るだけでも全国小中学校なかなか進まない中、「ちかくてとおい」存在を変えようとしているその姿勢にまずは頭が下がります。
- ・子どもたちが自らの力でより良い未来をつくりあげるために、とても良い研究であると思う。
- ・12年間を一連の学びとして捉えることは非常に大切だと思います。その視点で、授業のあり方や資質・能力を育もうとしているところは素晴らしいなと思います。

②公開保育・授業について

《保育・年少》

- ・丁寧に子どもを見取り、材を作成し、子供の願いを実現している授業でした。井出先生の優しい声掛けと、見取りが素晴らしかったです。次から次へと新たな学び方を作り出したり、次の遊びに行く姿から、中学生もこのように遊びたい、という思いを持っていたはずで、教科の学習でもこのような姿は引き出せると思って実践していきたいと思えました。
- ・興味に合わせた環境が設定されていて、使われている素材や数など、とても参考になった。
- ・子どもたちが自分たちで選択して考えて遊んでいる姿を見て、日頃から主体的な保育が展開されているからこそその子どもたちの姿だと思いました。

《保育・年中》

- ・子どもたちが自分たちで遊びに向き合って、解決しようとしている姿を見ることができました。そこに教師が急いで答えを出さず、向き合ってともに考えている様子に、自分の保育を改めて見直したいと思いました。
- ・参観した授業どれも、子どもたちが生き生きと活動しているのが印象的でした。

子どもたちが物との関わりも、人との関わりも楽しんで遊んでいる姿がたくさん見られました。また、元々のクラスに関係なく、気の合う友だちを見つけて遊んでいる姿を見れて嬉しかったです。ステージでは、保育者のした環境構成に飾りをつけて、子どもたちなりにより良いを求めて再構成して遊んでいく姿も見られました。

・最後の方は年少から年長までの様子を見させていただきましたが、発達段階に応じて、貴校のテーマを見て取ることができました。例えば、年中では自分で課題を見付け、それを克服しようとする様子、年長では友と協力しながら何かを行う様子です。

・子どもたちのやりたいが発揮できるような環境で、自分のやりたいことに取り組んでいる姿が見られた。また、日々の中ではもちろん異年齢の交流が見られると思うが、今回はあまりそのような姿が見られなかったのが残念だった。幼小中と12年間の繋がりをみていく研究だからこそ、異年齢の交流も大切になってくると思う。また、それぞれの年齢に応じた環境構成になっているが、転がし遊びや泡遊びでは、年中の頃と年長になってからの進化や進歩みたいなものがいまいちわからなかった。（もちろん、やりたいことに応じた環境構成にしていることは承知の上で。）育ちを意識している今年度だからこそ、環境構成もそれぞれの年齢の繋がりを検討していけると良いのではないかと感じた。各担任が子どものやりたいを捉える力がついているからこそ、育ちに応じた環境構成を考えていくことで、3年間の育ちをさらに意識していけるのではないと思う。また、遊び場を作る場所も園全体で考えていくことで、遊びを見守る安全性も高めていけるのではないか。

《保育・年長》

・子どもたちが主体的になって、遊びの中から学びを得ている姿を見ることができました。中学では、振り返りやワークシートなどから学びが深まった姿を捉えていきますが、幼稚園では子どもの姿からカンファレンスを大切にして、子どもの心の中を考察していくので、先生方の見る視点や見守り方、そして環境設定が大きな手立てとなることを学ばせていただきました。このような学びを経て、小学校では教科による見方・考え方を働かせたり、中学では教科の学びを総合化していったりといった学びのステップアップにつながる第一段階をじっくり学ぶことができました。ありがとうございます。

・折り紙を切る際に、切り口の対称性を気にしている園児の姿を見取ることができました。算数・数学の学びにつながる萌芽がここにあるのだと実感することができてよかったです。

・中学校で家庭科を教えていることから、中学生が保育実習に来たとしたらという視点で見させていただきました。幼児の遊びの姿から、社会性の発達や認知の発達、運動機能の発達など様々な発達を促されるように道具や場の設定がされていました。「遊びを提案しよう」という学習を中学生と考えているのですが、材や場があるだけで幼児が自然と遊びをつくっていくことを今回学ばせていただき、今後の保育園実習での参考になりました。

《小2・ひょうげん》

・ボディパーカッションから動画の動きとは異なる方法で足でリズムをとっている児童の姿が印象的だった。その後の「水族館」の曲の鑑賞の時にも顎をカクカクさせながらリズムを感じようとしている様子があった。その子自身の曲から感じ得たものを体で表現しようとしている姿に感心した。最後の場面では、友だちと関わる瞬間もありながらまた一人の世界に戻って1匹の魚として表現しようとしていた。それらの様子から、体全体を使いながら、曲を感じようとする姿のあった1時間だと考えた。

・体育の表現のうち、リズムダンスと創作という学習内容がある。そこでの身体表現のポイントとして、「体のくずし」「リズムのくずし」「人間関係のくずし」「空間のくずし」がある。今回の授業では、体や空間のくずしの要素が含まれていて、体育で扱いたい表現との繋がりを感じた。体育として体や空間のくずしをポイントとしておくとき、体の上の方や下の方、前や後ろ、斜めもあるといったことを子どもの動きからおさえていくことができる。そういった体育での即興表現につながるものを教師側で学習できたものとして価値づけておくことで、音楽の授業での表現にも自然と子どもの文脈の中で生かされるようになるのではないかと考えた。

・後半、女子の10人くらいが2人の魚をやっている子を囲みながら回る様子があった。その動きからは、閉じ込められた水槽の中で生きるしかない魚の暗い様子があることを感じ取れた。ある動きを捉えて、どうしてその動きにしたのか言語化する場面があると、その瞬間に起こっていて消えてしまう事象を学習として価値づけることができたかもしれないと思った。”

・参観したJさんは1時間の中で、足でリズム、よつんばいのライオン、友達の間を横切るライオン、後ろから突っ込むライオンとライオンを表現することに始まりました。さらに音楽から「ナポレオンのえいゆう」と自分のイメージを言葉にし、じんべいざめ、黒ウナギの下あごが折れた、深海水族館、おれて沈んだなど友達の「お墓、暗い、ようかい」などの言葉からほこりがかぶった暗い水族館と言葉から感じたことを表現しました。（国語的）さらに、ほふくぜんしんてきな動き、おなかをじめんにおしつけておよぐ、ねらって飛びつくなど深海魚を動きや床と体の感触でイメージしながら曲が流れている間体全体で表現し続けました。3回目は音楽が終わっても身体を動かしていた様子から、クラゲ、カツオの烏帽子はさんごしょうという言葉から生まれた明るいイメージだったように感じました。1時間の中で様々な表現をしていました。その表現していた姿を全体に広げられるよう、表現した瞬間を動画でみんなで共有したり、一場面だけグループごと発表したり、表現している姿をみんなで見合う機会があればさらに楽しそうだなと感じました。

《小2・かがく》

・算数、理科、生活の教科とのつながりを見させていただいた授業でした。根はもっと伸びると思う、四十cm物差しを置いたらいいんじゃない、様々な解決の方法を考え、外へ飛び出して確かめる姿、どれも素晴らしかったです。

・授業研究会では、教科の目で見ないことが必要なのですが、教科、という目で見ると、表で表して、3の段の10以上の数を見出す、3列直列だけでなく、互い違いにすることで、4列以上並べることができるなど、今後の算数数学に繋がる力にも広がっていく素晴らしい材だと思いました。

・領域の授業をしっかりと見たのは初めてでした。1つの授業の中に、理科的な思考、算数的な思考をする姿がありました。きれいな庭にする！ということで、表現領域の思考をする子が出てくるかなと思いました。本時では算数の見方に重点が置かれていたので、そういった姿はないように思いました。掛け算を取り入れたい教師側の思いと、もっとデザインを自由に考えたいと願う子どももいたと思うと、どのような授業の展開の仕方があるのか、他にも考えてみたいと思いました。

・もし前時等で考えていたら恐縮ですが、掛け算でやろうと指定されていたと思うのですが、そこで「どうやろうか」と聞いて「掛け算！」と出たときに「なんで？」を聞いてみたらどんな反応だったのかなと考えました。

・初めて領域の授業を見せていただいた。花壇にきれいに花を植えるという問題に対して、40センチ物差しを手立てに、九九を使いながら考える姿、実際に花壇に行って試す姿など、1つの教科として授業をしていく以上に領域で学ぶことの良さを感じることができた。その分、一人ひとりの学びを評価していくことや学びの過程を捉えていくことの難しさを感じた。ワークシートを使い、発言している子の考えは捉えやすいが、黙々と描き続けた子のよしできた！と言った時の気持ち。なぜ、みんなのように外に行って試さなかったのかを聞いてみたくなった。また、かがくの授業だからなのか、みんなが列で花を植えるということに課題がすわったことにも驚いた。列にしないで、模様のように並べてみてもきれいな花壇にはなる。2年生でかがくとひょうげんの違いをわかっていて、九九を用いた列での並べ方になったのか、不思議に思った。もし、あの時、花同士は40センチ離して自由に模様などにして植えたいという意見が出ていたら、先生はどうしたのか聞いてみたかった。

・2年生のかがくの学習として見ていました。授業全体の様子から、Y先生が一人一人の子どもに思いをかけて1日1日を大切に過ごしてきていらっしゃるのだらうと勝手に感じさせていただきました。とても素敵な2年生の子どもの追究する姿を見ることができました。かがくの授業の印象ですが、生活科と違い、Y先生が、子どもの発言や問いに立ち止まり、子どもに返ししながら、数理に関する問いが成立する様に対話を重ねながら追い込んでいっている印象を持ちました。それは、「植えに行こう！って言わなくてよかった」という言葉にも表れていました。実際に試さなくても、数理を使って紙面上や思考することで、解決できる問題であることに気づき始めている子どもを感じたということだと思いますし、そのように授業の冒頭から意図して対話を重ねていたのだらうと思います。自分たちの大事な花壇だからこそ、真剣に考えているのだと思うし、活動と思考を往還しながら、数理のよさを時間することのできる素敵な学習だと感じましたし、これだけの準備をされるY先生のご努力にも頭が下がる思いでした。

・Tさんが、長方形の中に長方形を作るやり方を提示した時に、先生は教材研究の段階でそれはできないことがすぐにわかったと思いますが、あえて板書をしてTさんの発言をきちんと取り上げていらっしゃいました。子どもの思考を大事にする思いの表れだと思いますが、板書する意図が何かあったのか、質問してみたかったところです。

・子どもたちが外へ出ていく中で、Sさんだっただと思いますが、先生と3×14の話をしていたように思います。その後、外へ全員出て、終末に近づいたところで全員を集めて、たてとよこの数を確認する場面がありました。たてに3つ。2つだと…と先生が整理し始めた時に、子どもたちは反応が鈍くなっていました。それは、思考が追い付いていなかったのか、咀嚼していたのか、私には子どもの姿が読み取れませんでした。先生の思いと子どもの思考の流れにズレが生じている場面だったかなあと感じました。3×14の考えを取り上げるのであれば、その考えを説明できそうな（多分）Sさんを指名して「ちょっとみんな聞いてくれるかな。Sさんが考えていたことについてみんなどう思う？」などと、子どもの考えを拾って全体に返していく場面にした方が、授業中に捉えた「子どもの思いや願い、問い」を全体の追究の課題として据えていくことができるのではないかと感じました。私だったら子どもの考えを全体に広げるにはどうしたらいいだろうかと考えながら学習を展開していきたいと考えました。終末のところは、先生がまとめようとしなくても一人の子どもの

考えを出して問い合うことで、先生の意図する方向には行けたのではないかと考えています。

・授業を参観させていただきありがとうございました。私は昨年同様、I・M児を見ていました。先生の授業を参観していると、毎回必ずと言っていいほど児童の発言が多く、児童に作用して、矢印が綿密に張り巡らされていると感じます。M児も例外なくその中にいて、授業中盤に「他に36になる答えあるかな。」と発言をし、私はここで授業の雰囲気が変わったように思いました。それまでほとんどの時間は隣のK児と話をしたり頬杖をついていたM児ですが、やはり発言に至るまでに、他の児童の発言を間違いなく聞いていて考えていたからこそその発言なんだと思います。他の児童も大なり小なり授業にのめり込む瞬間とそうでない瞬間はあると思いますが、M児はより顕著で、私自身「なんで急にその発言につながるんだ!？」と驚きながら参観しておりました。このM児のマイペースに取り組む姿も、きっとY先生が昨年からの児童に対して「清々しい敗北感」を何度も覚えてきた結果なんだろうなと思います。改めて昨年度はとんでもないクラスでお世話になっていたんだなと感じました。今回も勉強させていただきました。ありがとうございました。

・子供の思考力を育てるための良い授業であると思った。

・児童が必要感をもちながら、現実の花壇と算数の世界での数を学ぼうとしている姿がとても魅力的でした。何より、机上の話だけにらずに実際のものを見てみたいと考える児童と、その児童の思いを大切にしている山崎先生のつくる世界が何より素敵な公開でした。

・指導案が「算数」という教科に寄せたものになってしまうことが、本時の学びを見て残念に思いました。算数の評価規準では測りきれない、児童の「実際に計ってみたい」という意欲からくる学びの実際を基に、附属松本学校園で考える3つの力を評価規準とした授業づくりを進めることが更なる魅力につながると感じました。

特に印象的だったのは、庭に出て、生き生きと活動する子ども達と子ども達とともに外に出て、子どもと対話する先生の姿でした。子ども達が「知りたい」と思い、行きたい場所に行き、実際に見て触れて調べられる環境。そしてその中に入っていく先生の存在。どれもが子ども達が興味を持って考える手立てになっていたと感じられました。また、子ども達の中に既習事項を積極的に使おうとする姿が見られたことも印象的でした。「算数」の授業の幅が広がりました。

・2西のにわの花壇にパンジーを植えることを題材にして、子どもたちが自分たちから外に出たい! 計りたい! と言って2西のにわに移動していく姿が印象的でした。学習に対して積極的で、計算をしながら学んでいるのに子どもたちの中では花壇に植えるにはどうしたらよいか? という別の目的で楽しんでいて日常に溶け込んでいると感じました。先生は子どもたちに合わせて外に出て座り、黒板ではなく画用紙に書き込んでいて、2西の子どもたちに合っていると思いました。先生との関係性もとても良くて、授業を授業に感じさせない言葉かけや活動を真似したいと思いました。

・かがくという概念を説明していただいた上で授業を見てみると、児童がいろいろな見方・考え方を使っていることを再確認できました。ただ、中学で理科しか教えてこなかった身からすると、私は他教科の見方・考え方をしっかりと理解していないので、子どもが理科以外の見方・考え方を働かせられるような意図的な仕込みが私には難しいと感じました。今回の授業を参観させていただき、今後の授業改善のヒントをいただくことができました。ありがとうございました。

・2年生の担任をしていることもあり、Y先生の授業をととても楽しみにしていました。実際に参観できて嬉しかったです。あたたかい声掛け、子どもたちとのやりとりに、私もこんなふうに子どもたちと関わっていききたいなと思いました。

・36個を端に詰めて植えたいTさんと、一つ一つの間隔を少しずつ空けて植えたいAさんがいました。他の子どもたちは二つの考えを聞いてどう考えるのか気になりました。「きれい」は、それぞれの感覚によるもので、根拠が説明しづらいからこそ、どう折り合いをつけて合意形成していくのか、ぜひ続きも参観したかったです。

・授業の最後で横にいくつ分入るかを全員で確認した場面では、全員で事実を共有して次時に向かうことの大切さを感じました。その1時間、様々に追究がなされていっても「このことは確かだよ」と共通して捉えた事実がひとつあると、次時も全体でつながって考えていけるのだと思いました。「この1時間でこれがわかった」があることは、子どもにとって自分の学びが積み重なっていることを実感できて自信になるだろうなとも思いました。

・子どもたちにとって、「パンジー」が二西のにわできれいに咲くように植えるのか、「二西のにわ」をパンジーできれいにするために植えるのか、どちらだろうと考えていました。きっとどちらもあるのだと思います。

・指導案にあった「他者意識」は、発達段階として2年生には難しいのかなと、自分のクラスの子どもたちを見て、そう思っていました。ただ、今回の指導案や紀要を読ませていただいて、自分たちが大切にお世話してきたパンジーを美しく咲かせたい、自分たちのにわをきれいにしたい、がまずあって、その先に全校のみんなに喜んでもらいたい、があるのだと思いました。他者意識はそれだけを育むことはできないということ、そしてまずは材に夢中になれるような環境をつくるのが大切なのだろうと考えました。

・自分のクラスでやってみたいことをいくつも気づかせていただきました。ありがとうございました。

・「縦に何個、横に何個置くといくつになる」という算数的な要素、「根っこがぶつからないように感覚を空けて配置すると良い」という理科的な要素、花壇を見る人に綺麗だと思ってもらいたい、という生活科的要素が合わさることで教科横断的な学習になっていて、とても参考になりました。3×14の答えで迷っている児童が多く見受けられ、2ケタ×1ケタの計算は今回初めて取り扱ったのか、それとも復習として取り扱ったのかが気になりました。

「42個植えられるけど、その植え方だと余ったところが綺麗じゃなくなっちゃうよ」とつぶやく児童の姿から、児童一人一人が「きれいな」という言葉を大切にしながら活動に参加していることが伝わってきました。

・花壇に花を植えるという活動の中に、花の植え方を知ること、花壇の大きさから掛け算の要素を感じることで、それを実際に操作することで身体知として感じるなど、1つの授業の中に様々ながくが含まれていて、とても面白いと思いました。また、先生が壁面に書かれていた経過は、子どもたちが学習面だけではなく、心の面でも豊かに育っていることを感じられる内容で、この学級で大事にされていることがよく見えたように思います。

《小3・くらし》

・子どもたちの藍染に向けた思い、誇りが伝わってくる姿で溢れていました。本時だけではできない、これまでの積み重ねが、子どもたちの中で価値ある経験になっているのだと思います。子どもたちに、あえて声をかけず、一人ひとりが集中した制作の時間を生み出してい

る担任の先生の姿勢も素敵でした。教師の出のあり方の参考にしていきます。ありがとうございました。

・私は本授業の対象児の隣の席のT・H児を見ていました。H児を通して授業を見ることで、3東さんの藍への思いが想像以上に深かったこと、その気持に対する池上先生の思いも垣間見ることができました。

H児は授業冒頭から膝の上で手を握って廊下の方をじっと見ていました。参観者が多いから緊張していたというのもあるかもしれませんが、間違いなく藍への思いがそうさせていたんだと思います。導入の先生と児童のやり取りの際も、廊下をじっと見つめていたりと言者の方をあまり見ている様子はありませんでした。ですが「カッターが動かなくなりそう。」という児童の発言に、先生が「それってだめなことなの？」と問いかけたことに対して、H児は瞬時に先生の方を向いて、笑顔で素早く首を横に振っていました。このH児の反応が印象に残っています。自身も緊張で、彫る前から体がこわばっていたH児。そんなH児だからこそ、緊張で手が動かないという発言に一番に反応し、「それが悪いことじゃない。」と自然な笑顔で反応したんだと感じました。いざ、彫る！という開始の場面でも、一度体をのけぞらせて、頷き、首をすくめるという本当に気合を入れている様子が伺えました。ただやはり最初は怖かったようで、頭を抱えたり周囲を伺う様子も見取れました。それでも一度彫り出すとほとんど顔を上げずに黙々と取り組んでおり、池上先生も言及されておりましたが、切り出したかけらをひとつひとつ丁寧に並べているのも藍への思いの現れだと、私自身感じながら眺めていました。彫る時間が終わると、急にスイッチがオフになったかのように手を椅子にあてて、ダラッとしたのも印象的でした。それだけ彫ることにすべての力を注いでいたんだと感じずに入られませんでした。

すべてのH児の行動を見た上で、再度座席表を見ると、「『あい』の型をほるときが一番きもちを込められると思うから」という記述があり、すべての彼女の行動・様子の原点を感じて勝手に感動していました。ここに到達するまでの過程を間近で見たかったと悔しくも思います。

また、児童の藍への気持に対する池上先生の思いも垣間見ることができました。私も常日頃口では「児童のために」と言い続けています。ですが今回池上先生の授業での様子を見ると、私が本当に「児童のために」授業をしていたのか疑問を抱かずに入られません。先生は児童の様子に満面の笑みを浮かべていたり、児童の彫り方を真似しているような様子もありました。それだけ児童を素直に尊敬しているからこそ出てくる行動だと思います。私は口先だけは一丁前ですが、つい最近の実践でそんな素振りを見せていたかといえば全くそんなことはありませんでした。今一度自身の子どもへの接し方・考え方を考える一時間になりました。

改めてになりますが、授業を参観させていただき本当にありがとうございました。勉強になりました。

・藍を子どもたちがとても大事にし、想いをもって取り組んでいることがわかりました。子どもたちが、声をかけなくても周りの掲示物を見ていると近くにいる子が「これはね」と語ってくれる姿に自分たちの活動に自信をもっていることが伝わってきました。

・藍染の型づくりに取り組む小学校3年生のひたむきさや技能の高さに感心しました。子どもを主体として進めていく学習展開や授業者の姿勢に学ぶものも大きかったです。特に導入時に授業者の先生と子どもとのやり取りで気持ちが高まっていく様子は見ごたえがありました。そのため、本時の主眼は導入時（前時まで）にすでに達成されているようにも見受け

られました。そうした時、本時の主眼は果たして何だったのだろうと考えました。失敗したくないという思いを実現する「知識・技能」を狙っていたらどのような展開になっていったのだろうかと考えていました。独自に編み出したカッターの切り方をしていたAさんの姿を共有するなど、さらにレベルの高い所を望んでもよかった気がします。また、終末の振り返りでは、「どうだった？」という問い掛け後、先生が問い返していましたが、本時の主眼に迫る振り返りは出てこなかったように思います。おそらく、本時周辺は制作に集中し、型が出来上がった段階で全体を振り返ると気持ちがさらに高まった状態で学んだことの意味や価値を自覚することもできると感じました。

・屋外での授業における安全上の注意点や、子ども達の「やりたい」という気持ちを生かした上で、どのように成長につなげるのか、ということを考えるきっかけとなりました。

・今回、彫る時間を公開されたことにハッとしました。その人の思考は言葉だけではなく、その人の行為に表れるものだと、改めて気づくことができました。対話とは子どもたちが活発に話し合っていることだけを指すのではないと、改めて強く感じました。授業の振り返りで、切り出した型紙のかけらの扱い方に着目されていた池上先生が本当に素敵だと思いました。不安がありながらも、でも誇りを持って藍染めに向かう子どもたちの姿には、そんなふうにも子どもの一つひとつの行為を丁寧に見ていらっしゃる池上先生の存在がとても大きいのだと思いました。型と自分の世界だけではなく、型に向かう友を感じながら自分の型に向き直る姿が印象的でした。Yさんは、カッターの刃を出しては、周りの友達を見て、しまい、もう一度出して、後ろのAさんが彫っているのをじっと見て、彫り始めました。Kさんも、時折、一息ついて友達の型を覗き込んで、また自分の型に戻っていきました。また、子どもたちのやりとりで印象深かったとのがありました。「和紙はとれてもいいの？」とHさん。Jくんや、Kさんとのやりとりもありましたが、「大事なものは型だから」と力強く、Yくんが言いました。その一言で、Hさんは型を彫るのに戻っていきました。「和紙は関係ないから大丈夫」ではなく「大事なものは型」という一言に、藍染めにかかる思いの強さを感じました。そして「藍のため」「三東の夢」と何度も指導案や子どもの言葉に出てきたこと。なぜそこまで藍に夢中になっていったのか、もっとお聞きしたくなりました。

・先生が藍に子どもたちを向き合わせるこれまでの手立ても、子どもたちの本気の気持ちもいいクラスを作り上げることができる要因であると考えました。

・子ども達が30分間、ひたすら型抜きに取り組んでいる姿が印象的でした。活動が始まる前の子ども達の語り、活動後の子ども達の表情から、「藍」へのただならぬ想いが感じられました。あの1時間だけでなく、そこに至るまでの過程が子ども達の姿から伝わってくる時間でした。

・材に没頭する児童の姿がありました。45分間材との対話をしているという印象を受けました。3東が昨年度から時間をかけて向き合ってきた「染め」、そして「藍」との出会い。45分でそのすべてが分かるわけではありませんが、教師も子どもとともに材にのめりこんできたからこそその姿であったと感じました。日々の実践の積み重ねが伝わってくるすてきな授業でした。指導に書かれている文言にも深い愛情を感じました。

・児童が手を震わせながら切り始める姿、切る途中で何度も型紙の状態を確認したり、息を吐きながら切り進めたりする姿から、真剣に材と向き合い、大切にしながら取り組んでいることをこの1時間から見て取ることができた。見ているこちらまで緊張してくるようなその姿は非常に印象的であった。児童の一つ一つの言葉、動きから思いが伝わってきたように思う。大人でもこれだけの時間細かい作業に集中し続けることは難しい。そのような活動へ児童が

熱心に取り組む姿から、子どもたちがそこまで真剣に取り組めるような活動はどれほどあるのだろうといったことや、自分は今後の実践の中でそのような授業を行うことが出来るのか考えさせられた。

《小4・総合》

・「羊で、自分のやってみたいことをやっている。羊で遊んでいる」子どもたちの姿を見せていただきました。まだ、羊のよさやこれから発見していく気付きを醸成していく段階だと思ったので、それでいいと感じています。その上で、田村先生が、羊の飼育を通して子どもにどんな資質・能力の育成を期待しているのかが気になりました。「命に向き合ってほしい」という、田村先生の思いは分かりました。では、子供にどんな力が付いたの？という部分です。そこが明らかになれば、領域の教科化でなぜ総合をやるのか。「高学年で羊を飼うことの意義や価値」を明らかにすることができないのではないかと感じました。子どもの学びを支える田村先生の姿勢はとても好感がもてましたので、今後の研究に期待しております。

・4年生の総合、飼育活動をどのように展開したら良いのか、考える機会をいただきました。私は、羊毛の製品ありきではなく、2匹の羊と存分に過ごしたからこそ、羊から何かをいただきたい、思い出を共有するため等、羊の体の一部を頂く、そこから命についても考えるきっかけとなり得るかもしれないと感じました。

・M君の姿で印象的だったことは、四つん這いになってガラスを探す姿でした。地面から30cmくらいまで顔を近づけてガラスなどの危険物を探していました。羊の安全のために、黙々とガラスを拾う姿に感動しました。

友達との関わりが穏やかで落ち着いていて見ていて心地よかったです。男子4人でガラスを探していましたが、友達が見つけると自分のことのように喜んでいました。友達と喜びを分かち合える関係が素敵でした。最後の振り返りでも賢者の石のことを発言しており、充実した時間だったのだなと感じました。

羊が鳴いていないのが印象的でした。羊がやってほしいことを子どもたちがやっているのか、子どもたちが本当に優しいのか、信頼関係が育まれているのかなと感じました。（本校の羊はいつも鳴いています）45分間、羊のために環境を整えられるM君の姿から、たくましさや心の豊かさを感じさせてもらいました。

・幼稚園の研究発表にあったことを重ねて考えました。その子の願いから行動を予想し、環境をつくるということについてです。Nさんは、誤った食べ物を羊に与えないよう、「これなら食べられますよ」が誰でも分かる餌箱を作っていました。その姿から、長さを揃えたい、直角にしたいといったこだわりを感じました。真っ直ぐかと立ち止まる場面がありましたが、その判断は感覚的であったように見えました。ここに曲尺があれば、Nさんはより納得して活動を進めるのではないかと考えました。また、友への根拠を伴ったかかわりが促進されるようにも思えました。

また、のこぎりで切り揃えたいNさんですが、しばしば地面の上に直に木材をおき、面を切ろうとする姿がありました。ここにコンテナボックスのような木材を置ける箱があれば、より切りやすくなるだろうと思いました。それは、のこぎりを使うということについて、どこで切るか、どう切るかといった、そのものの価値を活かす使い方について感じることや、その道具に合った使い方があり、それを考えながら使うことのよさを理解することにもつながるかと考えました。共に活動することのあったHさんが、「ここで切っていいかな？」と言って、すでに自分たちがつくった餌箱の上に木を置いて切ろうとしていました。こんな友の

姿も追究を位置付ける材になりそうだなと考えました。Nさんは、一人で作りきりたいように見えてましたが、「おさえて」と、そこに他者の力を求めることがありました。「やめて」と制すこともありました。それにもかかわらず、友が釘を打ち失敗するといった思い通りにならない他者と向き合わざるをえない場面もありました。社会性を学んでいるのだということも感じました。

・自分のステレオタイプの考え方になってしまうのですが、私が児童だったら黒い羊は一般的な白い羊を連想したときに変だなと最初思ってしまうなと思ってしまいました。児童たちが迎え入れる段階でもしこのような違和感を持っていてそれを克服しているのなら恐縮なのですが、もしそうではないのであれば仲良くなってきたからこそこの違和感を提示することで児童が新たな視点を持つきっかけになると考えました。

・田村先生の羊たちにかける熱い想いがよく伝わりました。その大切な羊たちを子どもたちに託すには相当の勇気と覚悟が必要かと思います。ご自身で何でもやってしまった方が早いし確実です。それでも子どもたちを信じて委ねるという田村先生の想いに、子どもたちへの絶対的な信頼と深い愛情を感じました。自分にもこのような学級経営ができるといいなあと羨ましく思いました。

・指導案から対象児と向き合う田村先生の愛を感じました。対象児Aさんの様子を1時間見させていただきました。Aさんが、一番笑顔になった場面がありました。それは、Aさんがねじを回す活動に田村先生が寄り添っている場面の中にありました。対象（ねじ）に向かって二人が横並びになり、ぴたっと寄り添いながら活動しているときに、ふと、こちらに顔を向けた瞬間に、この授業の中で一番の笑顔を見ることができました。（私が見ている範囲で…）

Aさんは、その後の活動の中で、長い釘は、自分で打つが、短い釘に一度挑戦するがうまくできず、うすい板にアクリル板を打ち付ける作業はすべてMさんに託していました。新しいアクリル板を持ってくる仕事は、全てAさんが行っていました。アクリル板についているフィルムのはがし方は、わりと乱暴な感じでフィルムを取り、取ったフィルムは無造作に丸めその辺のポイッと投げ捨てているような感じでした。アクリル板についたゴミはわりと丁寧に取ろうとしていました。アクリル板が壁の曲がり角ではみ出すので、切らなければならなくなりました。カッターナイフで切る作業は、ためらいなく大胆に力強くカッターを扱う姿があった。活動開始からブルーシートを外す作業も、ひもをほどくのでなく、カッターナイフでどんどんと紐を切っていく姿がありました。作業中、前半はカッターナイフをアクリル板を打ち付ける時には金づちを、持ち歩いている時間が多かったです。刃物や金づちなどの道具をなかなか手放さない様子から、家庭生活などの中で心理的に不安を抱えて生きている子どもなのかなと推察してみました。アクリル板を打ち付ける作業にずっと取り組む粘り強さはあるものの、自分で無理と思ったこと（小さな釘打ち）は諦めがはやかったり、いらぬもの（はがしたフィルム）へは執着しない感じなど、アンバランスさを感じる部分があった。Mさんにすぐに任せたり、「たむちやって」と甘えてみたり、自分の弱さを担任や友達に出すことができているように感じました。Aさんにとっての安心感がこの活動の中にはあるのではないのでしょうか。それは指導案の中の「安心させるために、やっていたことが自分勝手なことだったのかなと思う」という気づきにつながっているのではないかと思います。人は自分がされたようにするミラーニューロンの働きを思う時に、自分の親や前の担任は好きではあるが、その愛が時に自分勝手に感じてしまうようなことを無自覚的に感じていて、羊との出会いの中でそれが表出してきたと考えられないかと考えてみました。いろいろ

な角度から、子どもの事実の解釈をしてみることで、教師の子どもの見る目も育ってくると思います。いつか、田村先生とじっくりAさんについて語り合いたいなあと思いました。子どもも教師の響き合いを1時間の授業の中でたくさん見せてもらい、大いに刺激を頂きました。ありがとうございました。

最後のまとめについて…個々に活動した後、お互いの意見を聞き合う時には、ちゃんと聞き合う場を設定した方がよいと思います。しっかり車座になり、発言者がちゃんと見えるような場で、子ども同士の対話をするように常日頃からされるとよいと思います。他の人の活動について意見をしたり、意見をもらったりすることで、自分自身の活動を見返し、問い直していく貴重な時間になると思います。

・田村先生が子どもにとことん寄り添って進めている様子が伝わって来ました。普段から一人一人に子どもを大事にしていることがわかりました。小屋づくりに向けて子どもとしっかり打ち合わせているので、準備がしっかりしていました。アクリル板の大きさや厚さ、アクリルカッターなど事前の教材研究の深さに感動しました。素晴らしい子どもたちが育っていると思いました。ありがとうございました。

・今、どの学校でも探究的な学びに力をいれつつあると思いますが、そこで感じるのが、子どもの学習段階（実感）と教師の次の一手のタイミングが一致するかどうかという点です。子どもたちはまだ、羊とかかわり、自分にできることをとことん試す段階です。命の学習にはまだ遠いです。次、例えば理科的な意味で羊のことを知ろうと思うのは、本当に自分のやっている活動が羊のためになっているか疑問に感じたときです。教科の総合化は教師のタイミングの見極めが非常に大切だなと思いました。

・中学校では教科担任が前に出ればその教科の見方考え方がオートに働いてしまう分、小学校という担任の先生がすべてを行う中では、このようなタイミングがますます大事だと思います。それに気付かされた1時間となりました。

・AさんとMさんを見ていました。田村先生にとって、常に心の中から離れない2人だったのだろうと拝察しました。彼女らは授業開始早々から、片原先生を探していました。その後も建物の窓辺を中心に見回していました。担任からすれば、胸中穏やかではなかったと思いますが、それでも手も目も心も離さずに、絶妙なバランス感覚で彼女らと関わっている田村先生のお人柄に惚れました。心の中では思っていたとしても、決して「羊に集中しろよ」「今は4東の時間だ」等と、彼女らの気持ちを強制的に方向付けることはしていませんでした。それってどうしてだろうなと聞きたくなりました。彼女らの気持ちを尊重しているからでしょうか。なかなかできるものではないと思うからこそ、私にとって強烈に印象深いシーンとなっています。辛辣な言葉を言い放ちながらも、それでも金槌を持てば、瞬間的に良いものに仕上げようとするスイッチが入っているように見えました。彼女らは、今まさに葛藤しているのではないのでしょうか。自分の心の中のモヤモヤと闘い、彼女らもどうして良いのか分からずに八つ当たりしている部分があるかもしれません。担任としては、そのような姿にふれることが辛いはずですが、過渡期であり、きっと田村先生の現在の穏やかな関わりが今後好転していくと信じています。

・教師が子どものやっていることに手を出さない、手を貸さないこと、それを一貫している姿勢に感心しました。かといって放任しているわけでもなく、気になることは「それだとまた穴空いちゃうんじゃない？～さん、今言ったことってどういうこと？」とその子どもの立ち止まりを促したり、他の友とつなげたりして、支援していく。素晴らしいなあと思いました。併せて、一人ひとりの子どもの思いや願い、問いをはじめ、前時までの姿を確かに頭の

中に入れている。その1時間の中で子どもにこうなってほしいという教師の願いを具体的にもっていることも素晴らしいなあと思いました。非常に学び多き1時間を過ごすことができました。

・生き物を迎えて「安心して暮らせるように」という目標をもとに子どもたちが自分のやりたいことをやる時間で教師は呼ばれたり、危険なことのみ協力している姿がとても印象に残りました。活動する時間を多くとるための工夫が多かったと感じました。また先生が子どもたちの振り返りの内容を覚えていて的確にスムーズに指名していたことに驚きました。

・当日は4年生の総合の時間を参観させていただきました。特に印象に残っていることは、数名の児童と田村先生のとあるやり取りです。児童が「先生、ボールに葉っぱを押し固めて、上にクローバーをのせて、羊のプレゼントにしたいんだけど、どう？」といった発言をしていました。（途中聞こえなかった点もあり、少しあいまいな部分あります）それに対して田村先生が「良いね！それ他の時間にやってみよう！」「何でそれ思いついたの？」と答えていました。このやり取りが私はとても印象に残っています。学習活動ばかりを優先する教師であれば、「そんなことは良いから作業をしなさい」と答えてしまうと思われます。ですが田村先生は、児童のひらめきを大切にし、さらに、どのような過程を経てその案を思いついたのかを児童に聞いていて、子どもと教師の信頼関係の強さを感じ取ることができました。「（ケーキ作りのこと）帰りの会でみんなに言おう！」と嬉しそうに言う児童の姿も、とても温かいものを感じました。羊を思いやる生命尊重の姿も見ることができて、とても完成された総合的な学習の時間だと私は思いました。田村先生の、児童のつぶやきや、真剣に活動に取り組む態度を大切にする姿を、私も参考にしようと思います。

《小6・技術》

・タブレットをフル活用した授業で、特に導入場面での今日何をやるか確認をしているところは、スプレッドシート、ジャムボードの共有が子どもたちのその後の活動につながる大切なものでした。とても参考になりました。

・私が見ていたHさんは、友達のアドバイスをどう活かすか考え、付箋を書き直し、今日やることを整理していました。実際にプログラムを作る際は、ネット検索だけでなく、本を頼りに自分の作りたいプログラムの雛形を見つけ、自分なりのものに作り変えていく姿がありました。振り返りには、自分のオリジナリティが出せてきたこと、隣の子に聞かなくても解決できたことを書いていました。研究会の中で教師の支援のあり方について話題になりましたが、Hさんにとっては、インターネット検索だけでなく、解決の手立てとして本があること、すぐに聞ける友が隣にいること、そうした自己選択できる環境があることが大切な支援になっていたと思います。そして、その選択の中に「先生に聞く」もあるのだと思います。

・教師の立ち位置、役割については私もいつも「これでよいのか…」と迷います。子どものニーズ・願いに寄りそうこと、身につけたい資質能力をつけるための声かけや支援をすることのバランスを大切にしていきたいものです。

・スクラッチを学びの目的ではなく、相手に喜んでもらうための手段になっていることが子どもの様子から感じてすごいと思った。また、本時に自分がやりたいこと、この時間にどのくらい達成できて、次回はどこに取り組みたいと思っているのか、明確に文章表現できていることにも驚かされた。導入場面での本時の活動への見通しの場面でも、既に「これは次回」「これは今日」というように自分で整理しながら進めることができている点で子どもたちについている資質や能力を見てとることができた。

・子どもによって協働学習がどういうものか学んでいくところにまだまだ伸びしろがありそうだった。学び方を学んでいるという視点で学習を捉えていく重要性に気付かされた授業だった。

・研究会でもお話した通り、ピラミッドのタスクマネジメントをして、1時間の見通しを持つことができる、児童自身できること、全ての教科に通じて、つけたい力の1つだと思いました。

・Kさんはピラミッドの思考ツールを使い、一番上から課題を解決しようと思いましたが、自分で解決策が見つけれなかった。隣の友達も解決策が見つからなかったときに、課題を変え、自分で検索して課題を解決しようと課題の調整を行っていました。その後、自分の解決した課題について工夫したこととして「描くゲーム」として制作していきました。制作の場면을授業でじっくり扱うことで、解けない課題は今後に関し、今できることから一つずつ解決していく姿に制作の場면을扱いよりよいものを創っていく過程に学びがたくさんあることを感じました。

・子どもが探究のプロセスを自覚的に回していったほしいというO先生の願いと、それを思考ツールを用いた整理・可視化による課題設定や学び方の選択・振り返り等、具体的手段を通して子どもと実現してきた粘り強く一貫したこれまでの歩みを感じた時間でした。

・Tさんは、地面(ブロック)を通り抜けるバグの修正を最優先と決め、自身で解決できないことから、Sさんに助けを求め、結果、解決できました。振り返りには、Sさんに聞いて解決できたということが書かれていました。解決の手段として自覚してSさんにアプローチしていたと言えるのではないかと思います。また、背景設定の場面では、ペアの1年生のインタビューメモを見返していました。それについても、できたこととして振り返っていました。無自覚ではなく、それがよいと考え、自覚的に情報を活用していたと分かります。「今やるべきことは何なのか、アドバイスをもらったことをピラミッドで優先順位をつけて決めることができた」とも書いていました。O先生が願っていることがTさんの姿にも表れていたように思います。Tさんは、Sさんに助けてもらっている時、Sさんのプログラムから音楽をつけるという新たな課題を見いだしていました。授業後には、プログラムに対するSさんのリアクションをもとにジャンプ力を調整していました。他者の考えから自己の歩みを決める出していくTさんの姿に、思いがけないこともあろう1年生のリアクションを受けた後の追究の可能性を期待しました。他者の反応をもとに自己決定していける自己への気づきから、自身の生き方を考えていくこともありうるのかなと考えました。”

・O先生らしさを貫いた授業だったと思いました。借り物ではない「O先生だからこそ」の授業だからこそ、価値があるはずです。

・タイピングの技術をはじめ、日々の積み重ねがスマートに使いこなすレベルにまで引き上げているのだと思うと、徹底されたご指導があったのだろうと思います。私にとって、初見では決してついていけない、目で追うことも理解することもままならない状況が多々ありましたが、ほとんどの子どもたちが当たり前のように取り組んでいました。この先、どのような未来が待っているのか期待したくなりました。

・Rさんの画面には、ダメージを与える二等辺三角形のトゲが用意されており、彼女の内面とトゲの使用が合致していたように思いました。

・SさんとAさんは、昔からの阿吽の呼吸といった様子が見られました。心許せる関係だからこそ、あのような場においても通常運行できたのだと思いました。

・0さんは、画面を行ったり来たりしていました。今日やる事と私がやりたい事と今の状況を整理するために、納得するまで見切り発車することをしませんでした。相変わらず、芯の強いお子さんだと思いました。

・私が担任をしてから2年半が経っていますが、変わらぬ姿として表出されているものだとつくづく思いました。「Rさんだからトゲを使うだろう」「SさんとAさんだから協働的に学ぶ姿を示してくれるだろう」「Hさんだから本質を探りながら進めていこう」等といった児童理解が授業の質をさらに向上させるものとなるのだろうと考えてしまいました。

・“この子だからこそ”を支える指導・支援にはそのような要素が含まれているような気がしました。

・6年生の子どもたちがこれだけ自分たちでタブレットを使いこなして、プログラミングを行っていることに驚きました。1年生にどれだけ思いがよっているのかなと思っていましたが、授業研究会の中でのお話で、しっかりと1年生に思いを寄せて考えていたことがわかったのと同時に、1年生の楽しめるものになっているかということまで考える必要があったときの手立てが今度必要になるのかなと思いました。

・ICTを活用している授業形態から大変学ばせていただきました。子ども達のICT活用技能も高いだけでなく、振り返りの仕方からメタ認知能力の高さがうかがえました。本時だけだと、相手意識がどこまであったか見取り切れなかったのが、今後ゲームが完成して、1年生のペアに操作してもらった後、子ども達がどう改善していくのか見てみたいと思いました。

・自分が想像していたよりもはるかに高いレベルのプログラミングが行われていたことに何よりも衝撃を受けた。授業ではそれぞれが「あの子」を意識しながら活動に取り組んでいたが、自分の作りたいものという理想に加えて相手意識が含まれているからこそ、何度も試行錯誤し、友達同士でアドバイスをしあい、より高いレベルのものへと改良が行われて行くのだと思う。また、改良のためにどうすれば現在の問題が解決できるのか、自分よりも詳しい友達に頼ったり、一緒になって考えることでより深い学びへ繋がっているのだろうと感じた。さらに、冒頭で「優先順位をどうするのか」という声掛けがあったことも、児童が活動しやすくなる要素だったのではないかと考える。事前の声掛けを踏まえ、手当たり次第取り組むのではなく、何からどう取り組むのかを論理的に考えながら取り組んでいるように見えた。

《中1・社会》

・生徒が自立して学んできている様子が伺えた。子どもたちがどのような思いや願い、問いから本時にいたっていたのか、子どもたちは何を目指し、どう向き合っていたのか、はっきりしなかった。教師に付度していなかったか、着目したい視点は何だったか、考えてみたい。

・あまり焦点化せずに広い課題で取り組んでいく方向性だとは思いますが、導入時に取り上げた生徒の発言と学習課題との関連性があまり見えず、その後の追求では、様々なものと関連付けて考察を深めている生徒とそうでない生徒の差が大きかったように感じました。

・共に使命として教育実習を担う学校です。「学習問題」「学習課題」の意味と価値、また設定の在り方について共通理解が必要だと感じました。

《中 1・体育》

・アルティメットの教材としての価値として「空間に走り込む動きが生じやすくなる」と考えていることに共感した。そうであるならば、そのことを強調した単元展開・授業展開でもよかったようにも感じる。授業の中で子どもたちは、人へのパスを意識していたように感じる。もっと、空間へパスを出すこと、空間に走り込んでパスを受けることを意図的に行うことを単元序盤から狙ってもよかったようにも感じる。

・「ICTの活用により、より子どもそれぞれの思いや願い、問いを捉え、授業や単元にいかしていける」ということの具体を見せていただいたように思います。教師がやらせたいことを効率的にやらせるためのICTの活用になってはいけないと思います。また、授業者の佐々木先生が、子どもの学びや思考や困り感を的確に捉えて、啐啄同時の支援をしていたことが印象的です。

・教師の出がほとんどないことに驚きを感じましたが、生徒の学びを支える視点を大切にしているとわかりました。教材研究やICTの活用法について、今後の自分の授業に生かしていきたいです。

・アルティメットという教材のよさを感じました。私自身授業として取り上げるのが難しいと感じているゴール型ですが、技能や性別に関係なく夢中になって動いている生徒たちから教材の魅力を感じました。

《中 1・英語》

・外国語教育における見方考え方を働かせるということと、全体研究である教科の総合化、コンピテンシーベースでのつながりを考えた際、このユニットゴールは大変よい材だと感じた一方、この授業スタイルではその材を活かしきれず、言語活動の高度化ははかれないと正直感じました。英語で大切なのは、目的・場面・状況を明確にし、やり取りを通して、やり取りの中で見方考え方を働かせ相手に伝えることですので、まずは1対1、個から始まり個に還る授業を目指すべきだと考えます。教師の役割は場を提供することではなく、こちらからお題や視点を与えるのではなく、ファシリテーターであり、時には見本となり、時には質問し、時にはリスナーになります。そしてクラス全体をコントロールします。生徒が、本物の言語活動ができるような研究を今後も一緒に続けましょう。ちなみに、本年度、長野小中では、小中連携して一緒に指導案を作り、小5～中3の同スタイル授業の定着をはかっています。ぜひ、これを機会に、長野中、松本中の連携を酒井先生のもとスタートできればと思います。ご連絡ください。今後ともよろしくお願いします。今日はありがとうございました。

・コミュニケーションの基盤として、相手の文化や背景へのまなざしをもつということは、外国の方との交流においても、同じ日本人同士の交流においても大切なことだと感じました。御校が重点としている「教科等横断」の一つの視点にもなるのではないかと思います。多くの日本人が知っている戦国大名3名をクイズの選択肢にした生徒に対して、宮坂先生が「Who is this?」と問いかけることで、生徒は自分たちの前提を見つめ直し、相手の文化や背景をまなざす姿がありました。当たり前のことですが、自分たちの前提を見つめ直したり編み直したりするためには、前提を異にする人の意見や見方と出会うことが大事なのだと思いました。

・私自身も英語科教師として、日々の授業の中で生徒の主体的な学びをしていくためにどのような仕掛けができるのだろうか、目的や場面、状況等を明確にするためにはどうすればい

いのかということを考えながら日々教材研究等しています。今回の授業、単元では信大の留学生という英語を使うための目的や場面、状況等が明確になっていました。その中で、単元を通していくうちにその単元の目標に立ち返る瞬間を作ること、今回の授業でも留学生という相手意識を視点にクイズなり、プレゼンなりにつながっていくのかなと感じました。英語の授業における教科の総合化は内容ベースであればどうにでもなるかと思いますが、能力ベースだと難しさもあるなとも感じました。

- ・留学生が定期的にいるという状況を上手に目的・場面・状況をつくっていた点が参考になりました。

原稿を読むだけで、言語活動とは言えないのかと思いました。「なんで、インドネシアのふりかけに似てる、アボンを発表に入れたの？」（→そうした方が、インドネシアの人はイメージしやすい、うまく伝えられそうだからと問い返すことが、その手法を使う価値を全員が確認）

- ・言語活動における目的、場面、状況の設定がやはり大切なのだと思いました。本時、留学生に向けての練習の1時間であったと思います。しかし、留学生にはなりきれない・・・ここにコミュニケーションによる見方・考えたが働くと思います。そのためには、留学生のことを知らない、知ろうとしないといけない、その気持ちを作っていくのが難しいのだろうと感じました。実際に見ていた生徒はスライドにこだわりももっていました。教師の思いとはやや違うところにいたかと思います。その子が今後「留学生」ではなく「～さん」と出会ったときどのように変わっていくのか楽しみです。

《中2・理科》

- ・LEDランタンを使った調光の授業、とても勉強になりました。基盤の回路の繋がりが見やすいと生徒は考えやすかったです。また、班や個人探究で何を調べていて、どのような結果が出ていたのか知りたかったです。課題を焦点かしてもらえると、さらに盛り上がる場面が見られたかと思います。ありがとうございました。

- ・事象や事物へのアプローチの仕方は子ども自身の判断だと思いますが、そのための条件制御は教師がある程度しつらえてあげた方がよいかと思います。すべてを生徒に考えさせることは厳しいです。自分も経験がありますが何でも生徒主体でと捉えることは集約が難しくなってしまうので、ファシリテーターとしての関わりが必要ではないでしょうか。先生方もう少しファシリテーターとしての役割を担ってもよいかなと思います。生徒のつぶやきをつないでいく役割かな・・・教材としては、よいものを選択していると思います。その上で、先生方がその教材をどの程度まで研究してどんな予想を生徒がするのかをもう少し協議した上での探究にしていくとさらによいと思います。教材をよく見られなかったのになんともいえませんが、何が抵抗の値を変化させているのか？電流が変わるのはあくまでも抵抗の値が変わるからであって、そこの部分を生徒が理解していると、抵抗の変化をどのような仕組みで変化させているのかさらに探求していくことができるのかと思います。面積？断面積？塗料？そもそもそれらを変えると電流の値は比例になるのか？そこが技術との総合化になると思います。ICTの活用についても、共有ファイルになっているのであれば、もっと活用できたかなと思います。

- ・研究会の時に短時間ではありましたが、教材に触れさせてもらいました。私が一番心惹かれたのは、銅板と抵抗の接地面の造りでした。なぜあそこまで精巧に作っているんだろう？というのが、純粋な問いです。また、明るさを変えている抵抗の作りにも興味をもちまし

た。材質は？塗料の皮膜のような物があるけど厚みは？あの小さなスイッチの中である程度の抵抗差を生み出す工夫は？といったところかな、と思います。教科横断を研究の柱にしているので、グラフを数値化するから数学で比例では、少し心許ない気がします。それはエネルギー領域の量的関係的を脱していないレベルではないでしょうか。他教科、特に今回は、実際の製品を扱っての授業を構成しているので、技術科の見方考え方を働かせて学んでもらえればいいと考えるのが自然です。その時、変数が二個以上ある材でなければ、最適化、安全面、環境面、経済面といった総合的に判断する、学びが保障されないのではないかと思います。ものづくりに活かされている科学の原理、原則やなぜモノづくり技術者がこのような選択をしたのか、が教科における社会参画力のように感じます。そこを生徒が解明していくような理科の授業を目指すには、どのような材で、単元構成すればよいのか、改めて勉強する機会をいただきました。とてもよい刺激をいただきました。本当にお疲れ様でした。

・単元通しての題材であるランタンの可変抵抗が非常に魅力的な教材だと感じました。普段、セメント抵抗だけで終わってしまい、発展していかない中で、今回紹介していただいた材は、生徒も疑問を持ちやすく、深めていくのに価値のあるものだと感じました。

・可変抵抗という教材に可能性と魅力を感じた。物理分野の量的・関係的な見方をはたらかせて追求できる材であるが、その視点に生徒が立つためには個々の探究を大切にしつつも、視点を共有しガイドラインを示す必要性があると考えた。

・比較的安価で生徒が生活で利用されている実物を使って学習を進められる教材開発が素晴らしいと思いました。また、グループごとの探究が常日頃から大切にされているからこそ、うまくいったグループ、そうでなかったグループともに探究のサイクルを止めることなく授業に取り組めていたのだと実感しました。ただ、今回の授業に関しては、他教科の見方・考え方を従来以上に活用していたかと言われると？です。実験を繰り返す場面は見応えがありますが、分析・解釈の場面ですと、より他教科の見方・考え方をつかっていけるように思いました。この度は貴重な実践を発表していただき、ありがとうございました。

・自由進度学習や学習の個性化等に対する自分の理解があまりないのも原因だと思いますが、実験の見通しをもつための導入での一部分と、終わりの前の言葉以外、授業を通して教師の出がなかったように思いました。机間指導で見つけた生徒の考えを共有して中間指導をするなどすれば主眼達成のために良かったのではないかと思います。教師は主に「場」を設定しただけに思いました。回路も始めから作って机上に置いておいたり、回路の作り方だけでも、中間共有が必要だと思います。（見ていた班では、回路作れず悩んでいたため。）

・オームの法則を学習している子どもたちは、スイッチの中に「抵抗を操作する何かがある」という予想しながら追究している姿がありました。班によって進度は異なり、さらに班の中でも理解の仕方が異なるので、それらを支援していくのは大変ですが、抵抗の仕組みの共通理解のひとつが、「なめらかに」という言葉なのだと思います。スイッチを解体し、中のつくりを観察している子どもたちは、ハンダ付けされた方と、へこみのある金属板のある方のどちらに着目するかで、見通しをもって考えているかどうかの子どもを見る教師の捉えが変わってくると思います。扇風機のように弱・中・強というような区切りで明るさが変わっているわけではなかったLEDランタンの調光を、レベル1、2、3というような言い方をしている班もあり、その子どもたちは、ハンダがついたつくりを見たことで、「なめらか」という最初の設定が抜け落ちてしまったのだと思います。Kさんのような追究の仕方が見通しをもって科学的に抵抗を捉えている姿だと教師が求めているのであれば、「なめらか」という考えが抜け落ちている班や、スイッチのつくりを見て、そうないような支援が必

要になるだろう感じました。ハンダの方を考えている子どもも、いずれ躓きを感じ、色々手を動かしているうちに、電流が流れる金属の面積（距離）によって変わっているのかもしれないという発想が出て、そちらにシフトしていくことになるだろうと考えられます。一方で、追究の時間、解体できるLEDライトの数に制限があることを考えると、スイッチの中にある「なめらかに変わる抵抗の仕組み」が、どのようなつくりであれば、追究の中で、どうすればそれを実現できるかを話し合う時間も必要だろうと感じました。

《中3・音楽》

・指揮をしていた生徒の凄さに圧倒されました。意見を求め、出された意見を必ず「なるほど」と受け止める姿は見習わなければならないと思いました。また人任せにせずより良い合唱になるために真剣に話し合う生徒たちの素晴らしさに感動しました。K先生もじっくり聞いて要所要所での指導が効果的だと思いました。待つことの大切さを教えていただきました。最後に男子生徒が「次の時間もこれができますか？」と聞いている姿からも生徒たちにとっても大事な時間なのだろうなと感じました。生徒たちだけでなく、参観者たちも心温まる時間だったと思います。この時間を共有できて幸せでした。ありがとうございました。

・“先生が生徒を主体として授業を作り上げようとしている意識が見られました。個人的には、もう少し、先生が持ち得ている技能や知識を生徒に見せてもよかったかなと思います。特に、「〇〇のようにしたい」という発言があったときに、生徒に対して、「そんな意見が出てきたけど、どんな感じか考えてみて」と言った場面がありましたが、そこはもう少し歌い方を先生が例示をしたり、発言した生徒に実演してもらったり、イメージを歌声で表現する手法を歌で表せる場面があってよかったかなと思いました。一部の生徒がわかったと言っているようでしたが、全体が歌い方をどうすればいいのか迷っている感じを受けました。気持ちを込めるというだけでよいのか……。いろいろな背景や各自のイメージが共有できるような工夫があったらよかったかなと思います。D組らしい合唱であるのならば、悲しい感じなら「実習生とお別れしたときのイメージ」とか「クラスマッチで残念ながら1位をとれなかったとき」など、クラスでみんなが共有できる場면을提示できるとよいのかなと思います。そうすれば、1つの言葉にそれぞれの思いがのってもまとまった歌声になるのではと思います。

・クラス合唱の追求として、生徒が進めていく姿はよいと思いました。ただ、音楽の授業の時間としてはその時間で何か音楽的な視点や技能を生徒が獲得できるものになるようにしていく方がよいかと思いました。

《中3・総合》

・「正解のない問い」を突き付けられた生徒の、迷う姿がとても印象深かったです。この、授業のクライマックスの「君たちに覚悟はあるのか」と投げかけられた言葉は、教師が意図的に引き出したものか、教師自身も突き付けられた言葉なのかどうかは気になりました。前者であっても、後者であってもいいのですが、それぞれに価値がある気がしています。その部分を詳しく聞いてみたかったです。ただ、湯本先生の姿を見て、教師が共同探究者である価値に気付かされました。この後、岐路に立たされた子どもたちの隣に立って、教師が何をまなざしていくのがとても興味があります。その解答期限がこの4か月ではない気がしているので、卒業後も「私はどうする？」を悩み続けてほしいと感じました。

・外部の方をたくさん招待し、生徒が真剣に提案したり、考えたりしている姿、とてもすばらしかったです。自分たちの地域にある井戸を今後どうしていくべきか、未来をたくましく切り拓いていく生徒の一端を見させていただきました。また、自分の地区なら何を取り上げ、どうしていくべきか、考えるきっかけをいただきました。とても参考になりました。ありがとうございました。

・学級総合最終盤で、「真の自分事」になっていたか、「覚悟」ができているかが問われた一時間であったように感じた。子どもたちも参観した私たちも、総合的な学習の時間の授業内であったことが、すでに授業の枠を越えて、地域や行政を動かす段階に来ていることを目の当たりにしたとを感じる。総合的な学習の時間で社会とのつながりが強くなればなるほど、授業の枠では収まりきらなくなっていくように感じた。

・生徒たちの本気が問われる、大切な場面に出会えた。地域と関わるということはどういうことか、大人自身も問われているように思う。問いが連続する中で、生徒に育成されてきた資質能力を明らかにし、研発の成果として評価して行くことが大切だと思う

・生徒が自分ごととして考える授業。大変参考になりました。今回の授業で改めて生徒が感じたであろうボランティアとは？地域を守るとは？お金をいただくというのは、何を意味するのか？総合的な学習の時間の学びに終わりなし！改めて感じさせていただきました。ありがとうございました。

・「持続可能」というワードの本質を突き付けられた場面は、こちらも固唾をのみました。文科の方もおっしゃっていましたが、このような本質と出会ったり、本質に迫ったりすることの繰り返しの中で、子どもは必要となる資質・能力を獲得していくのだと感じました。また、社会科の学びを総合の学びと関わって単元構想を練ることが、育みたい生徒の資質・能力、そしてその獲得をより一層加速させていくのだと思いました。本質に迫って鋭くなった、困って流れたりする子どもの眼差しが特に印象に残っています。

・題材設定、環境設定の大切さを感じました。現実を突きつけられ、揺さぶられる生徒の姿から今後どのように学びがさらに深まるのか楽しみになりました。

・様々な立場の方と協働することで、社会の現実や課題を知り、答えのない問いの解決に向かっていく、そんな学びがスタートしていく場面を見ることができ、是非参考にしたいと感じました。

・行政、地域、有識者という多面的な考えを聞くことができる場の設定を通して、生徒が学びを振り返り、客観的に見直し、そして考えを更新していく可能性を感じました。このような有効な場は、題材の中で繰り返し設定していく必要があるとも感じました。やはり、この場で学んだことや出てきた課題については、解決に向かっていきたいと思うだろうし、そのサイクルを回すことで課題を単に解決しただけではなく、よりよく解決していくことができた実感につながると思います。Tさんの振り返りで、「～協力したいという気持ちが出てくるのが分かった。」とか「～皆に井戸を利用する頻度を増やしてもらったりしてから～」という振り返りだったのは、まだ自分事して主体的に行動していこうとする実践意欲までは行っていないように見てとれました。そんなTさんにとっても、さらにサイクルが回っていくと実践意欲の高まりまで見られるのではないかと感じました（3年生進路を抱えている時期でここからの展開は難しいのは重々理解しておりますので、題材の振り返り方を一工夫すればよいとも思いました）。

・立場の異なる専門家のパネルディスカッションの場面設定が、生徒の主体性と「自分事」としての問いに繋がる大きな手立てになっていた。一方で、学級総合として行っているため

に、個々の追究が見えにくく、質問や感想を発表をする姿からは一人一人の深まりについて見取るのが難しかった。

・総合の探究活動が生徒たちの生活の中に位置付いており、自分事として考えている点に感銘を受けました。探究のサイクルが回る勢いの違いに驚かされました。

・総合として、3年間の集大成のようなものを見ることができた。生徒らが自分で考え学ぶことの結果の一つを見ることができたと感じる。

・鯛萬の井戸のこれからについて、資金集めをすることを考え提案としたチームに対して、行政の方たちからは3つ△がつけました。中学生が頑張って考えたことだからと、忖度せず評価されたことが実社会のリアルを実感できとても価値があるものになったと思います。そうなることを見越していたという授業者の先生のお考えを聞き、そこまでの授業準備の素晴らしさを感じました。できればこの授業で行政の方たちに言われたことを受けて、生徒がその後どのような話合をしていったのか知りたいです。

・Y先生の、昨年からの取組、そしてその前のクラスの総合がどのようになっていくか不安だったという思いを知っているからこそ、本時、C組の子どもたちが多くの大人に囲まれながらも、あそこまで堂々と自分達の取組に自身をもって発表し、意見を求める姿に感動しました。昨年から、子どもたちは、Oさんの思いを組み取りながら活動してきているので、後継者のことや、Oさんという存在をもっと周りに知ってほしいこと、自腹を切って掃除道具を購入していることの納得いかなさ、井戸をきれいにしてもらっていることに感謝したい人の思いを届けたいことなど、様々な側面からOさんと井戸、自分たちと井戸を捉えて来ているのだと思いました。子どもにとっては、Oさんはお金ではないとは言っているけど、責任感からやっていることで、それはあまり言いにくくて、本心ではないだろうから、せめてお金のサポートをして助けたい。と、捉えているところを、お金とかそういう問題でなく、自分がしたいからしている。喜んでくれる人の姿を想像したり、使ってくれる人がいるだけで、満足なんだという道德の教科書に出て来るような人の行動や思いを現実の世界で目の当たりにした子どもたちは、本時、Oさんの思いをこれまでよりも一層強く受け止め、Oさんを理解していこうとしていた姿があったと感じました。Oさん、行政、有識者という人のつながりと、今年度は、鯛萬の井戸だけでなく松本にある20の井戸に考えを広げ、それを維持し、井戸を通して人の交流をつくっていく、まさにひと・もの・ことが実現できている総合になっていっているのだと感じました。”

③本学校園の研究は、どのようなことに活かすことができそうか

《授業づくりと教育内容の改善》

- ・子どもの願いや見取りを授業づくりに活かしたいと思います。
- ・こどもの思いや願い、問いを大切に授業を行いたいと思います。
- ・授業の中でやりたいと思ったこと、試してみたいと思ったことは、とことんやらせたいと感じた。
- ・遊びから子どもたちは学ぶことがたくさんあると思うので、遊びや生活を授業のテーマにしたり、実際に先生たちがやってみたりすることは、子どもたちの興味関心をつかむ授業づくりにつながると思いました。

《教員の教育方法や職業倫理の向上》

- ・ 参観させていただいた先生方の姿は、真に子どもの良さを発揮させた上での授業、学級経営だと思います。
- ・ 子どもの姿から、それぞれが自分たちの活動に自信をもって取り組むことができる授業に感動しました。
- ・ 教員の、児童への寄り添い方の面や、子どもの発言や疑問を中心課題とした授業のつくり方の面で活かすことができると思いました。
- ・ これまで実習では実践の教科の要素を考えるばかりで、学習全体へ視点を置いて考える機会は少なかったように思う。しかし、今後教職につくにあたり、現代的な諸課題に対する課題解決能力を児童生徒が身につけるためには教師となる自分自身が授業づくりの中でより広い視野で物事を捉え、考えていく必要があることを改めて学ばせていただいた。

《学校の組織構造や方針の改善》

- ・ 本校研究はもちろんのこと、長野地区の小中連携についての必要性も感じましたし、中学校同士の教科の連携も大切さも感じました。ここで終わらせてしまうのはいささか悲しいと感じました。次の一手をまずは自教科から打ちたいと思います。
- ・ 子どもたちの今だけではなく、未来を見据えてどう育てていきたいか、そのための接続のありかたや「学び」そのものについて、自らの考えを深める機会となりました。「たくましく心豊かな地球市民」というキャッチフレーズにそれぞれの学校園が向き合って、子どもの育ちに願いをもって取り組んでいく姿勢は、できそうでなかなかできないことだと感じました。
- ・ 学校園として連携し、長期スパンで見た教育が位置付いていることが大切であると感じました。

《教育研究や学術的探究の推進》

- ・ 子どもの姿から研究の視点を見だし、その視点でさらに子どもを見ていく中で子どもの学び方を明らかにしていくこと、その子の学びをより加速させたり発展させたりする教師の出について明らかにしていくこと、研究推進の参考にさせていただきます。
- ・ 教科間の連携の中での授業づくりに活かすことができると考える。
- ・ 指導案や各論等に書かれている附属学校園の先生方の授業観や生徒観が、自分自身の学校づくりや授業づくりに生かされるものと思っています。
- ・ 教科の枠に捉われない学びを創造することはとても難しいですが、コンピテンシーでのつながりを探していくのはとても興味深いです。先日英語の指導案を読んだ社会科の先生が「英語でやっている議論と社会でやっている議論は同じだ」と言っていました。見方・考え方に違いはあっても、すべての教科のCSで知識・技能、思考力判断力表現力・学びに向かう主体性等の3点が示されているように、どこかしらでつながっている教科の特質を明らかにしていき、教科横断を意識した単元を行ってみたいと考えました。
- ・ これからの資質・能力の育成を考える時、各学校の特色は大切だが、そこで連続的に学んでいく子どもを中心につながりを意識して系統的に学ぶ体系を構築することはとても有意義なことだと感じた。
- ・ 2つの授業を見させていただき、授業の前に教師も含めた学級の関係性がとても良いと感じました。だからこそ授業の雰囲気の良いが際立っていて、子どもたちの積極的な学びにも

繋がっていると思います。そのクラスの子どもたちに合わせた授業づくりを学べて、活かしたいと思いました。

- ・ 他教科の授業で学んだことを自分の教科にも紐づけて見ることで今まで見えてこなかった新しい視点を得ることができる。
- ・ 学級総合はそのまま学級づくりに直結したものとなると思います。また、12年間を見通した研究は子どもの学びの軌跡を蓄積することができとても有効だと思います。
- ・ 教師の、児童への寄り添い方の面や、子どもの発言や疑問を中心課題とした授業のつくり方の面で活かすことができると感じました。
- ・ 研究紀要内容が参考になりました。2年前に参観した時とはガラッと変わっていて、授業で目指している姿、教師の想いが伝わってくる内容でした。

④これまで過去に行われた信州大学教育学部附松本属学校園の公開研究会に参加したことがあり、自身や自校に生かしたいこと、生かしていること

- ・ 何年も前ですが、ダイナミックな遊びを見て、こんな遊びもできるのかとびっくりしました。子どもたちの可能性を大事にしたいと思いながら保育しています。
- ・ 12年間の子どもの成長を見取ることができる貴重な機会だと思うので、前後の学校種とのつながりを意識して各種計画を立てる意欲が湧くことです。
- ・ 実践の大切さ。創造的な教師の在り方の大切さ。授業観、教師観、生徒観等はどれも非常に生かすことができると感じています。
- ・ 学校で行っている授業改善に活かされています。
- ・ その子をその子らしくみること。できない子、分からない子…といった見方をして、その子を排除していくのではなく、要は教師側の問題として、ありのままの子どもを受容すること。
- ・ 材の研究から始まり、その材が子どもにとって身近なものか？興味を示してくれるか？を常に子どもの視点を考えながら単元展開等を考えていくことを学びました。探求する力は、付属の生徒は高いレベルを持っているので、附属ならではの研究でも全く問題ないかと思います。材については、その年代の先生方がのめり込んで築きあげてきたものなので、これまで扱った材の資料見たいのを1つの本とかにしてもそれだけでも面白いかなと思います。
- ・ 子どもを育ちを、その子の一貫でみること
- ・ 「子どもの良さの発揮」を念頭に置いて実践研究をすすめています。ですがまだまだ本当にできているという自信は全くありません。今後も子どもたちのことを最優先に取り組んでまいりたいと思います。

⑤本学校園の12年間の幼小中一貫教育について、良いと思う点

《子ども中心の教育理念》

- ・ 12年間の子どもの見取りは圧倒的な強みだと思います。
- ・ 幼稚園教育からの学びを捉えようとしている姿勢
- ・ 子どもの姿から、それぞれが自分たちの活動に自信をもって取り組むことができる授業に感動しました。

- ・目の前の子どもの姿を捉えて、その子たちに合うように授業をつくることが一番大切なことだと思う。
- ・子どもの思いや願いから授業を始めること、教科の枠組みを超えた探究的な学びをデザインしていくことは大切であると感じた。
- ・遊びながら学ばせ、学びながら遊ばせ、楽しいことに熱中していたらいつの間にかできるようになっていた、というような、子どもたちが自身の育つ力を尊重されている点がとても勉強になります。
- ・子どもの良さから発し、子どもの良さを捉え、改善している
- ・目の前の子どもの姿を捉えて、その子たちに合うように授業をつくることが一番大切なことだと思う。
- ・子どもの思いや願いから授業を始めること、教科の枠組みを超えた探究的な学びをデザインしていくことは大切であると感じた。

《学校教育の連携と継続性》

- ・3つの良さが幼・小・中と柱となっていて学びの連続性と蓄積になっていて良いと思います。
- ・幼稚園児の姿（事実）から、3校が揃って伸ばしたいよさであるので、そのこと自体が素晴らしいなと感じました。3つのよさを伸ばす手だてが、3校で共有されたり、ブラッシュアップされたりしていると考えているので、そこが一番の強みだと感じています。
- ・幼稚園や小学校の入学段階から教科で厳密に分けてしまうのではなく総合的に学習を行っていくことで、社会の物事を見る視点が通常よりも多様になるのではないかと考える。
- ・子どもの良さから発し、子どもの良さを捉え、改善している
- ・幼児教育を出発点とすることで、多岐にわたる学びの視点が、シンプルな『3つのよさ』でまとめてられている点は、教員としてでなく子どもの視点でも共有がしやすいものだと感じた。

《教育内容の柔軟性と遊びの重視》

- ・遊びの領域化、領域の教科化についてよさを感じます。
- ・「遊びの領域化」は「幼稚園で自由を許容してくださったから、今児童たちは自由に行動できている」というY先生のお話から、幼小接続という大切な仕組みが成り立っている象徴だと感じたからです。
- ・遊びが領域、そして学びにつながっているのだというコンセプトがすてきだと思います。特に中学生にとってはもしかすると往還もしていると思います。ただの遊びが学びになり、それを自覚していく、そんなカリキュラムはとても魅力的だと感じました。

《教育課程とカリキュラムマネジメントの改善》

- ・カリキュラムマネジメントの必要性を感じたから。
- ・教科の枠ではなく、領域でカリキュラムをつくっていくことで、柔軟な教育課程になってくと感じました。
- ・学習指導要領をより分かりやすく表現していただいている気がします。

・カリキュラムマネジメントだと思いますが、それをしっかりと定義づけて研究を進めていく。欲を言えば、長野県スタイルとして、12年間の学びのモデルをつくっていきけるようなまとまりを示してもらえたかなと思います。

⑥本学校園の12年間の幼小中一貫教育について、改善が必要だと思う点

《教育課程の評価と改善》

- ・同様の内容のものを、箇条書きごとに文章はそのままにしてカテゴリ化する
- ・改善が必要ということではありませんが、中学校が最後の出口なので、生徒の具体的な姿が見えてくるとより主張に根拠が出てくると思いました。これは、自身の研究に言えることでもありますので、最後狙いたい姿をきちんと描いておくことと、その姿を具体で見とることの大切さを忘れないようにしたいです。
- ・つけることができた資質・能力、教育課程の評価のあり方
- ・12年間を見据え、よく練り上げられていると思いました。
- ・改善が必要というよりも、今後も確かな教育研究を重ねていっていただき、その成果をまた私たちに教えてほしいという思いです。
- ・幼小中教職員による共通認識。
- ・単線に学ぶクセがついている私たちがどう総合的、有機的に学んでいくのか課題を感じます。
- ・子供の学びのためにとても良い教育である。
- ・それぞれの段階における研究テーマの具体的な実践。
- ・本校でも推進していますが、まだまだ研究の余地があると感じました。例えば、英語の授業で、日本文化を紹介することが、社会科の地理的な見方・考え方につながるのか、他の教科につながることはないのかなど、考えられると思いました。
- ・中学校までの学びと高校大学の学びの連携について、どうなのか気になった。
- ・総合化は自分でもよく分かっていないため、それがわかればなあ、と思って見ていたのですが、教科横断はなかったと思っていたのですが、研究会指導案にはあるかのように書かれていて個人的に驚きました。例えば理科の授業で、比例関係だ！と気づくだけでは数学との横断ではないと思います。（例えば、比例関係以外にも、他の関係性とかもある？。）
- ・学びの総合化をどのようにして定義したり、捉えていったりすればよいかさらに考えていきたくなりました。
- ・長期に渡る一貫教育を通し、現代的な課題に対して学習の中で総合的に身につけた資質・能力を発揮できるようになる過程をこれからも学ばせて頂きたいです。
- ・幼稚園から中学校までを通して学びを捉えていくことは、なかなか難しいのではないかと思います。共通のビジョンをもつことでつながっていくものがあるのだなあと思いました。

《教科横断の取り組みと評価》

- ・4つの領域をこえて、さらに横断的に見ていくことも必要ではないかと思います。
- ・教科横断的な視点で、理科と家庭科の単元の関連を図ったという趣旨の発表があったが、教科間のつながりばかり考えると、教科数が多い日本の教育課程で年間指導計画等に位置付けることは限界があると感じている。もっと大きな枠の中で、つける力を明確にしながら、

どんな児童、生徒像を目指すのか、そのあたりがはっきりすると良いのかもと思っています。

- ・実際に領域とすることの難しさを感じました。領域化して、教科化して、もう一度総合化し、高校でさらに教科化、大学で学問を分けていくことを考えていくと、幼からゆるやかに細分化していくイメージの方が分かりやすさを感じました。細分化しながらも総合化する視点を常に持ち続けていく方法を考えてみたいと感じました。

- ・学科の枠だけでは解決できない問題であれば、各教科等の見方・考え方を働かせて育成した資質・能力では解決できないことと考えるので、総合的な学習の時間で複数教科の見方・考え方を働かせることで資質・能力を育成したり、新設領域を設置し新たな見方・考え方を働かせて新たな資質・能力の育成を目指したりするという方法もあると感じました。

《子どもの学びと教育プロセスへの関心》

- ・その子の事実をありのまま受け止めるということを考えたいと思いました。
- ・思いや願いについては、昔から大切にしてきたところですが、子どもが口にする言葉や文章の裏にある背景をよりしっかりと見つめ直すことが大切かなと思います。教材に対する姿勢は言葉や文字だけでなく、姿勢だったりイントネーションだったり、目の表情だったりするところにも出てくると思います。各教科の先生方やグループ研等で日頃から授業を見合ったり、学年で子どもの様子を語り合ったりする場合は、今も大切かなと思います。あとは、前にも書きましたが、これまで公開・研究授業してきた材集みたいなのをつくってみるのも面白いかなと思いました。また、どちらかという先生方が公開授業までに苦しんだところとか悩んだところ等をまとめた冊子とかデータが見られるようなものがあると、附属だからできるとか言うことなく、他校の先生方が見たときに、子どもを「みる」ということがどういうことなのかを感じてもらえるのかなと思います。
- ・学級総合では、個人での思いや願いに温度差が出てくる恐れがあると思います。少人数での探究活動だとそれぞれの思いが強く継続されていくのかもしれない。
- ・昨年度の話では、どの教科でも幼小中のつながりを意識した自・課・社の研究実践はまだしっかりと確立できていないということだったので。
- ・子どもたちは12年間一貫の学びをどう自覚しているのか知りたいです。

《教師間のコラボレーションと情報共有》

- ・今年度の様子はわからないのですが、自分がいた頃の3年間はコロナ禍だったため、職員同士が子どものことについてや授業・保育について、校種を超えた交流がほとんどなかった。あっても、レポート発表という形で、連携感はあまり感じられなかった。幼小連絡会や小中連絡会とは違う形で、職員同士が子どものことを語り合う場があると連携している感じがして良かったように思う。今はしてるのかもしれないので、していたらすみません。
- ・連携しながら、取り組んでいると思いました。
- ・子どもたちは12年間一貫の学びをどう自覚しているのか知りたいです。

《教育改革への期待と提案》

- ・教科の学習の中で、子どもたちは、おそらく他教科で学んだことや他教科の見方・考え方を働かせている場面はあるのだと思う。しかし、事前にそれを限定（参観した保健体育であ

れば数学)することは、果たしてよいのか。あらかじめ想定することで、教師の見方を狭めてしまうようにも感じてしまう。

あらかじめ想定するのではなく、他教科の学びが生きているという前提で子どもたちを観て、その姿やワークシートの記述などから、他教科の学びを見取る教師のまなざしと考えたほうが、無理がないようにも感じた。

- ・中学校期では教科を総合化するよりも、関連付いていることに気づかせる方が大事だと思う。

- ・参観させていただいた教科から思ったことは、まだ先生方がその材に対して、その授業単元に対して、どのような総合化が図れるか、コンピテンシーベースで何がつながるか把握できていない印象を受けました。もちろん自分も同様です。明らかにしていきたい点です。

- ・改善が必要というわけではありません。しかし、公開授業だけではコンピテンシーベースの学びの積み重ねを捉えることが難しかったです。コンテンツベースでの教科横断については本校でも行いましたが、苦しさがありましたのでコンピテンシーベースの教科横断、教科の総合化について考えていきたいと思います。

- ・教師の出についてのバランスは、一考の余地がある気がします。何を生徒に任せ、教師がどう支援するのか、自分自身も模索していきたいです。

- ・何が正解で何が間違っているかよくわかっていない。まだまだ学びが不十分であるため。特別支援教育につながる部分もあると考え、多様な学びを求めるうえでより磨いていくことが大事だと思いました。

《学校教育への疑問や提案》

- ・実際に領域とすることの難しさを感じました。領域化して、教科化して、もう一度総合化し、高校でさらに教科化、大学で学問を分けていくことを考えていくと、幼からゆるやかに細分化していくイメージの方が分かりやすさを感じました。細分化しながらも総合化する視点を常に持ち続けていく方法を考えてみたいと感じました。

- ・学びを資質・能力ベースで繋げていくことを掲げながら、実際にはコンテンツベースのつながりを示したり、どこにつながりがあるのか不明瞭になっていたりする部分が今後より具体になると、他校での実践に役立つ提案性の高いものになると思います。ただ、ここに関しては本校を含め、全国で実践が求められている反面、その難しさに直面していることも現状だと感じています。

- ・遊びの領域化、領域の教科化、教科の総合化は、年齢による段階的なものなのかが疑問でした。中学生の中においても遊びの領域化や教科化が起きている気がします。小学生も教科の総合化は狙える気がします。

《その他》

- ・何が正解で何が間違っているかよくわかっていない。まだまだ学びが不十分であるため。特別支援教育につながる部分もあると考え、多様な学びを求めるうえでより磨いていくことが大事だと思いました。

5 研究開発の経過（諸会合一覧）

・委員会名及び開催日

（１）幼小中一貫教育推進委員会（計７回開催）

月 日	場 所	内 容
4 月 4 日	小学校多目的室	①公開研究会について（基本計画・係分担） ②附属学校園の研究について
6 月 14 日	小学校多目的室	①研究紀要 全体総論提案 ②公開研究会 係案審議 ③心の会計画 ④松本ラウンドテーブル基本計画
9 月 19 日	中学校会議室	①研究紀要 全体総論・各論審議 ②公開研究会について
10 月 30 日	小学校多目的室	①公開研究会 研究発表について ②公開研究会について ③報告書について
11 月 27 日	中学校会議室	①公開研究会 参観者のふり返し（アンケート結果）について ②公開研究会 職員の反省について ③報告書について
12 月 20 日	小学校多目的室	①報告書・自己評価書について
2 月 8 日	中学校会議室	①報告書・自己評価書について ②2025 年度公開研究会 係案の提案 ③2024 年度信州ラウンドテーブルについて

（３）幼小中合同教員会（計６回開催）

月 日	場 所	内 容
4 月 4 日	小学校体育館	①附属松本学校園の研究について ②公開研究会 基本計画・推進日程について ③公開研究会 係案について
8 月 1 日	小学校各教室・大会議室	①公開研究会 係会 ②松本心の会「木村素衛先生を学ぶ夏季研修会」 （幼稚園・中学校はオンラインで実施）
10 月 30 日	小学校各教室	①公開研究会 係会（前日および当日の動きの確認）
12 月 20 日	オンライン	①健康増進教室

（４）幼稚園 遊び

月 日	場 所	内 容
4 月 25 日	幼稚園	年長さくら組研究保育、研究協議（指導主事、共同研究者参加） ○「遊びにうちこむ子ども」に寄り添う教師のあり様 ～その子どもの「やりたい」と、対象との関わりの中で見られる育ちに目を向けて～（以下同じ）
5 月 16 日	幼稚園	年少すみれ組研究保育、研究協議（指導主事参加） ○対象との関わりの中で見られる育ちの捉えについて
5 月 23 日	幼稚園	年中うめ組研究保育、研究協議（指導主事、共同研究者参加） ○対象との関わりの中で見られる育ちの捉えについて
6 月 15 日	幼稚園	年少たんぽぽ組研究保育、研究協議（指導主事参加） ○子どもの育ちの捉え、教師のあり様について
6 月 22 日	幼稚園	年中うめ組研究保育、研究協議（指導主事参加） ○子どもの育ちの捉え、教師のあり様について
7 月 5 日	幼稚園	年少たんぽぽ組研究保育、研究協議（指導主事参加） ○教師のあり様、保育案の内容について
8 月 3 日	幼稚園 つくしルーム	研究相談（指導主事、共同研究者参加） ○研究紀要、公開研究会について
2 月 1 日	幼稚園	年中うめ組研究保育（指導主事、参加） ○来年度の研究テーマについて

(5) 小学校
①遊びの領域化

月 日	場 所	内 容
5 月 2 日	小学校	研究授業（2 年西組：かがく），授業研究会（指導主事参加） 研究授業（3 年東組：くらし），授業研究会（指導主事参加） ○探究的な学びを支える単元デザイン・教師の思考・判断
5 月 18 日	小学校	研究授業（2 年東組：ひょうげん）（指導主事参加） ○ひょうげん領域としての鑑賞の価値と、『よさ』を発揮できる 曲選びや授業づくり
6 月 15 日	小学校	研究授業（1 年西組：遊びの領域化），授業研究会 （指導主事参加） 研究授業（2 年東組：くらし），授業研究会（指導主事参加） ○子供の思いや願い・問いをとらえ、活動を学びにしていける教師 の思考・判断

②領域の教科化

月 日	場 所	内 容
5 月 18 日	小学校	研究授業（5 年東組：技術），授業研究会（指導主事参加） ○探究的な学びを支える単元デザインと教師の思考・判断
6 月 7 日	小学校	研究授業（4 年東組：総合的な学習の時間），授業研究会 （指導主事参加） 研究授業（6 年西組：英語），授業研究会（指導主事参加） ○年間を見通し、子供と共につくるカリキュラムマネジメント
7 月 3 日	小学校	研究授業（4 年東組：総合的な学習の時間），授業研究会 （指導主事参加） 研究授業（6 年東組：技術），授業研究会（指導主事参加） ○対象児の見方、考え方を捉え、個の探究が深まるように支えよ うとした教師の支援
2 月 14 日	小学校	研究授業（3 年西組：総合的な学習の時間），授業研究会 （指導主事参加） 研究授業（5 年西組：社会），授業研究会（指導主事参加） ○子供の『よさ』から始まる授業づくり

(6) 中学校 教科等の総合化

月 日	場 所	内 容
5 月 19 日	中学校	指導主事研修会 国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，家庭，英語を 公開 ○「教科等総合科」を図る題材展開 ○公開に向けた事前授業
7 月 19 日	中学校	総合的な学習の時間（3 C）全校研究授業，研究会（指導主事参 加） ○公開に向けた事前授業
1 月 24 日	中学校	社会（3 A），数学（2 A）全校研究授業，研究会（指導主事参 加） ○「教科等総合科」を図る題材展開 ○来年度への展望
2 月 21 日	中学校	技術（2 D），英語（2 A）全校研究授業（指導主事参加） ○教科等の総合化を図る題材展開 ○来年度への展望

(7) 三校園合同研究会

月 日	場 所	内 容
8 月 1 日	中止	松本ラウンドテーブル (中止)
8 月 1 日	小学校大会議室	松本心の会 ○松本学校園の教育観に深くかかわりのある木村素衛先生の教育思想を学び、教師としての自己の足場を振り返る。 (幼稚園・中学校はオンラインで実施) 講師 ・立命館大学文学部人間研究学域教授 西村 拓生 先生 ・信州大学学術研究院教育学系准教授 高柳 充利 先生
11 月 11 日	・幼稚園・小学校・中学校の各教室 (保育・授業) ・中学校の各教室 (保育・授業研究会 I・II) ・中学校各教室 (基調講演)	2023 年度幼小中公開研究会 ○研究発表 (小学校体育館にて実施) ○幼稚園 3 学級, 小学校 6 学級, 中学校 6 学級の保育・授業を公開 (今回は全国から参観者を募った)。 ○保育・授業研究会 I・II (共同研究者も参加) ○基調講演 (オンラインで実施) 講師 ・福井大学理事 (副学長) 松木 健一 先生
1 月 17 日	文部科学省	研究開発学校フォーラム ○研究発表 運営指導委員 ・福井大学理事 (副学長) 松木 健一 先生 ○サテライトセッション

